

令和3年10月19日認可
令和4年10月25日変更認可

八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

事業計画書

八重洲二丁目中地区市街地再開発組合

目次

1 地区、事業及び施行者の名称	1
(1) 地区の名称	
(2) 事業の名称	
(3) 施行者の名称	
2 施行地区の概況及び事業の目的	2
(1) 施行地区の概況	
(2) 事業の目的	
3 施行地区	3
(1) 施行地区の位置	
(2) 施行地区の位置図	
(3) 施行地区の区域	
(4) 施行地区の区域図	
(5) 施行地区の面積	
4 設計の概要	5
(1) 設計説明書	
1) 設計方針	
2) 施設建築物の設計の概要	
3) 施設建築敷地の設計の概要	
4) 公共施設の設計の概要	
(2) 設計図	
1) 施設建築物の設計図	
2) 施設建築敷地の設計図	
3) 公共施設の設計図	

5 事業施行期間	11
(1) 事業施行期間 (予定)	
(2) 建築工事期間 (予定)	
6 資金計画	12
(1) 資金計画	

添付書類

- (1) 施行地区の位置図
- (2) 施行地区の区域図
- (3) 設計図
 - 1) 施設建築物の設計図
 - 2) 施設建築敷地の設計図
 - 3) 公共施設の設計図

事業計画書

1 地区、事業及び施行者の名称

(1) 地区の名称

八重洲二丁目中地区

(2) 事業の名称

東京都市計画事業 八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

(3) 施行者の名称

八重洲二丁目中地区市街地再開発組合

2 施行地区の概況及び事業の目的

(1) 施行地区の概況

八重洲二丁目中地区（以下「当地区」とする。）は、大規模ターミナル駅である東京駅、京橋駅等に近接し、外堀通りや鍛冶橋通りなどの幹線道路に囲まれた交通利便性の高い立地である。

国家戦略特別区域の区域方針では、世界で一番ビジネスのしやすい環境を整備することにより、世界から資金・人材・企業等を集める国際的ビジネス拠点を形成するとともに、近未来技術の実証や創薬分野等における起業、イノベーションを通じ、国際競争力のある新事業を創出することとされており、東京圏区域計画では、八重洲一丁目6地区及び八重洲二丁目1地区（以下、「既決定の2地区」という。）において、東京駅と空港及び地方へのアクセスを強化する大規模地下バスターミナルの整備や国際医療・国際ビジネス交流等の拠点を整備することとなっている。

また、都市再生緊急整備地域の整備方針では、老朽建築物の機能更新や土地の集約化等により、歴史と文化を生かしたうるおいと風格ある街並みを形成しつつ、国際的な業務、金融、商業機能や高度な業務支援機能、生活支援機能等が適切に調和した複合機能集積地を形成することとなっている。

しかしながら、当地区は、敷地が細分化するとともに建築物の老朽化による防災性の低下や、脱炭素社会に向けた環境性能が実現されていないなど、未来の東京駅前のあるべき姿からみて土地利用に課題が残されている状況にある。また、周辺道路の歩道上に高速バス等の停留所が分散しており、路上での乗降により、歩行者の円滑な通行を妨げるとともに、外堀通りによる分断などから東京駅との乗換え利便性の低下、バリアフリー動線の確保等に問題を抱えている。

(2) 事業の目的

東京の玄関口である東京駅前において東京圏区域計画で設定されている既決定の2地区と連携し、国際空港や地方都市へ結ぶ大規模バスターミナルや、東京駅と京橋駅や周辺市街地とを結節する地上・地下の歩行者ネットワークの整備により、東京駅前の交通結節機能の強化と利便性の向上を図る。

また、外国人ワーカーとその家族の生活環境の充実に寄与する外国人子女の教育環境整備（インターナショナルスクール）や外国人の多様なニーズに対応した滞在機能（サービスアパートメント）の整備を行い、東京の国際競争力強化の一翼を担う。

加えて、エンターテインメント機能として劇場を整備することにより、本地区が核となって東京駅から京橋・銀座、あるいは日本橋に至るまで、エリアとして新たな賑わいを創出していくことを目指す。

さらに、脱炭素社会の実現に向けて、グリーン電力の活用、自立・分散型のエネルギーネットワークの構築、省エネ・創エネに関する採用可能な新技術の導入など、環境負荷低減に向けた先進的な取り組みを検討する。また、帰宅困難者滞在施設の整備や地区間連携による災害時支援の取り組みやエリアマネジメントの実施などにより、防災対応力強化などを図り、東京の都市再生と100年後を見据えたサステイナブルな街づくりに貢献する。

上記により、八重洲エリアが国際都市・東京の中核として一層発展していくために、都市間競争力と街としての更なる魅力の強化を行うことを目的とする。

3 施行地区

(1) 施行地区の位置

本地区は、東京都中央区八重洲二丁目4番～7番に位置する約2.2haの区域である。西側を都市計画道路補助第96号線（外堀通り）、南側を都市計画道路補助線街路第101号線（鍛冶橋通り）、北側を特別区道中京第537号線東側を特別区道中京第433号線（柳通り）に囲まれている。

(2) 施行地区の位置図

添付書類（1）のとおり

(3) 施行地区の区域

東京都中央区八重洲二丁目

4番1、4番2、4番3、4番4、4番5、4番6、4番7、4番8、4番9、4番10、4番11、4番12、4番13、4番14、4番15、4番16、4番17、4番18、4番19、4番20、4番21、4番22、4番24、4番25、4番26、4番27、4番28、4番29、4番30、4番31、4番32、4番33、

5番1、5番2、5番5、5番7、5番8、5番9、5番10、5番11、5番13、5番14、5番16、5番17、5番18、5番19、5番20、5番21、5番22、5番23、5番24、5番25、5番26、5番27、5番30、5番31、5番32、5番33、

6番1、6番2、6番3、6番4、6番5、6番6、6番7、6番8、6番9、6番10、6番11、6番13、6番14、6番15、6番16、6番17、6番18、6番19、6番20、6番21、6番22、6番23、6番24、6番25、6番26、6番27、6番28、6番29、6番30、6番31、6番32、6番33、6番34、6番35、

7番1、7番2、7番3、7番4、7番5、7番6、7番7、7番8、7番9、7番10、7番11、7番12、7番13、7番14、7番15、7番16、7番17、7番18、7番19、7番23、7番24、7番25、7番26、7番27、7番28、7番29、7番30、7番31、7番32、7番33

なお、施行地区となるべき区域内には、道路である公有地（特別区道中京第433号線（柳通り）の一部、特別区道中京第537号線の一部、特別区道中京第538号線の一部、特別区道中京第539号線、特別区道中京第540号線の一部）を含む

(4) 施行地区の区域図

添付書類（2）のとおり

(5) 施行地区の面積

約2.2ha

4 設計の概要

(1) 設計説明書

1) 設計方針

当地区は、東京圏国家戦略特別区域の都市再生プロジェクトに指定されており、東京駅前八重洲一丁目東地区（東京駅前八重洲一丁目東 A 地区及び東京駅前八重洲一丁目東 B 地区）、八重洲二丁目北地区（以下、「北地区」という。）、当地区の3地区で連携し国際都市東京の玄関口にふさわしい顔となる風格のある施設づくりを目指す。

また、来街者を迎え入れ、エリア内を回遊させる動線・空間を整備し、地上、地下の快適な歩行者ネットワークの形成や周辺と連続させた緑地、魅力的な屋外広場やテラス空間を備えた良好な都市空間の創出を行う。特に、外堀通りに面してテラス、劇場ホワイエを設置することで、賑わいの表出を図る。

2) 施設建築物の設計の概要

(イ) 設計方針

首都にふさわしい風格のある低中層部におけるファサードの連続性や地域全体としてまとまりのあるスカイラインや景観を外堀通り側の都市軸を中心に形成し、多様な用途を内包することで交流の活発化・新たな魅力の創出による街の価値の向上を図る。また職人を中心とした町人のまちとして継承されてきた歴史性を踏まえてヒューマンスケールな街並みと潤いを持った広場空間を柳通り側に配置し、国際的・先進的な東京駅前と京橋～銀座との賑わいを融合させる施設を目指す。

国際都市の玄関口としての交通結節機能を強化するバスターミナルを北地区と連携して地下2階に整備し、地下1階では東京駅、京橋駅、および北地区とも接続することで歩行者の安全性、利便性を向上させるネットワークを形成する。

低層部にはインターナショナルスクール、高層部にサービスアパートメントを整備することで高水準な教育や中長期滞在も可能なグローバルなニーズに対応し、外国人ワーカーとその家族の生活環境の充実に寄与する。

北地区と連携した地域冷暖房やコージェネレーションシステムにより環境負荷の低減を図るとともに非常用電源や帰宅困難者スペース、備蓄倉庫の整備により災害支援機能の強化を図る。

(ロ) 建ぺい率及び容積率等

	建築敷地面積	建築面積	延べ面積	建ぺい率	容積率
計	約 19,562.7 m ²	約 15,400 m ²	約 388,650 m ²	約 80%	約 1670%

(注1)

(注2)

注1) 駐車場面積等を含む

注2) 容積対象面積 約 326,180 m²

(ハ) 各階床面積等

階	用途	床面積	備考
PH3	機械室	約 280 m ²	構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 および鉄骨鉄筋コンクリート造 規模：地上 43 階・塔屋 3 階・ 地下 3 階 建物高さ：約 227m (※1) 容積対象面積：約 326,180 m ² その他施設：駐車場 約 434 台 (※2) 駐車バイク場 約 34 台 駐輪場 約 360 台 (※3)
PH2	設備、機械室	約 40 m ²	
PH1	設備、機械室	約 210 m ²	
43F	サービスアパートメント	約 4,330 m ²	
42F	サービスアパートメント	約 4,520 m ²	
41F	サービスアパートメント	約 3,990 m ²	
40F	サービスアパートメント	約 4,920 m ²	
39F	電気室	約 4,450 m ²	
38F	事務所	約 8,200 m ²	
37F	事務所	約 8,200 m ²	
36F	事務所	約 8,200 m ²	
35F	事務所	約 8,280 m ²	
34F	事務所	約 8,200 m ²	
33F	事務所	約 8,200 m ²	
32F	事務所	約 8,140 m ²	
31F	事務所	約 8,130 m ²	
30F	事務所	約 8,100 m ²	
29F	事務所	約 8,100 m ²	
28F	事務所	約 8,100 m ²	
27F	事務所	約 8,170 m ²	

※1 高さの基準点は TP+4.0m とする。

※2 荷捌き含む

※3 公共的駐輪場約 250 台含む

26F	事務所	約 8,100 m ²
25F	事務所	約 8,100 m ²
24F	事務所	約 8,210 m ²
23F	事務所	約 8,180 m ²
22F	事務所	約 8,170 m ²
21F	事務所	約 8,130 m ²
20F	事務所	約 8,130 m ²
19F	事務所	約 8,130 m ²
18F	事務所	約 8,130 m ²
17F	事務所	約 8,200 m ²
16F	事務所	約 8,150 m ²
15F	事務所	約 8,150 m ²
14F	事務所	約 8,150 m ²
13F	事務所	約 8,150 m ²
12F	事務所	約 8,170 m ²
11F	事務所	約 8,170 m ²
10F	事務所	約 8,590 m ²
9F	事務所、劇場	約 4,650 m ²
8F	事務所、劇場	約 9,160 m ²
7F	事務所、劇場	約 5,480 m ²
6F	事務所、劇場	約 6,260 m ²
5F	事務所、劇場	約 9,290 m ²
4F	事務所、劇場、 インターナショナルスクール	約 9,630 m ²
3F	店舗、劇場、 インターナショナルスクール	約 11,880 m ²
2F	店舗	約 11,520 m ²
1F	店舗、エントランスホール	約 13,720 m ²
B1F	店舗、バスターミナル	約 15,170 m ²
B2F	バスターミナル、駐車場	約 20,100 m ²
B3F	駐車場、機械室	約 12,050 m ²
合計	-	約 388,650 m ²

※端数処理の関係で各階の床面積を加算した面積は、全体（計）床面積と必ずしも一致しない

3) 施設建築敷地の設計の概要

(イ) 設計方針

東京駅、八重洲地下街、京橋駅を結び、24 時間開放の貫通通路と屋内通路を整備することで安全で快適な地上、地下の歩行者ネットワークの強化や回遊性の向上に寄与し、地下 1 階及び 1 階の屋内広場や地上屋外広場で地域の賑わい、潤いの創出を促すパブリックスペースを整備する。

(ロ) 広場

地域のお祭りやイベント開催可能な屋内及び屋外広場と低層部の外部空間を回遊できるテラス空間を一体で整備することで立体的な賑わい、潤いを感じられる空間を創出する。

屋内には地下 1 階と 1 階に広場を設け、地区内での回遊拠点を整備する。

(ハ) 歩行者通路・貫通通路

地上及び地下において、地区周辺の道路や広場をつなぐ歩行者通路、歩道状空地及び貫通通路を整備し、歩行者の利便性、安全性及び快適性の向上を図る。

また、地下の歩行者ネットワークとしての回遊性に寄与するため、J R 東京駅と東京メトロ京橋駅方面へとつなぐ地下歩行者通路や広場を整備し、バリアフリーにも配慮した利便性と安全性を備えた歩行者環境を確保する。

(ニ) 有効空地率

当地区の敷地面積に対して、有効空地率は約 52%とする。

(ホ) 駐車場

駐車場は施設建築物の地下階に設置し、出入口は幹線道路の渋滞を避けるため、入口は特別区道中京第 433 号線（柳通り）及び特別区道中京第 537 号線、出口は特別区道中京第 433 号線（柳通り）に設ける。

(ヘ) バスターミナル

施設建築敷地の地下にバスターミナルを約 7,400 m²整備する。

(ト) 主要整備施設

① 消防水利施設

消防の用に供する消防用水槽を所轄消防と協議の上、適宜整備する。

② 雨水貯留施設

公共用下水道への時間差放流を行うための一時貯留施設を適宜整備する。

③排水貯留施設

公共用下水道への時間差放流を行うための一時貯留施設を適宜整備する。

(チ) 緑化施設

東京都自然保護条例、中央区緑の基本計画に適合するよう、植樹帯、樹木を設けるとともに、施設建築物の低層階の屋上の一部についても緑化を行う。

(リ) 地区施設

	名称	面積		備考
広場	広場 17 号	約 1,100 m ²		昇降機等含む
	広場 18 号	約 2,000 m ²		高さの最低限度 7m
	広場 19 号	約 1,200 m ²		地下 1 階 昇降機等含む
その他の 公共施設	名称	幅員	延長	備考
	歩行者通路 14 号	7. 0 m	約 15m	
	歩行者通路 15 号	7. 0 m	約 30m	
	歩行者通路 16 号	8. 0 m	約 20m	
	歩行者通路 17 号	6. 0 m	約 80m	
	歩道状空地 21 号	1. 0 m	約 160m	
	名称	幅員	延長	高さの最低限度
貫通通路 7 号	4. 0 m	約 80m	5m	

4) 公共施設の設計の概要

(イ) 設計方針

特別区道中京第 433 号線（柳通り）は、拡幅整備に合わせて歩道を再整備する。また、特別区道中京第 537 号線と併せて、駐車場の出入口を適正に配置することで、将来的な自動車交通量の削減を図り、交差点における歩車の交錯を解消させ、歩行者の安全性を確保する。

特別区道中京第 402 号線（都市計画道路補助第 101 号線（鍛冶橋通り））は、特別区道中京第 433 号線（柳通り）の拡幅整備に合わせて、隅切り部分の一部拡幅を行う。

(ロ) 公共施設調書

種別	名称	幅員	延長	面積	公共施設管理者	備考
区画道路	特別区道 中京第 537 号線	7.5m	約 117m	約 908 m ²	中央区	一部拡幅 (隅切り部)
	特別区道 中京第 433 号線 (柳通り)	7m	約 167m	約 1,165 m ²	中央区	拡幅
幹線街路	特別区道 中京第 402 号線 (都市計画道路補助第 101 号線（鍛冶橋通り）)	—	—	約 10 m ²	中央区	一部拡幅 (隅切り部)

(2) 設計図

1) 施設建築物の設計図

添付書類 (3) - 1) のとおり

2) 施設建築敷地の設計図

添付書類 (3) - 2) のとおり

3) 公共施設の設計図

添付書類 (3) - 3) のとおり

5 事業施行期間

(1) 事業施行期間（予定）

自 組合設立認可公告の日 ～ 至 令和 12（2030）年 1 月末日

(2) 建築工事期間（予定）

解体着工 令和 5（2023）年 5 月

竣工 令和 11（2029）年 1 月

6 資金計画

(1) 資金計画

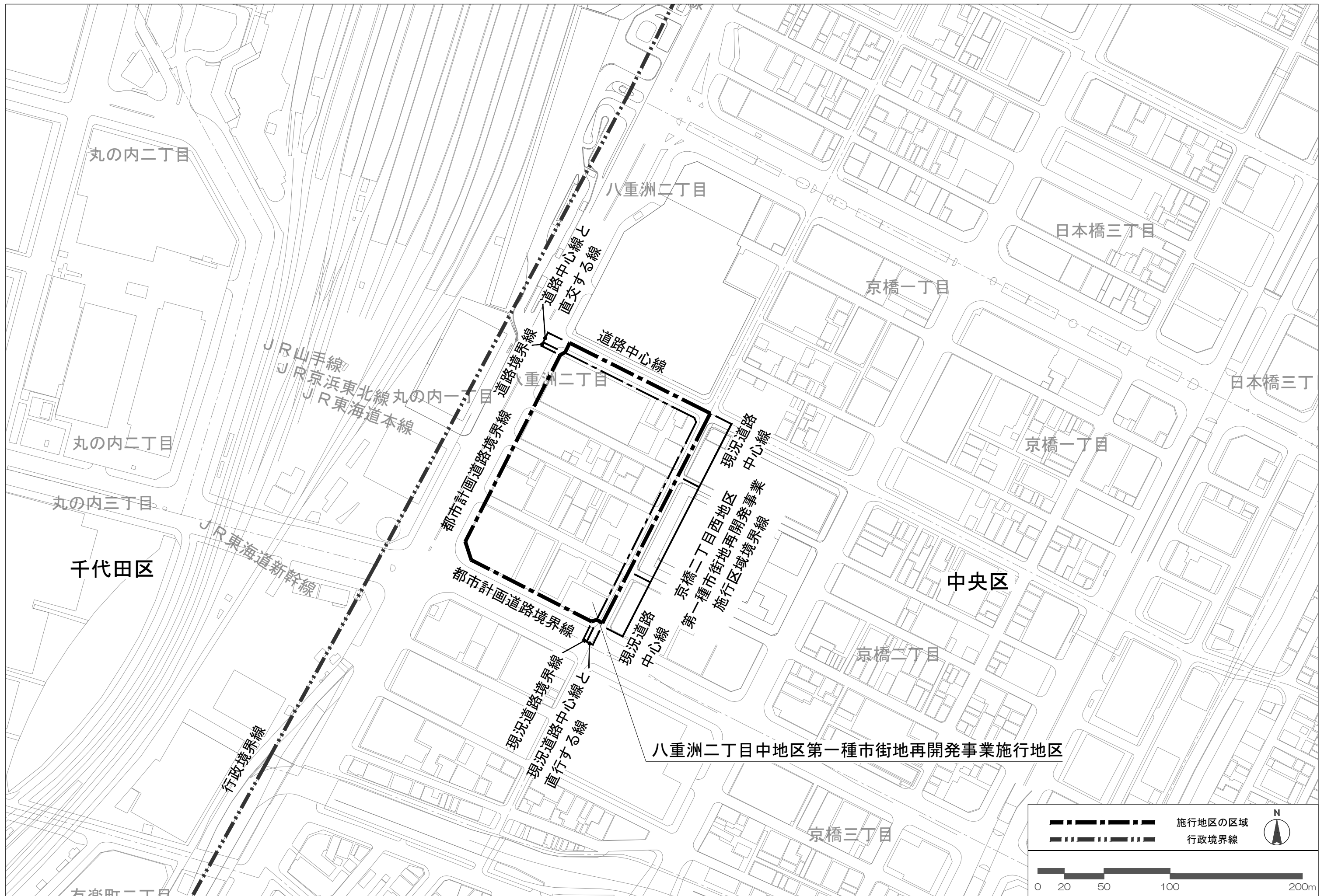
(単位:百万円)

収入金	補助金	18,500	支出金	調査設計計画費	7,344
	保留床処分金等	301,940		土地整備費	10,425
				補償費	72,618
				工事費	212,137
				事務費等	17,917
	合計	320,440		合計	320,440

添付書類（１）施行地区の位置図



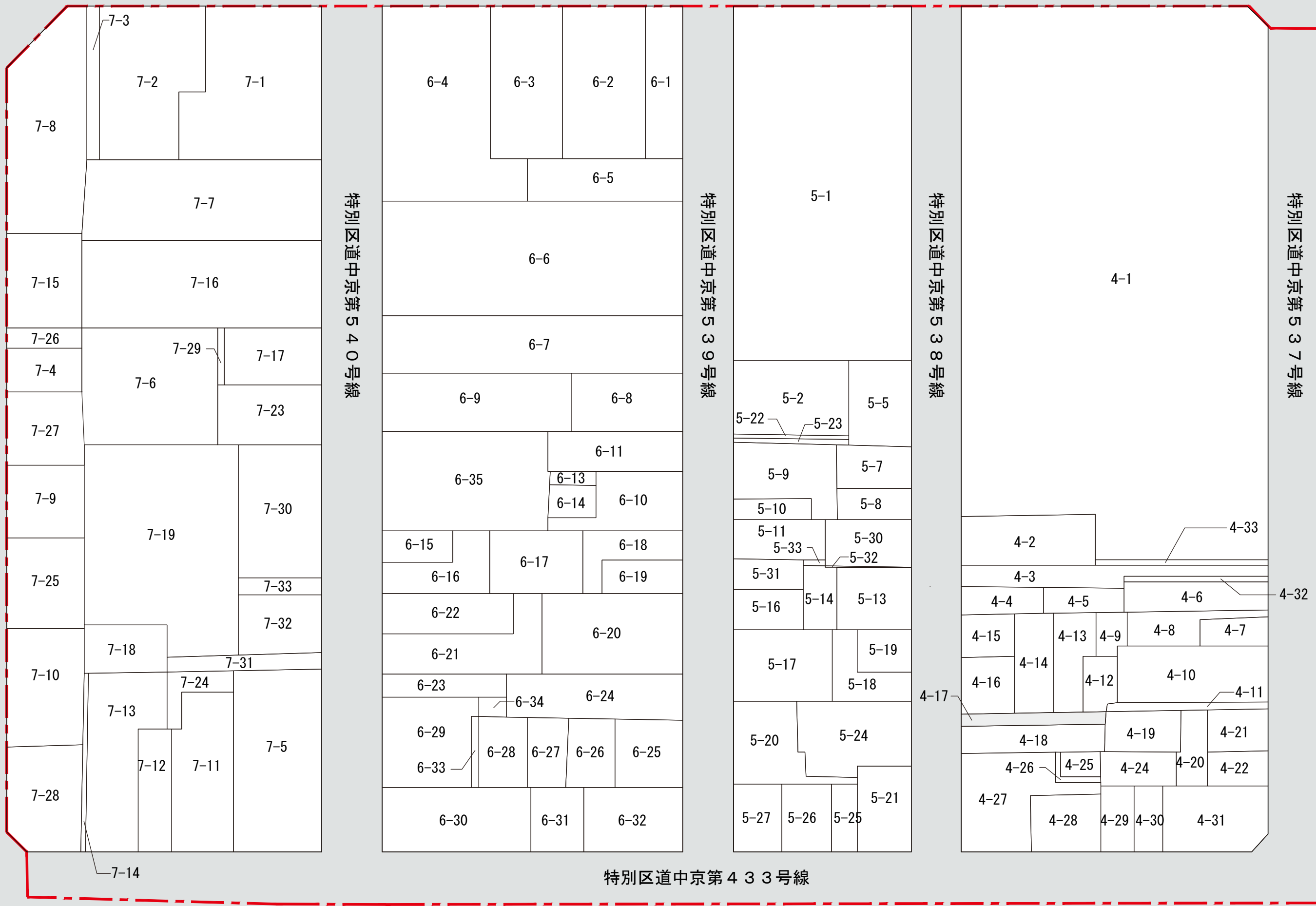
添付書類（２）施行地区の区域図



八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業

施行地区の区域図

S=1:2500



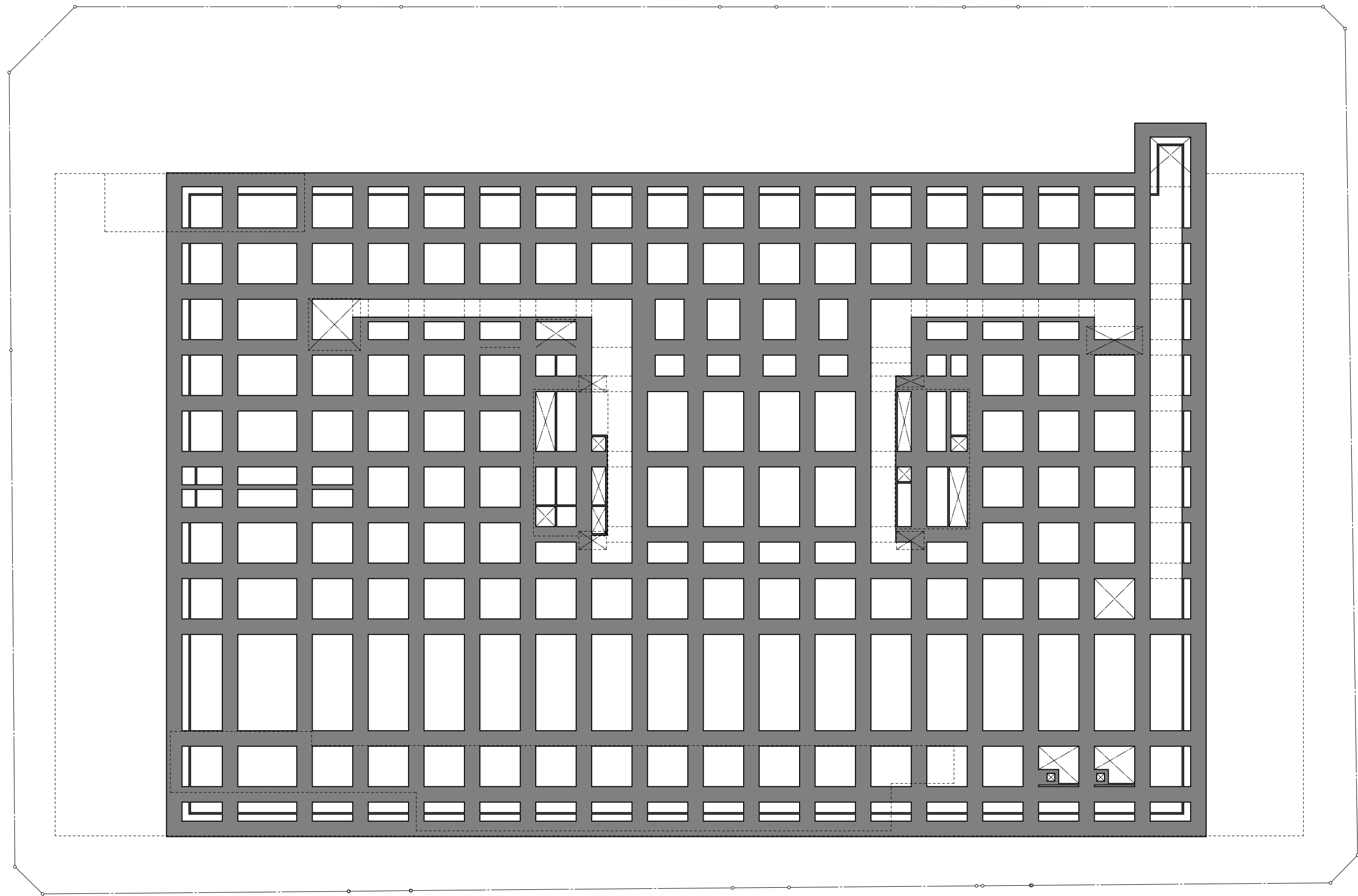
施行地区の区域
 公共用地

0 5 10 20 30m

添付書類（3）設計図

1）施設建築物の設計図

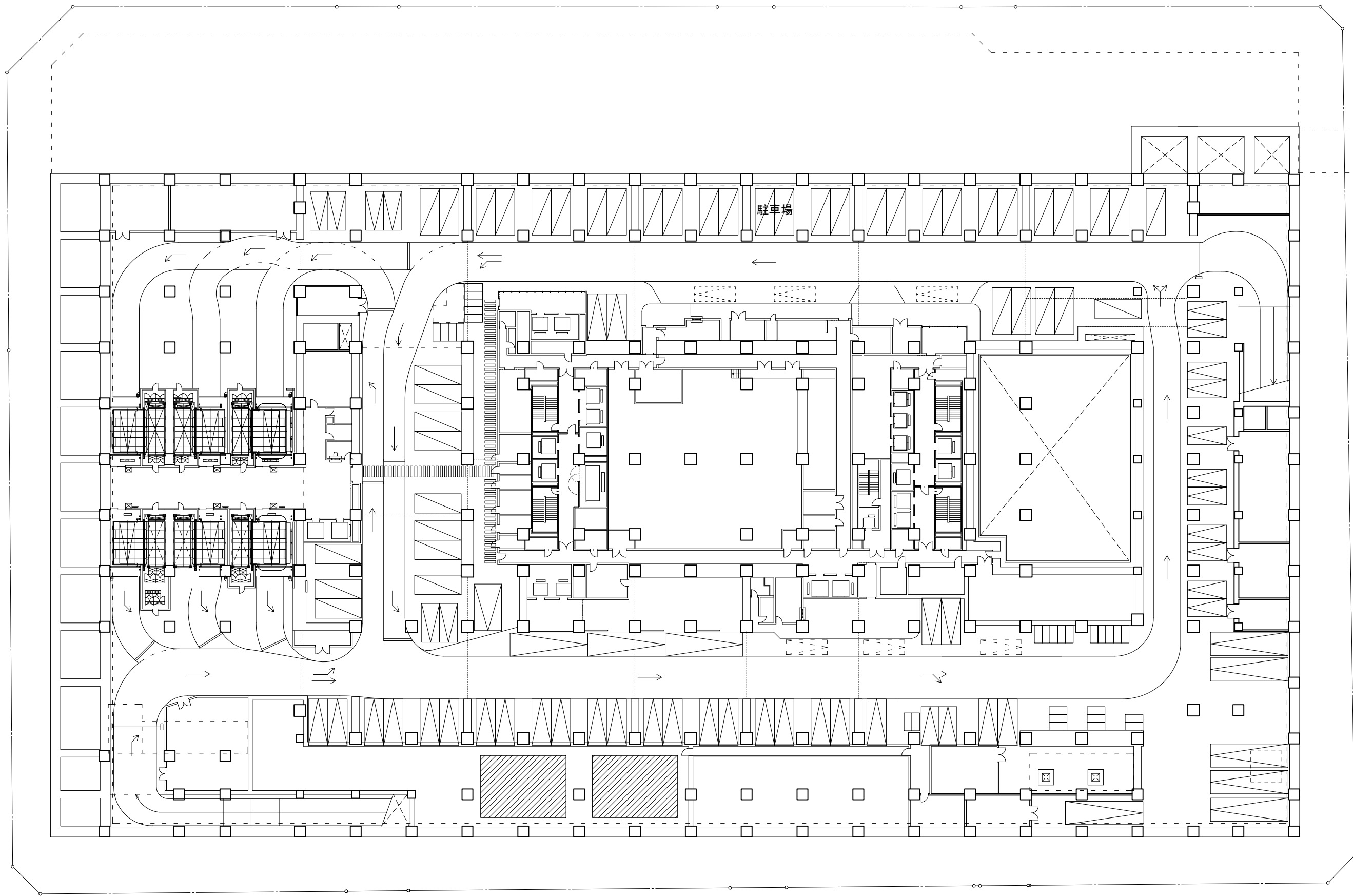
- ・各階平面図
- ・断面図



※消防水利となる消防用水を設置

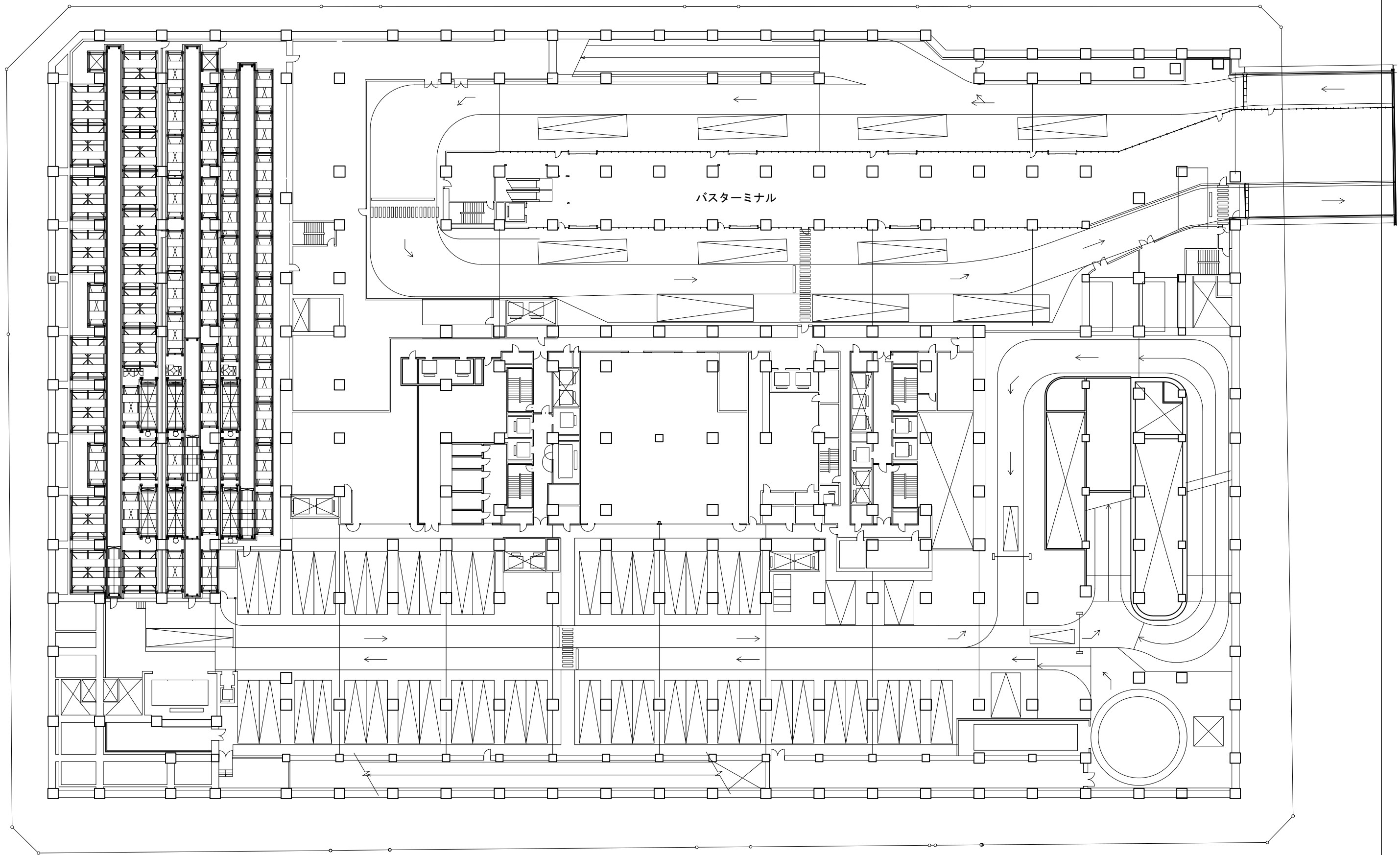
----- 敷地境界線

0 5 10 20 30m



----- 敷地境界線

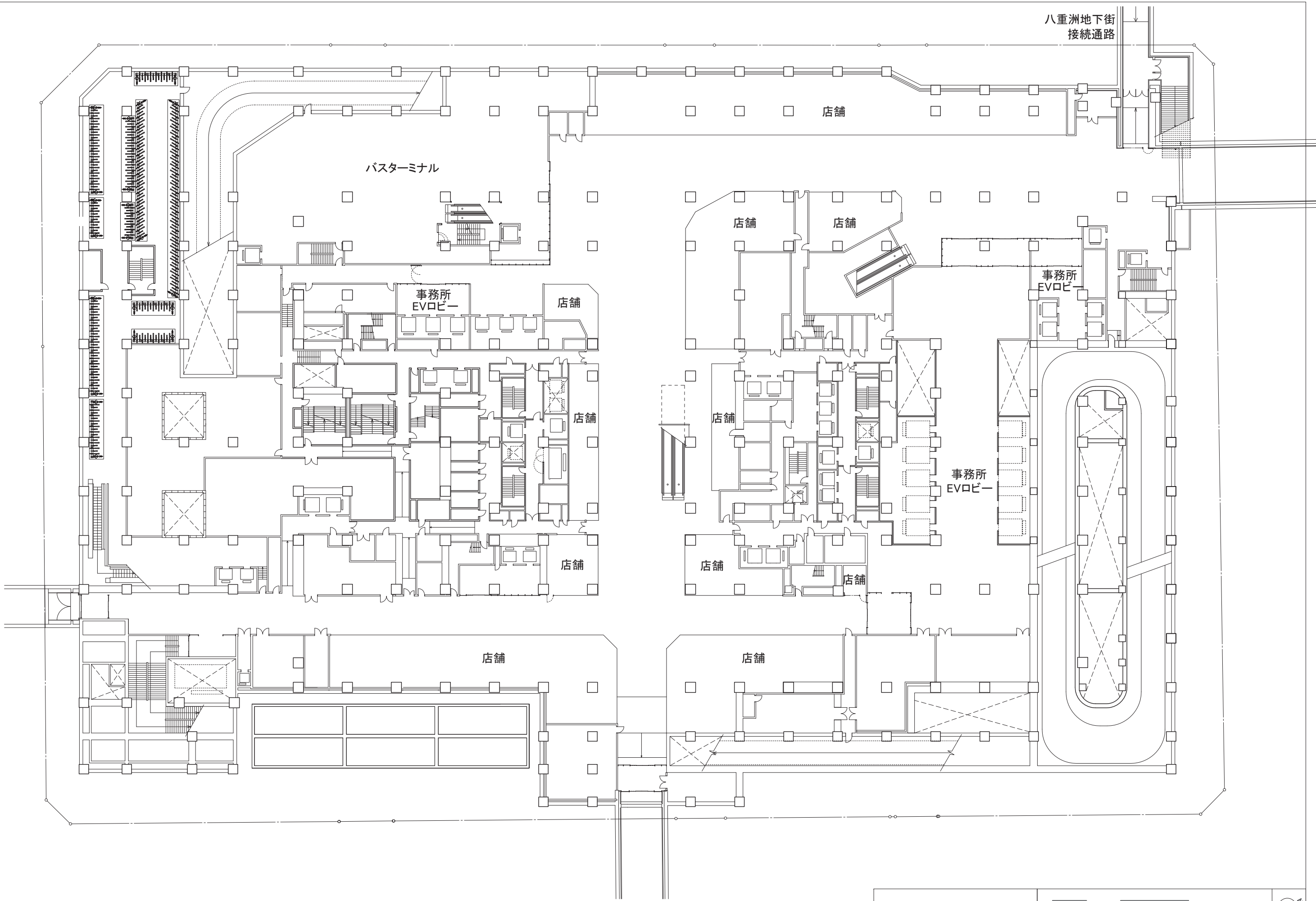




バスターミナル

----- 敷地境界線





八重洲地下街
接続通路

バスターミナル

事務所
EVロビ-

店舗

店舗

店舗

店舗

店舗

店舗

事務所
EVロビ-

店舗

事務所
EVロビ-

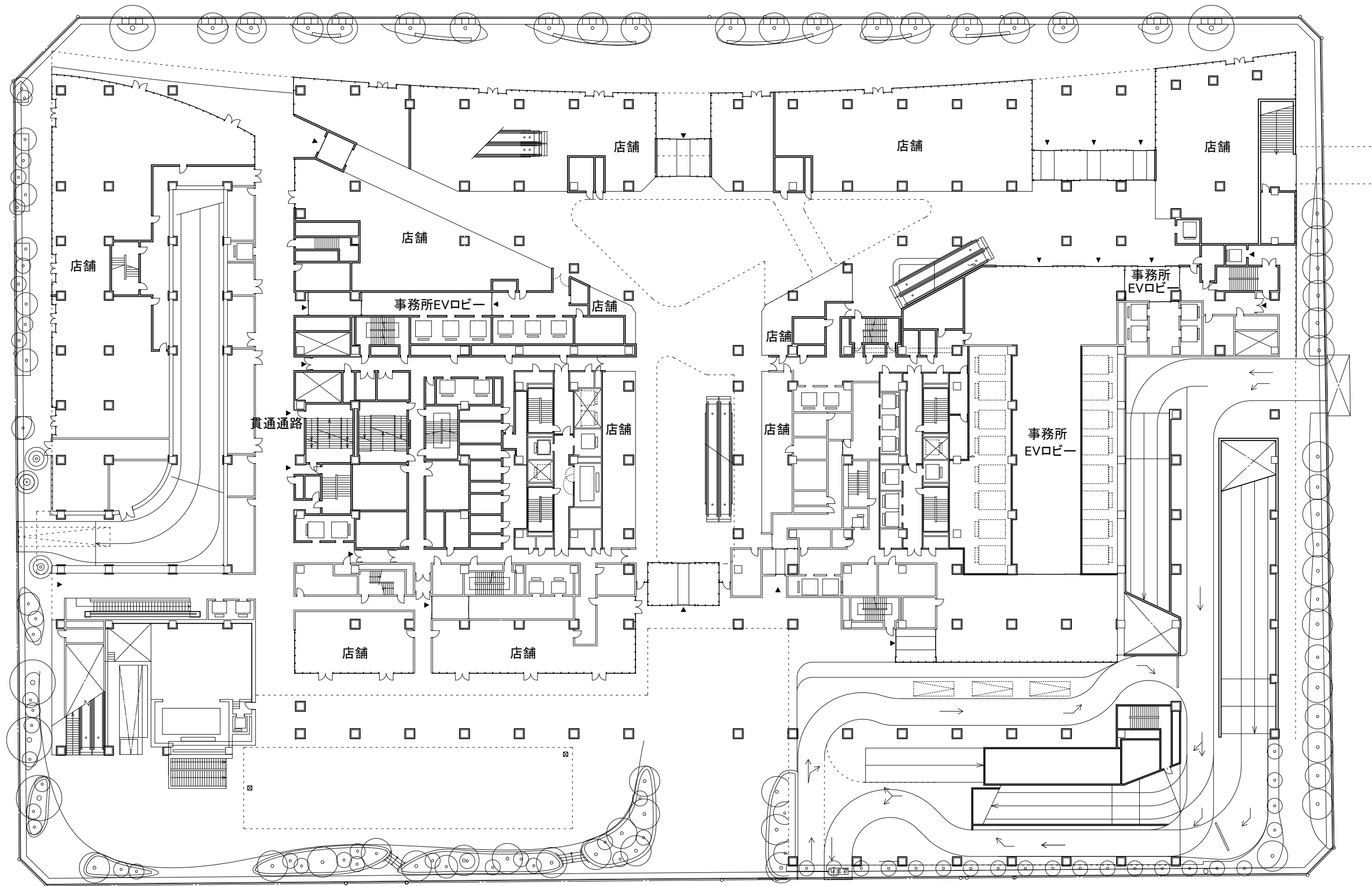
店舗

店舗

店舗

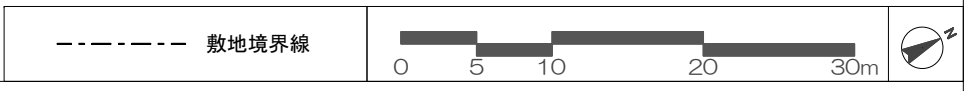
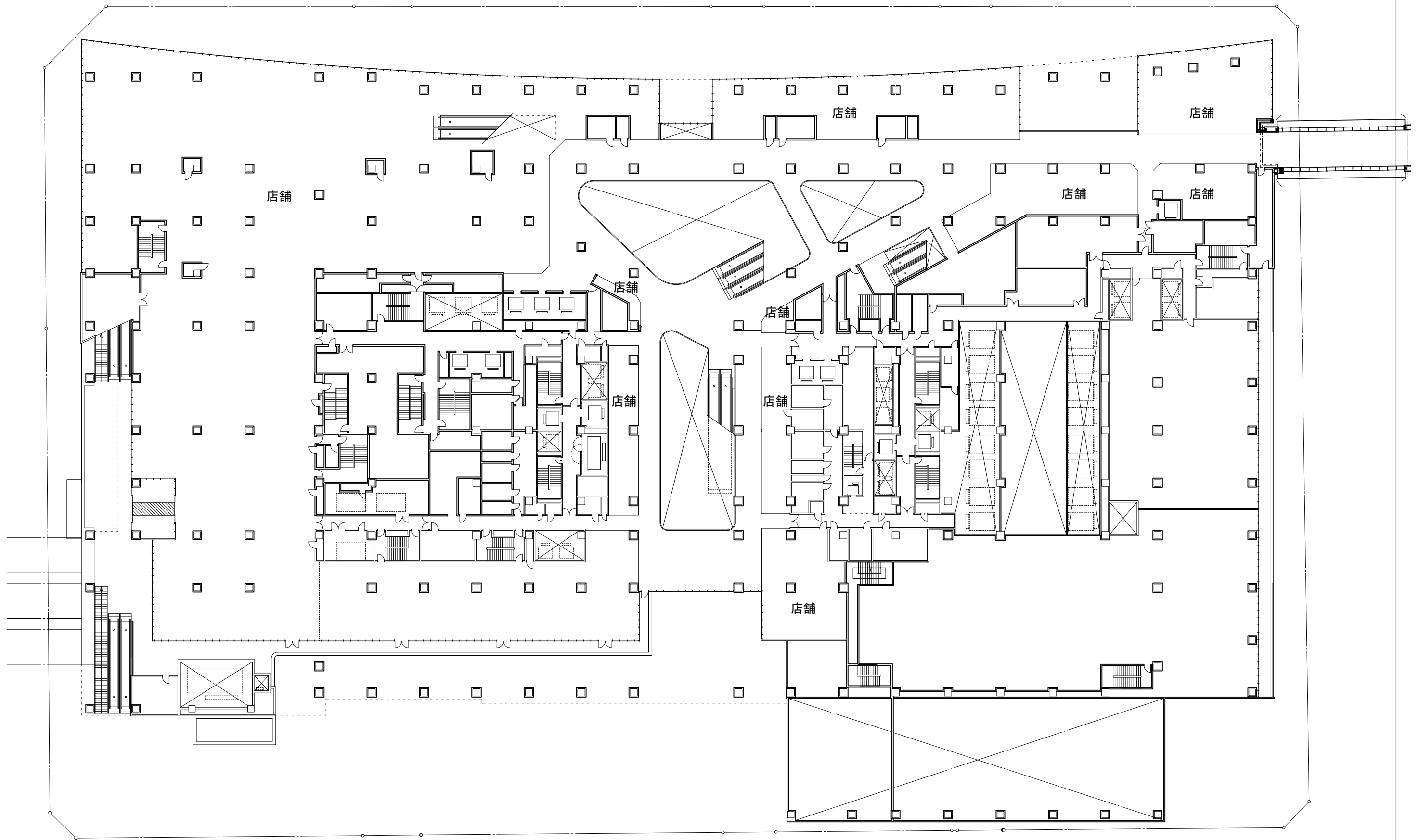
----- 敷地境界線

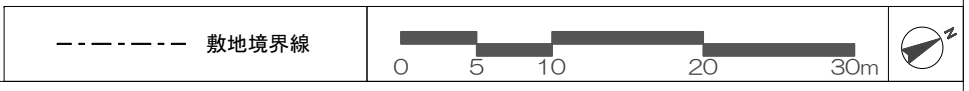
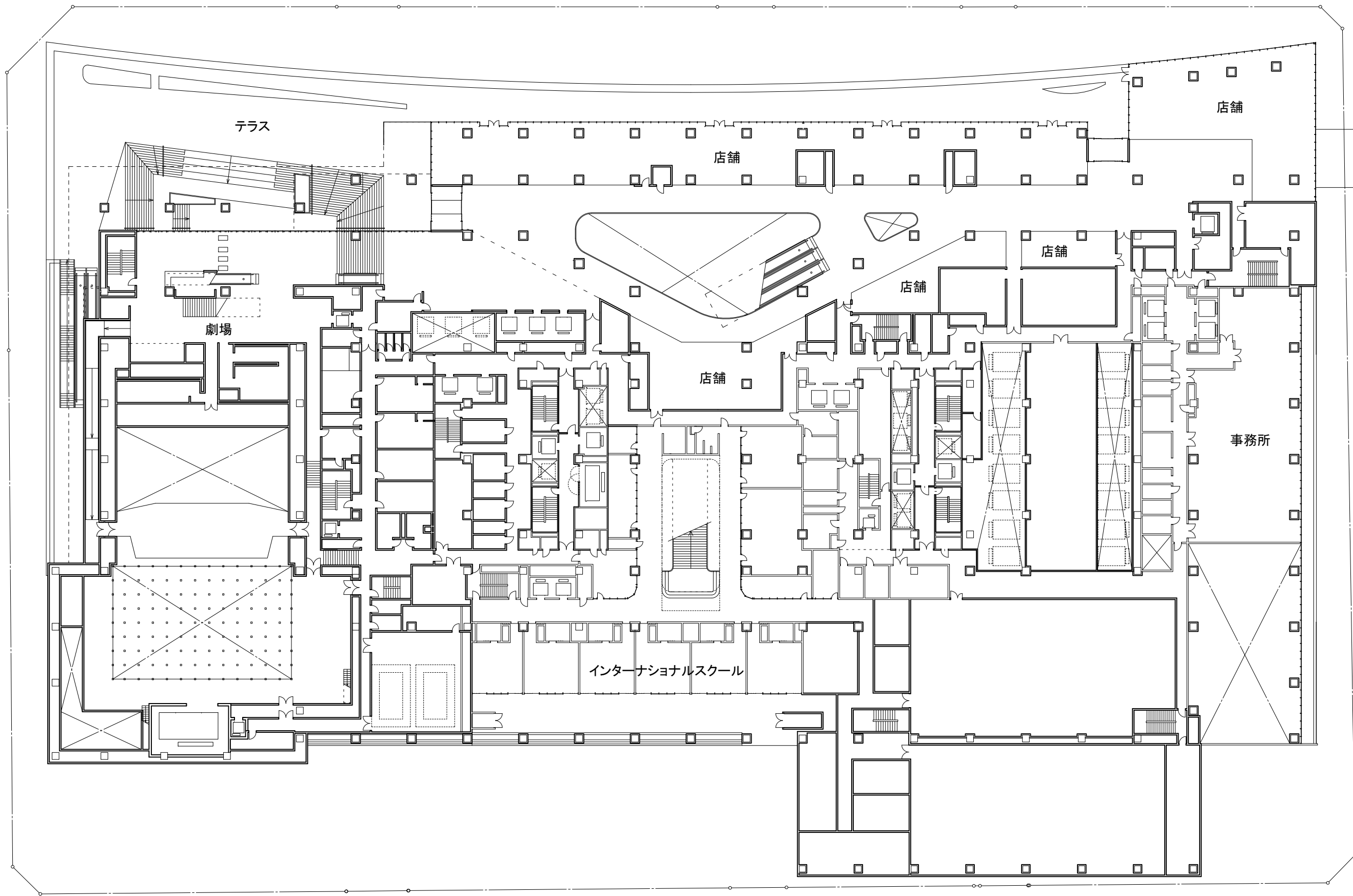


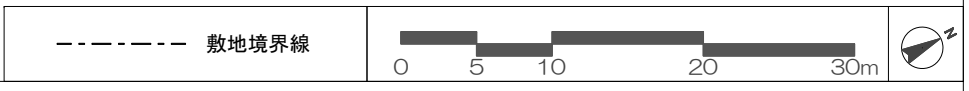
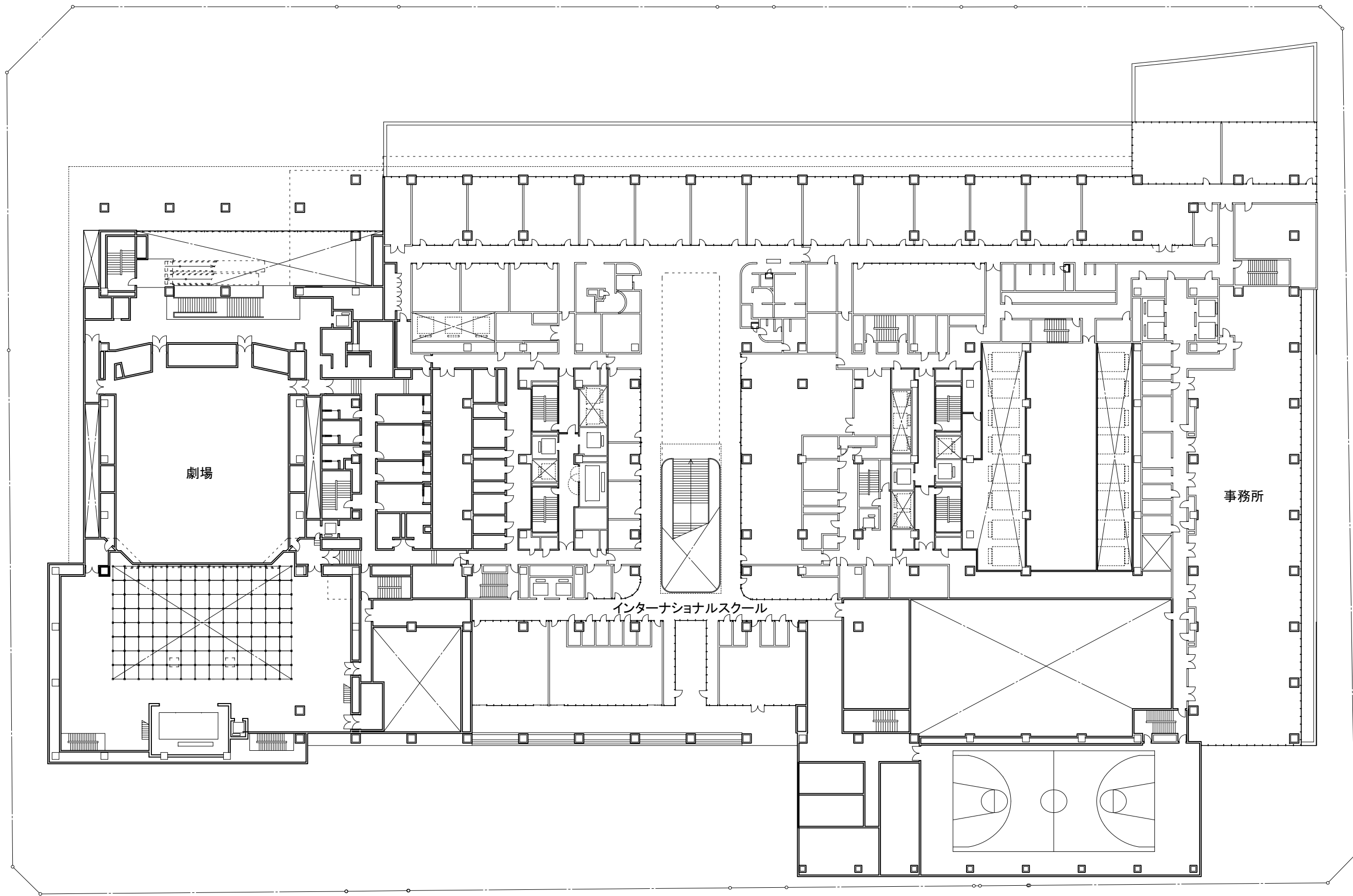


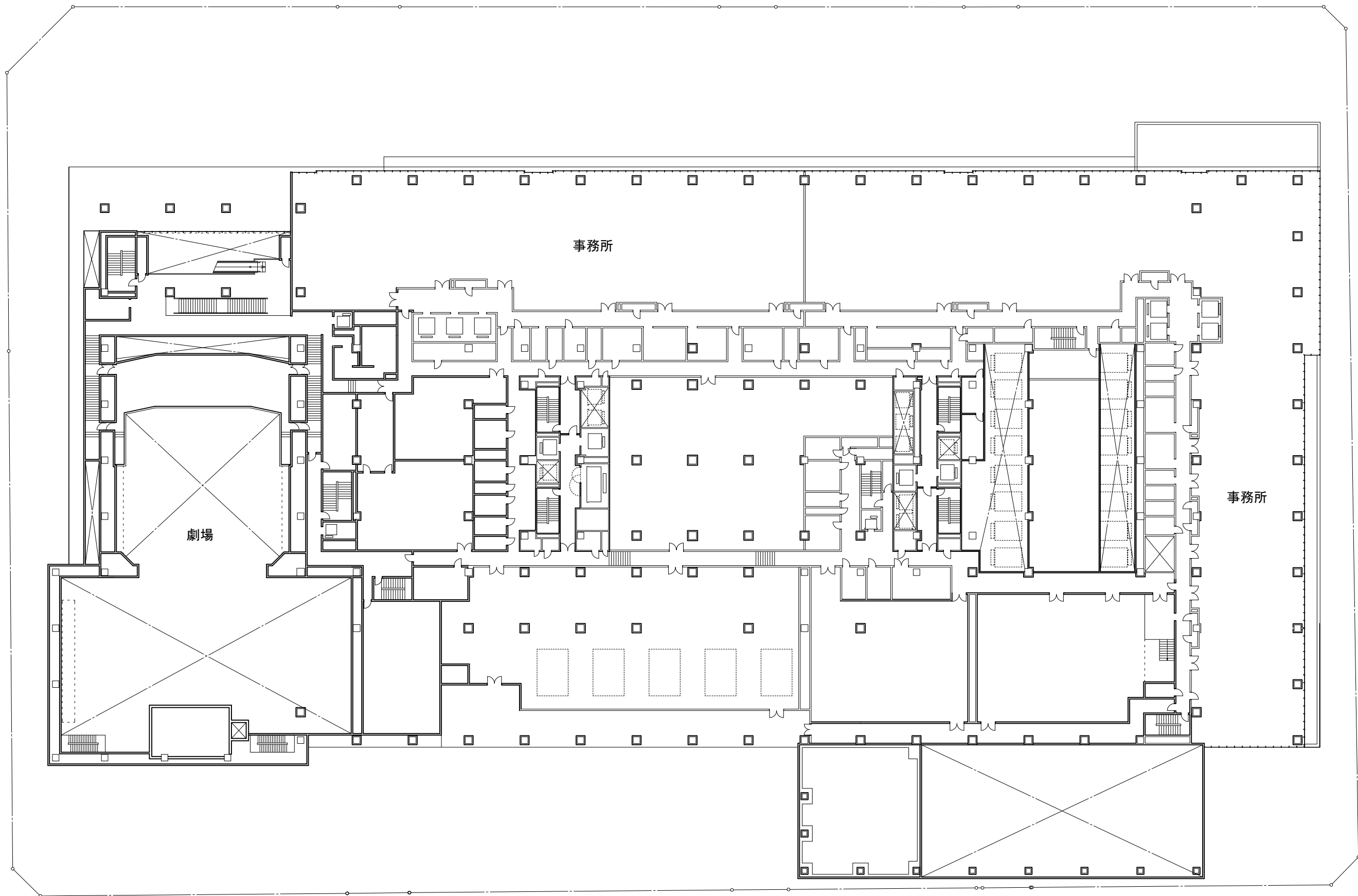
----- 敷地境界線

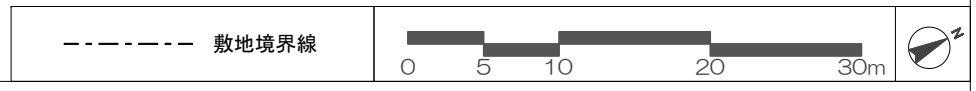
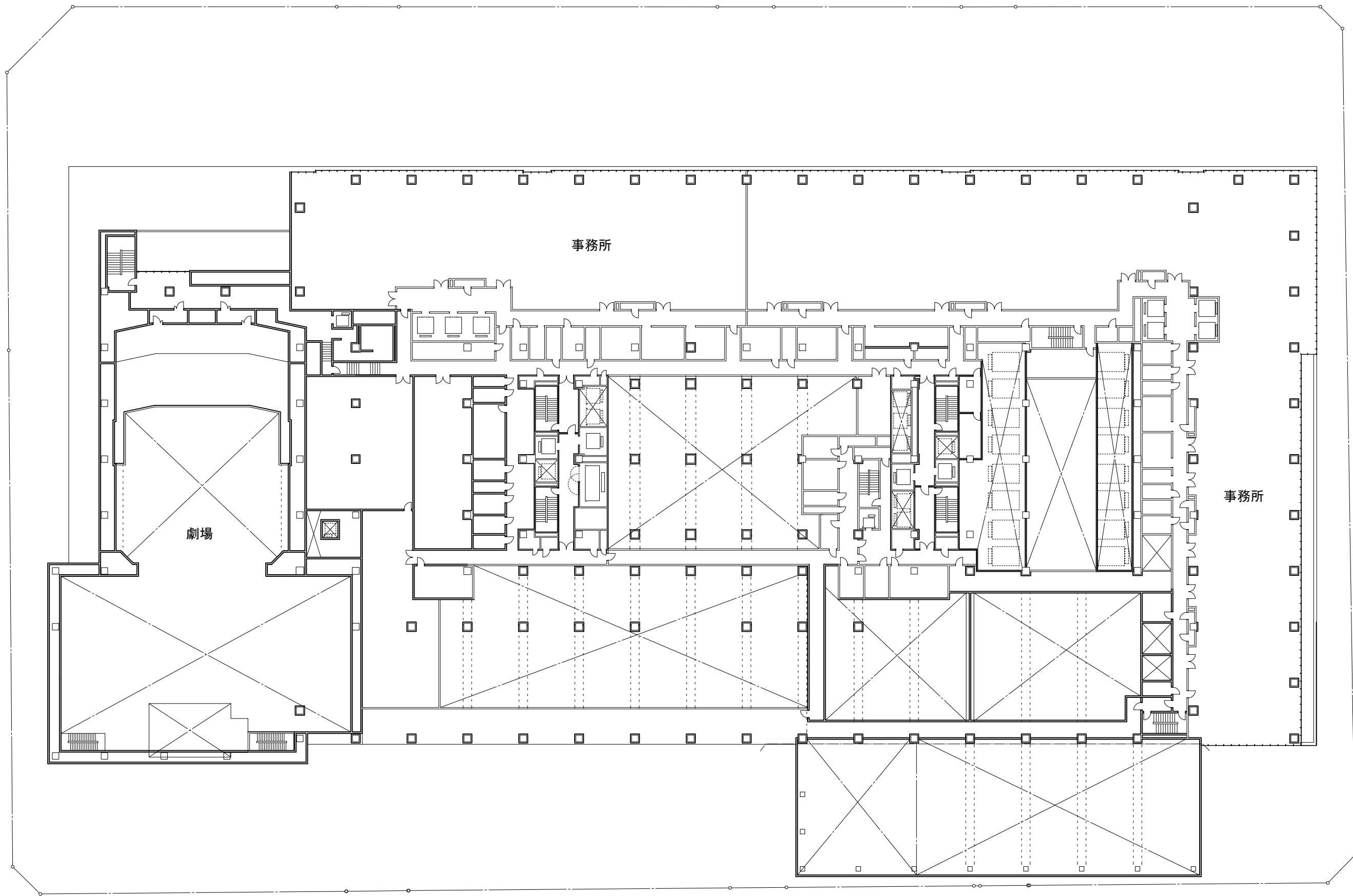


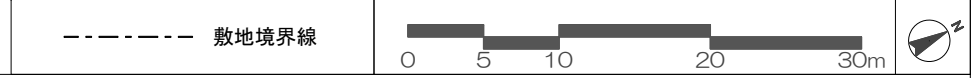
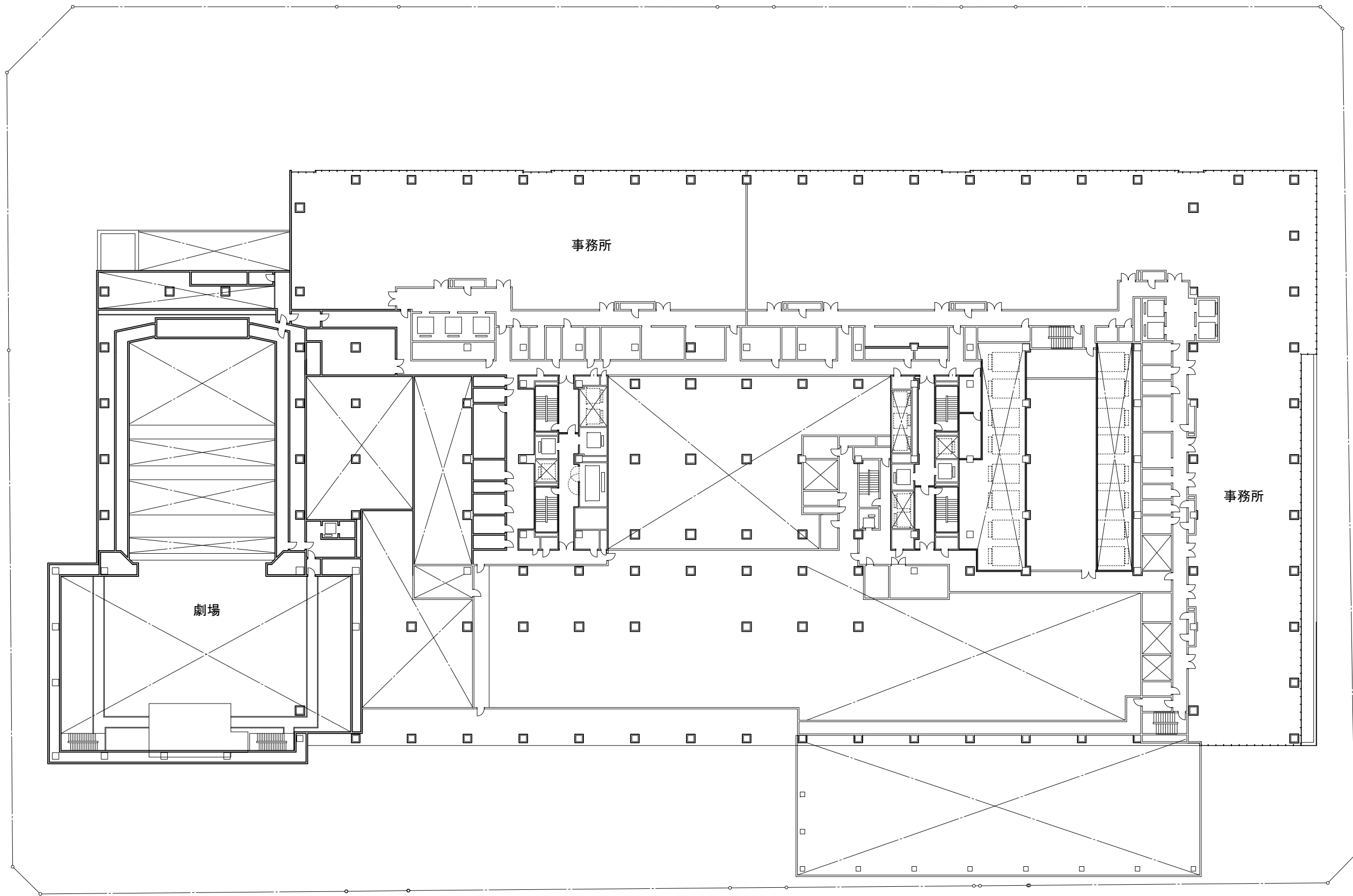


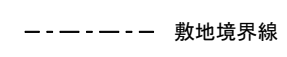
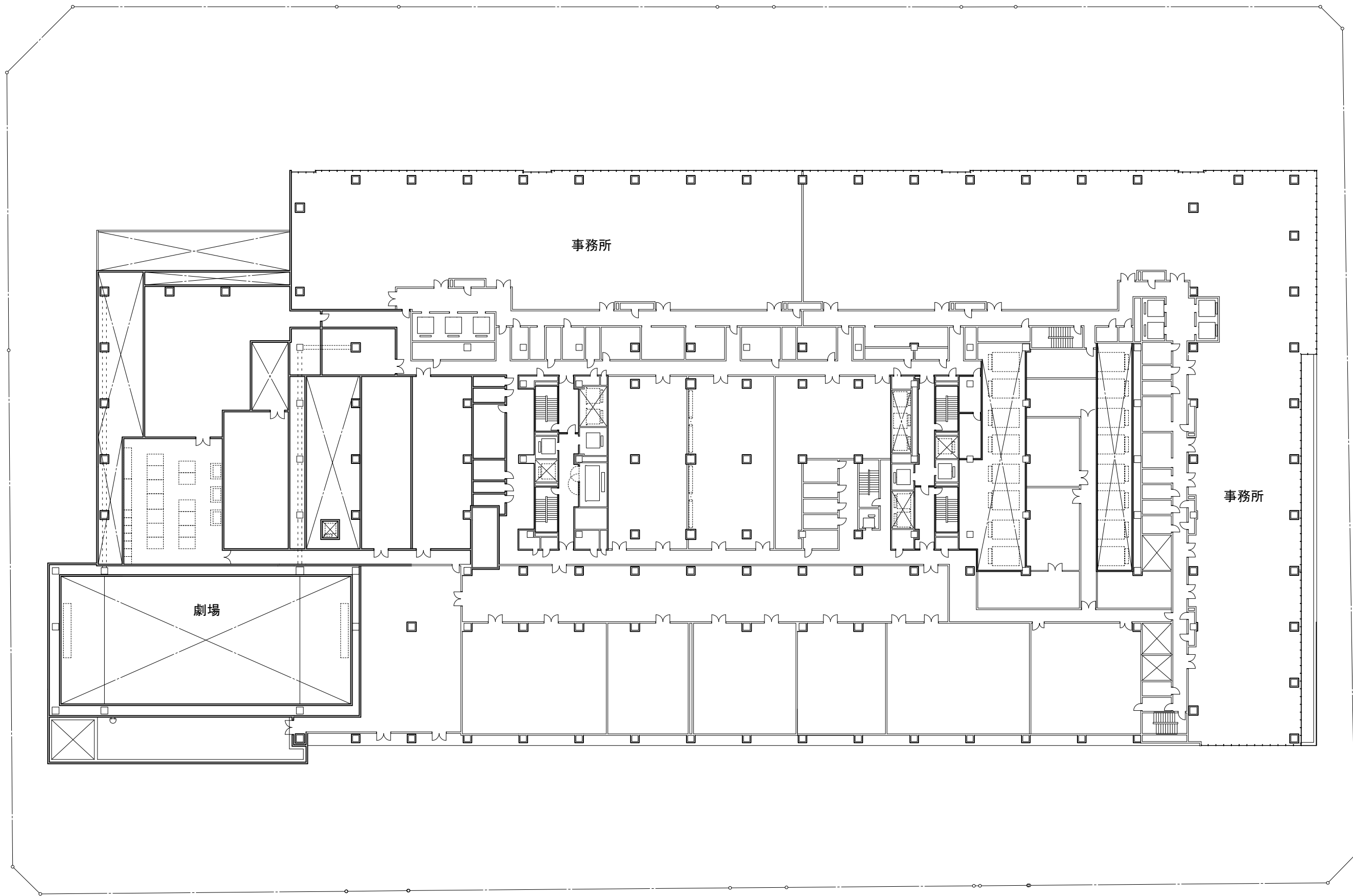


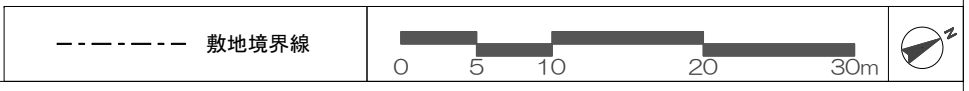
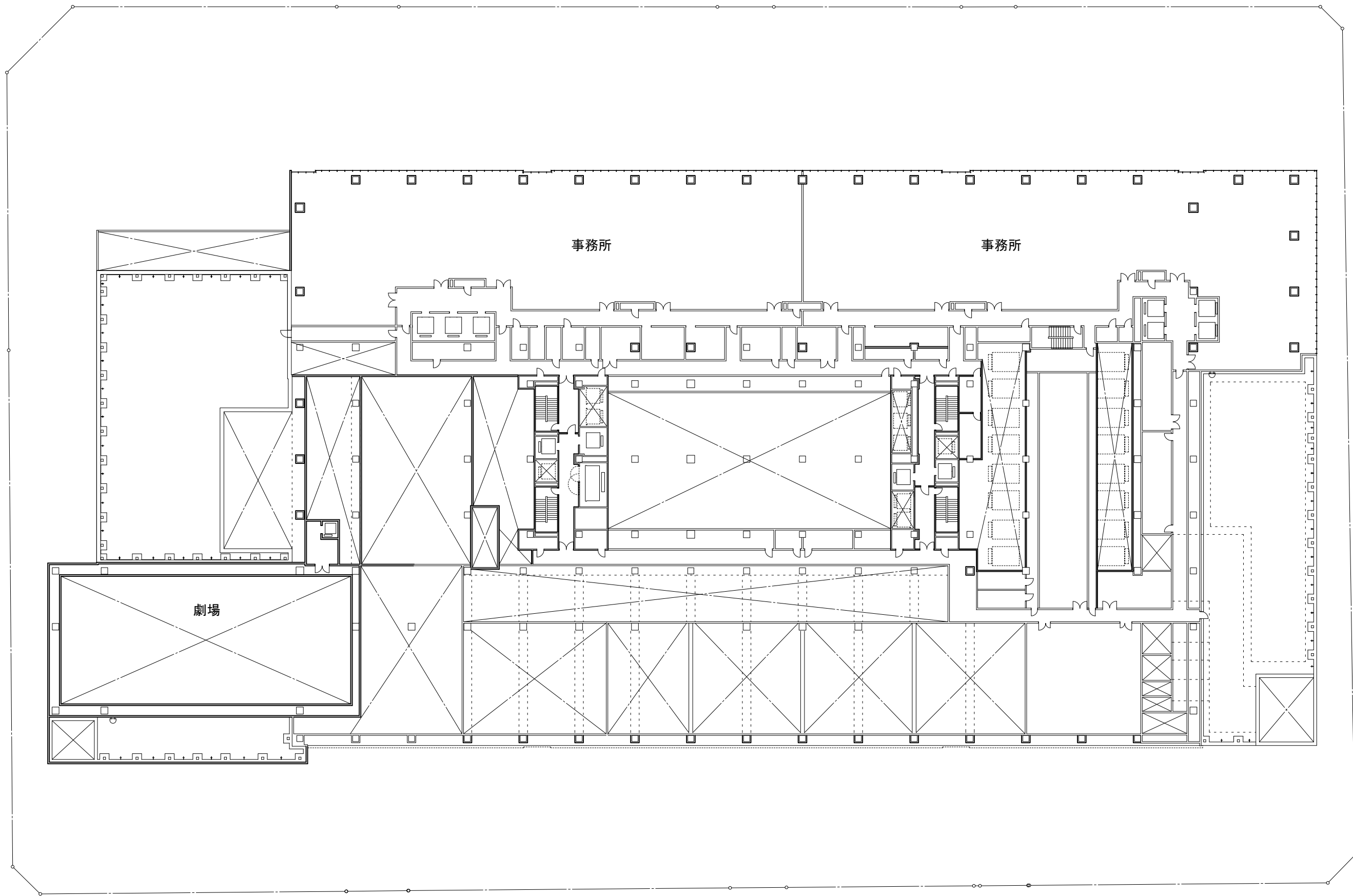


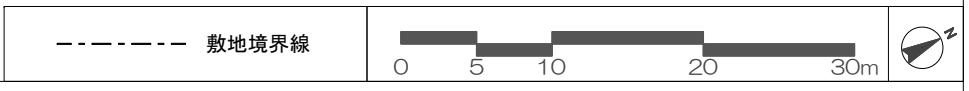
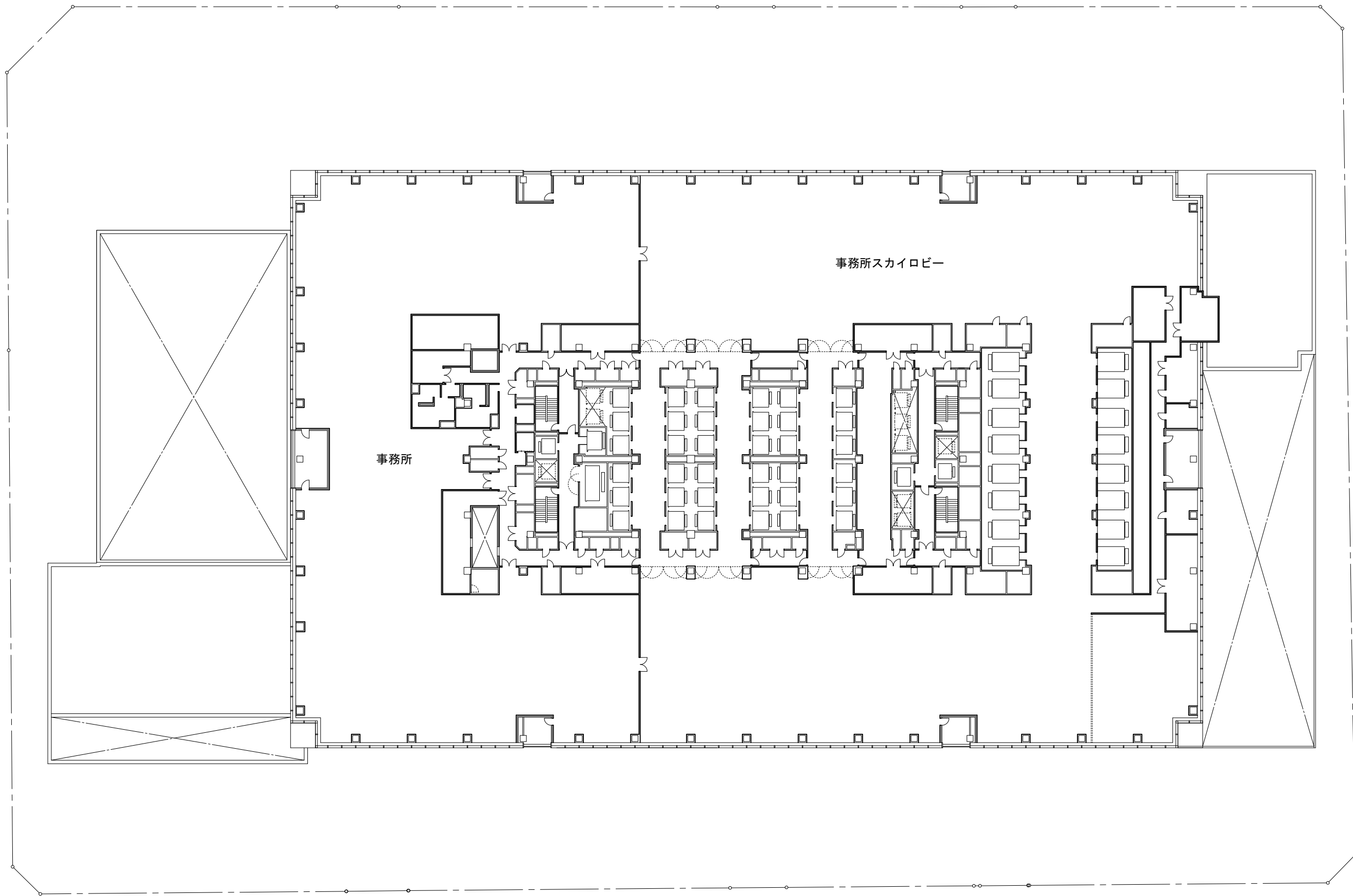


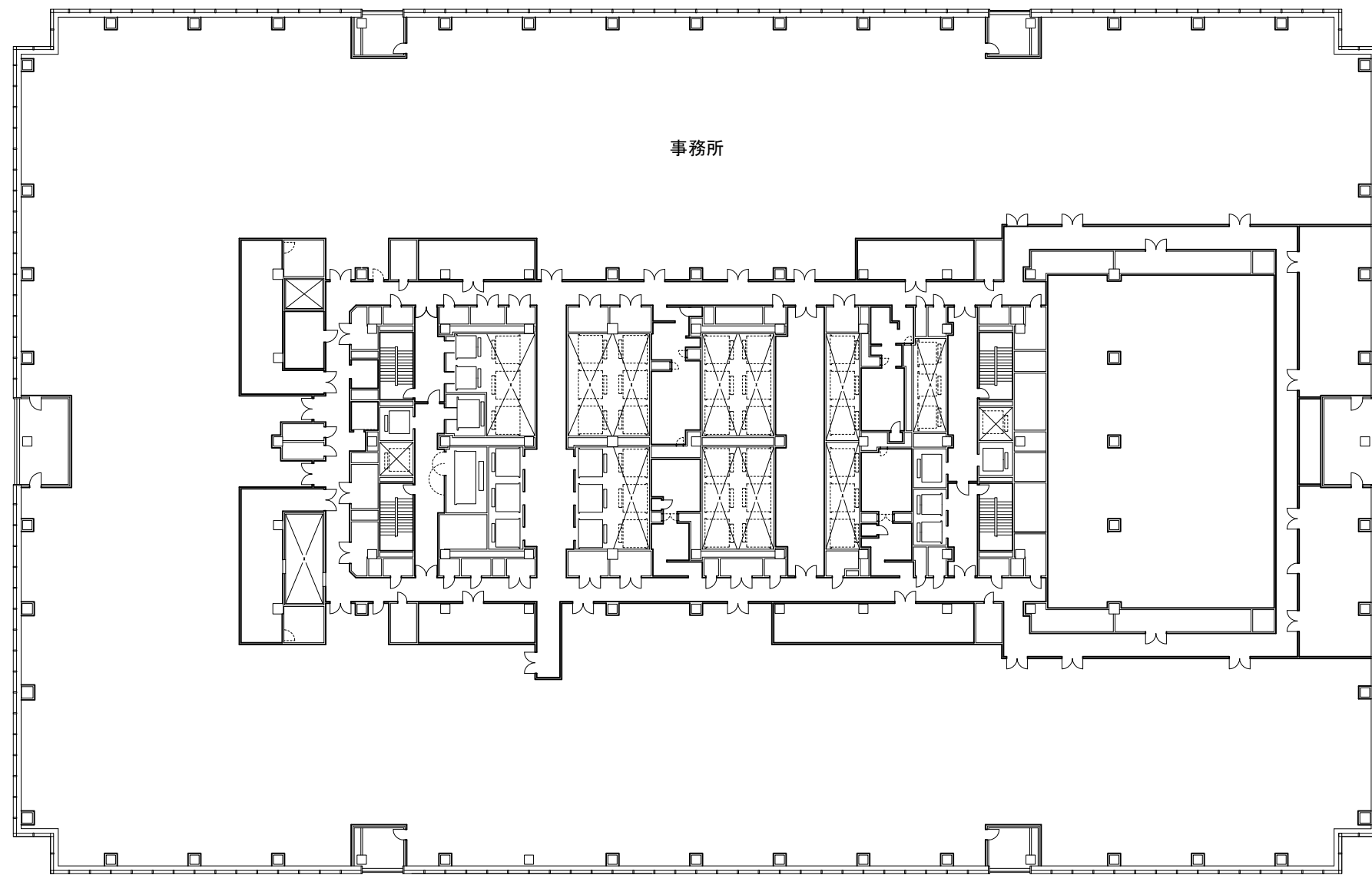






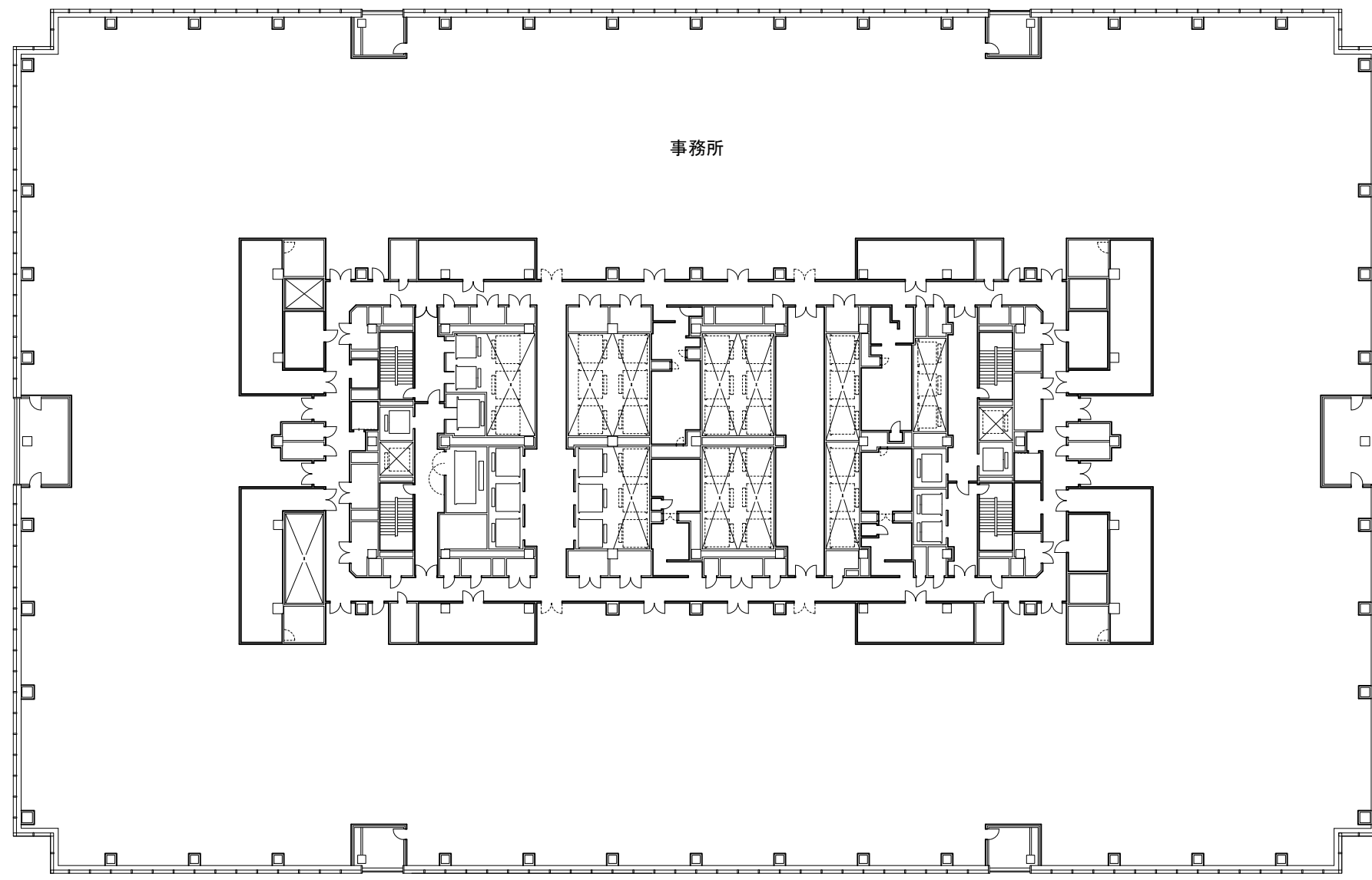






----- 敷地境界線

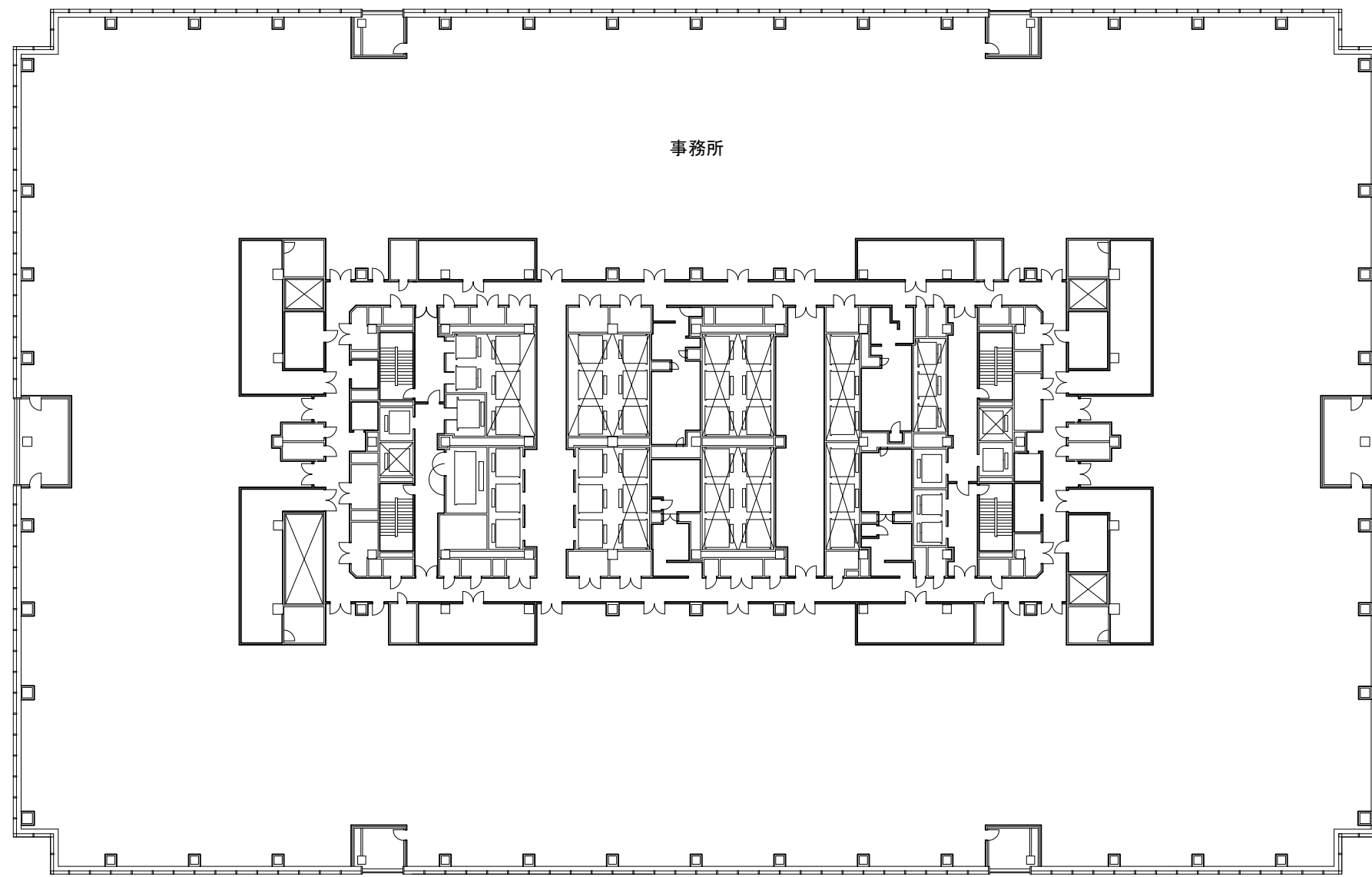




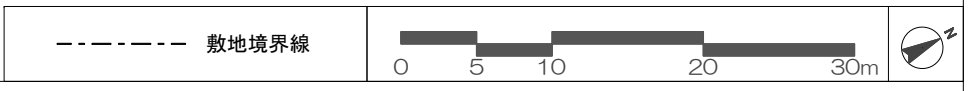
事務所

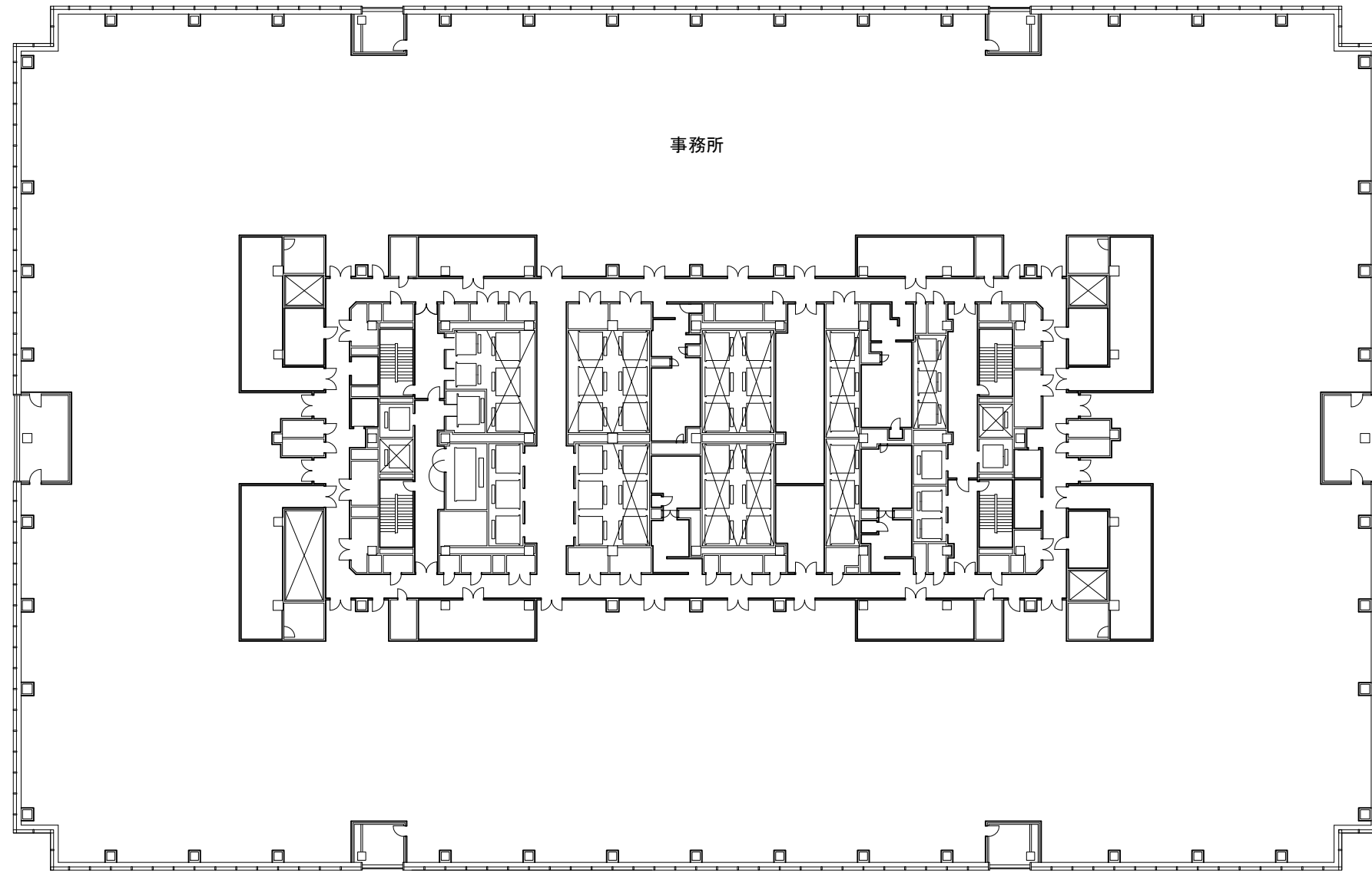
----- 敷地境界線





事務所

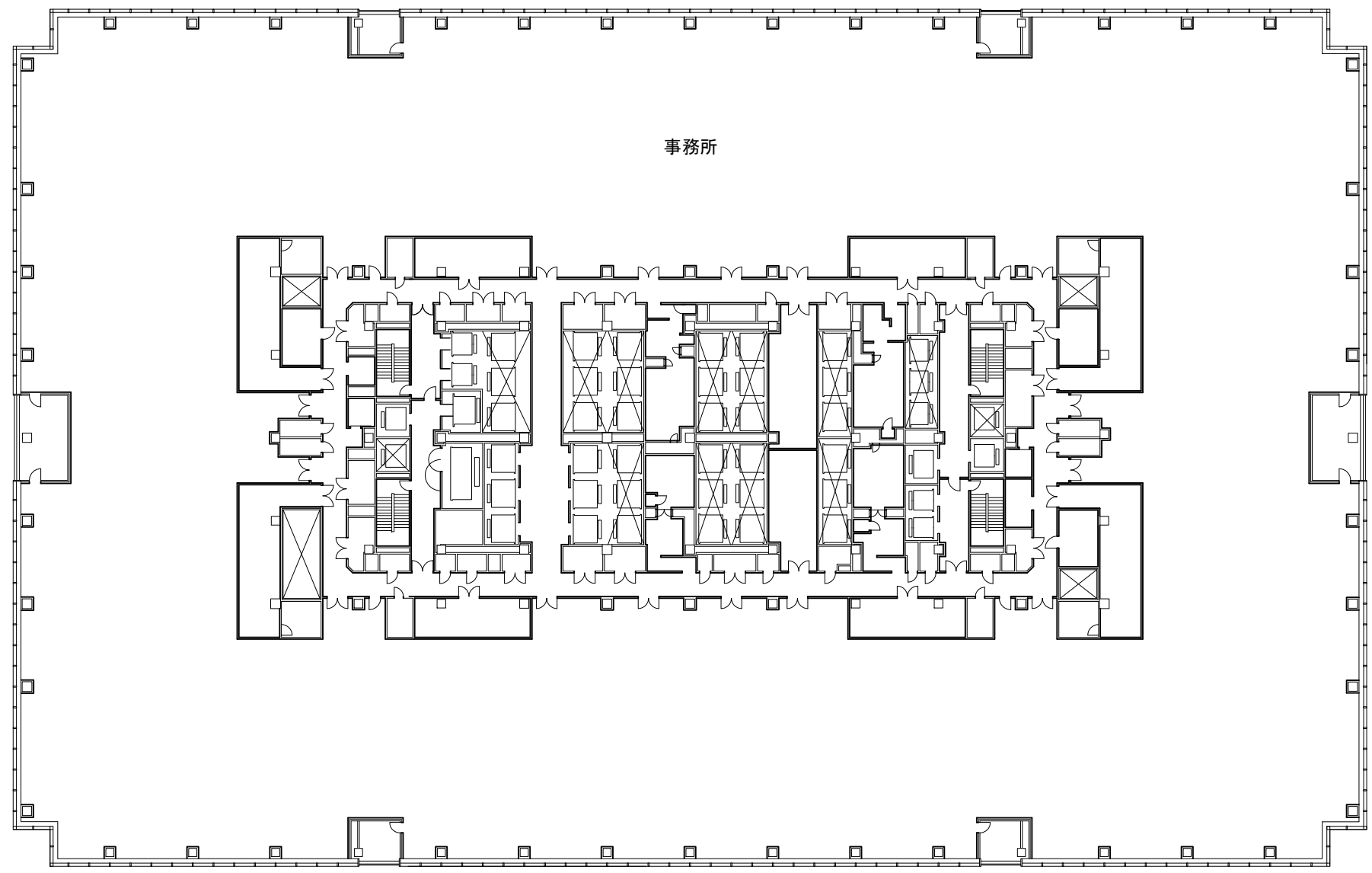




事務所

----- 敷地境界線

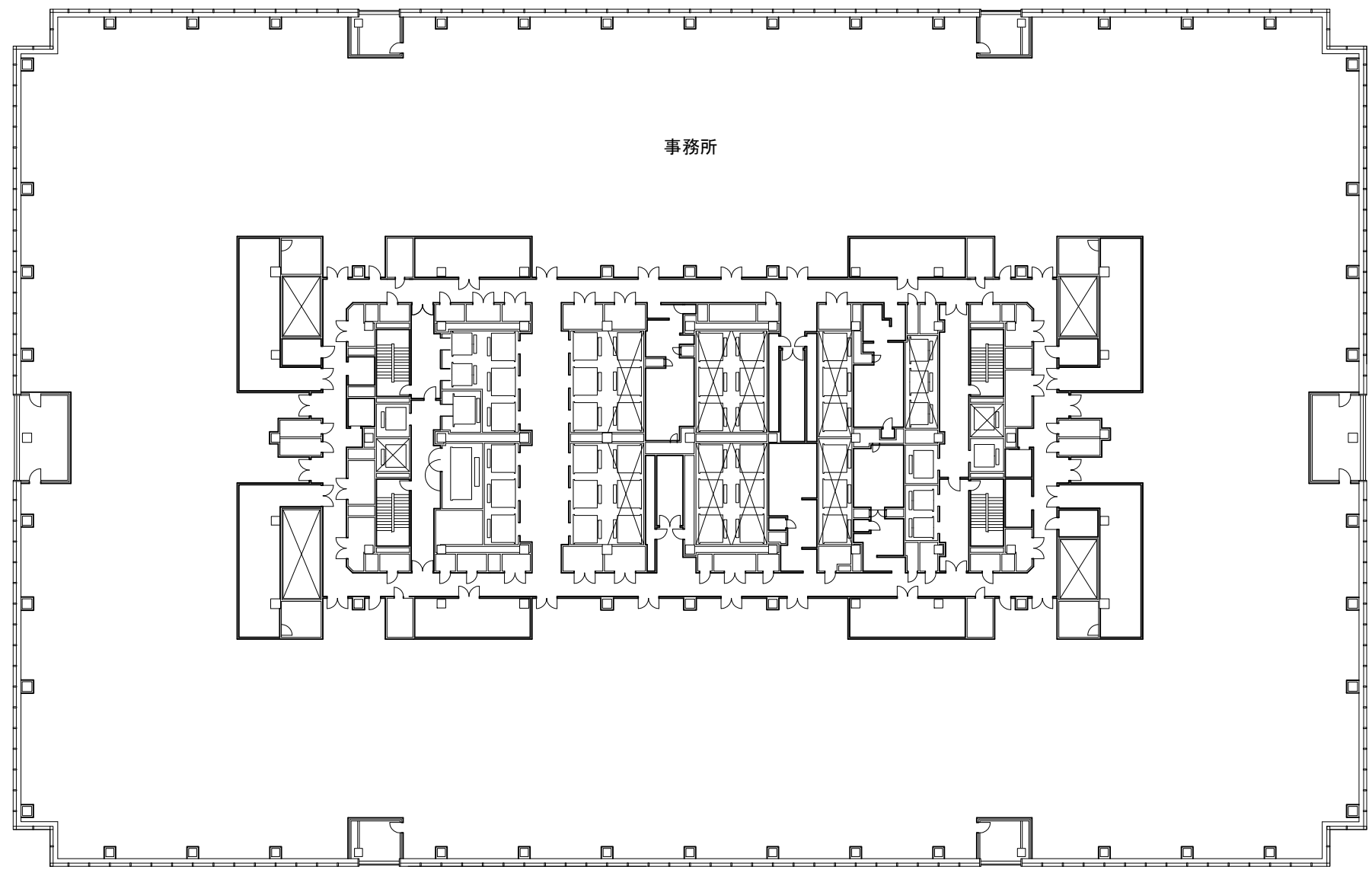




事務所

----- 敷地境界線

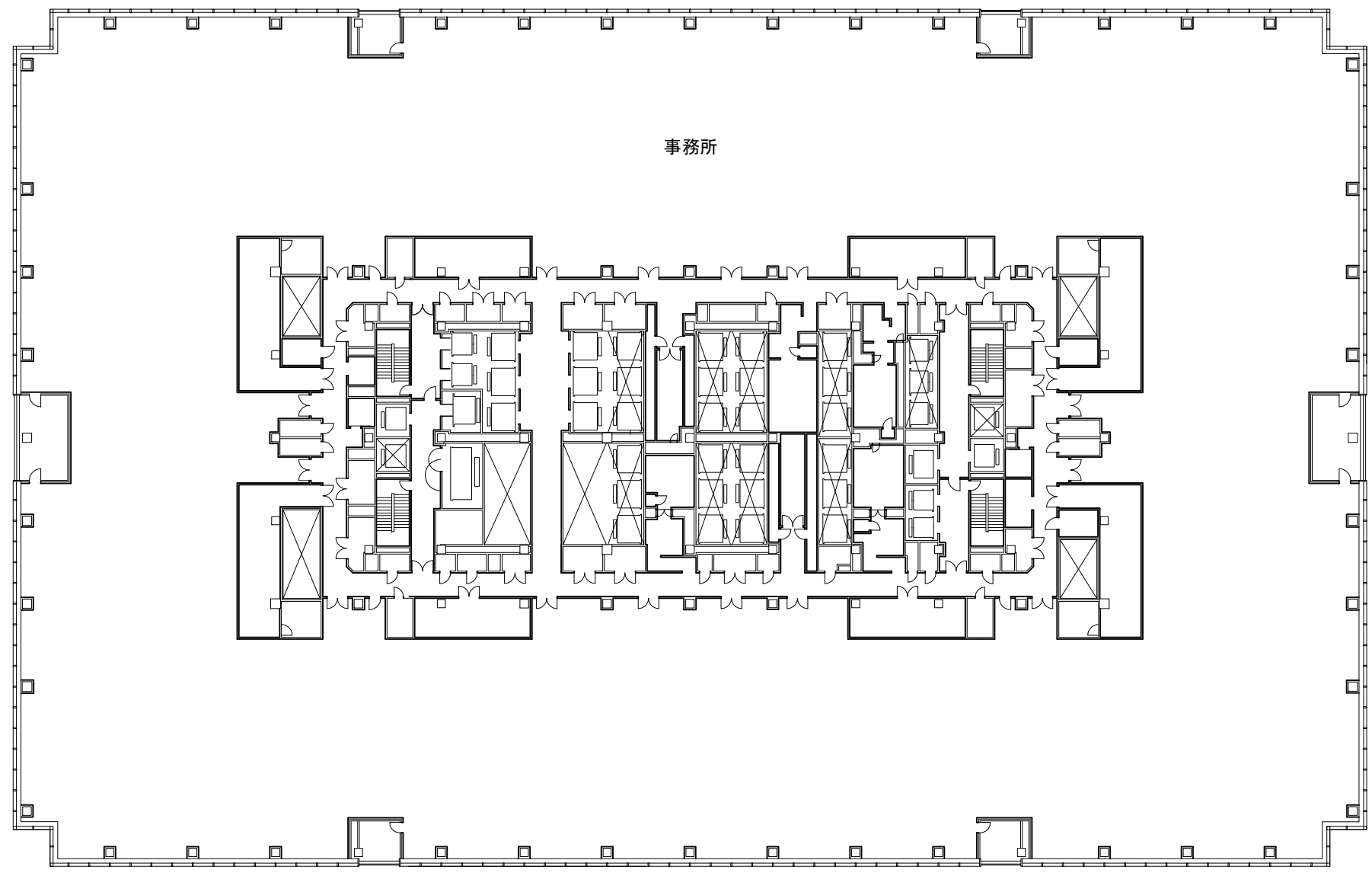




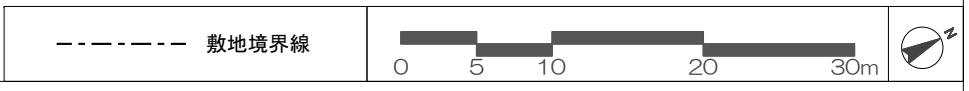
事務所

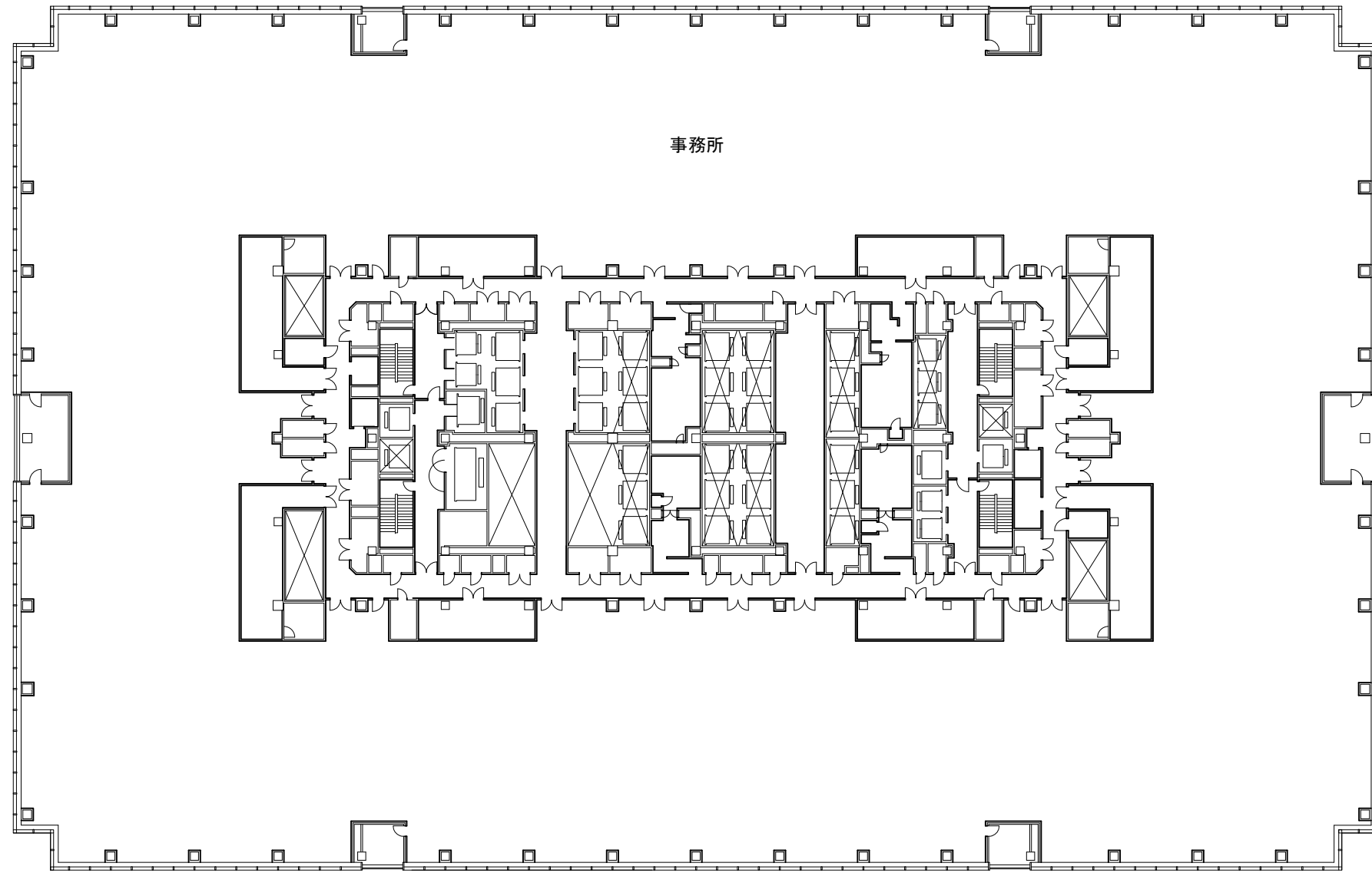
----- 敷地境界線





事務所

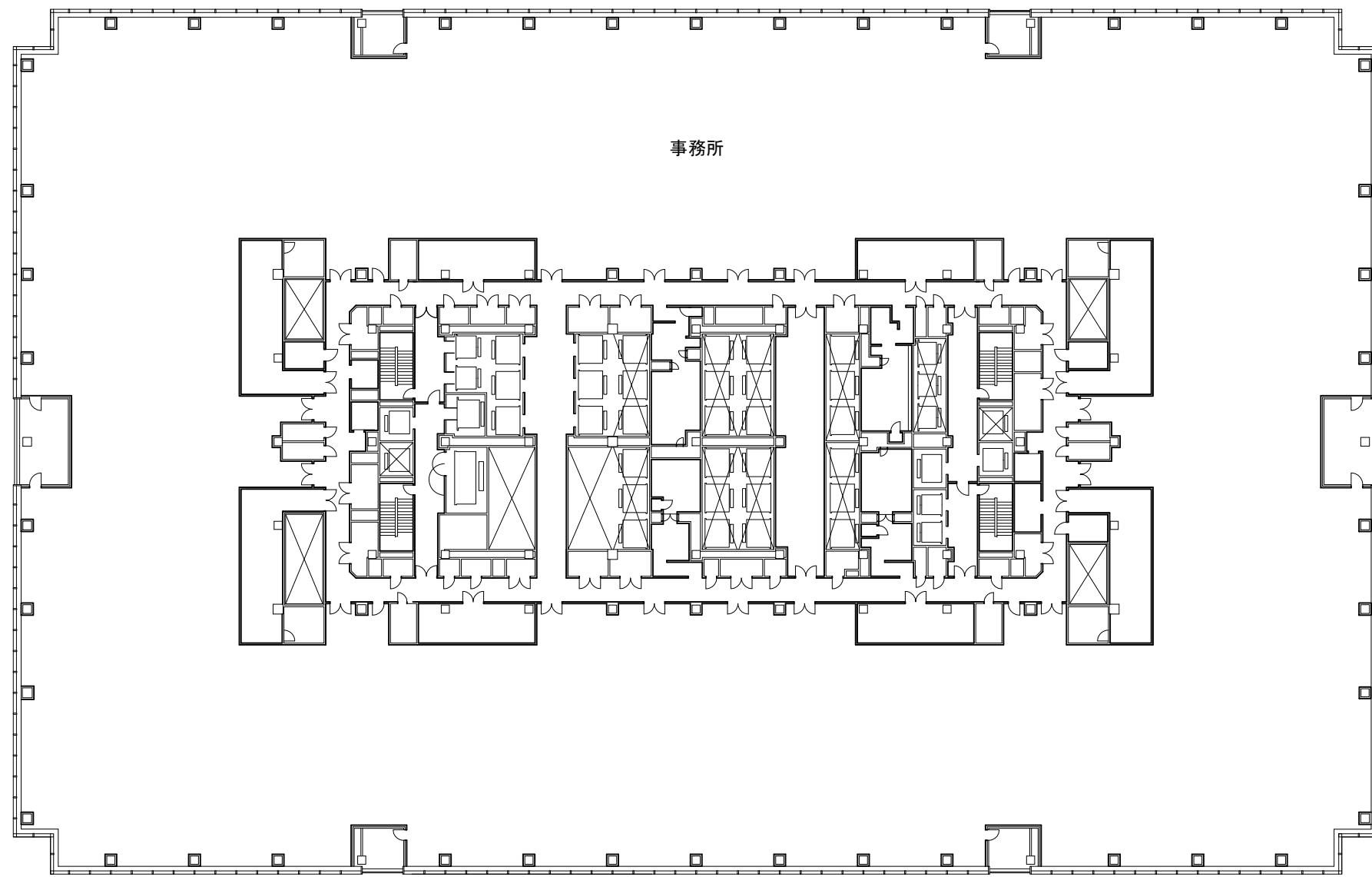




事務所

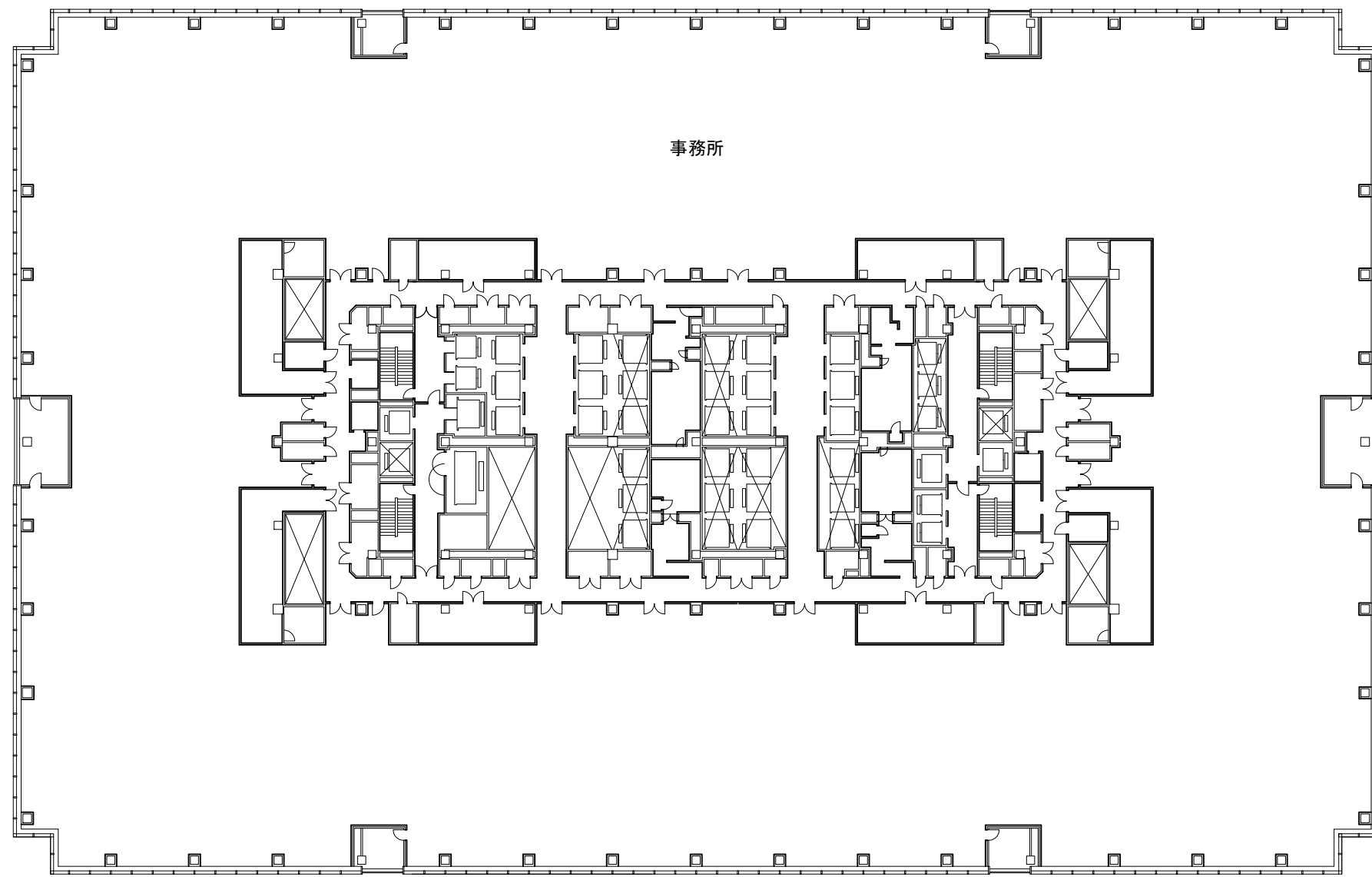
----- 敷地境界線





----- 敷地境界線

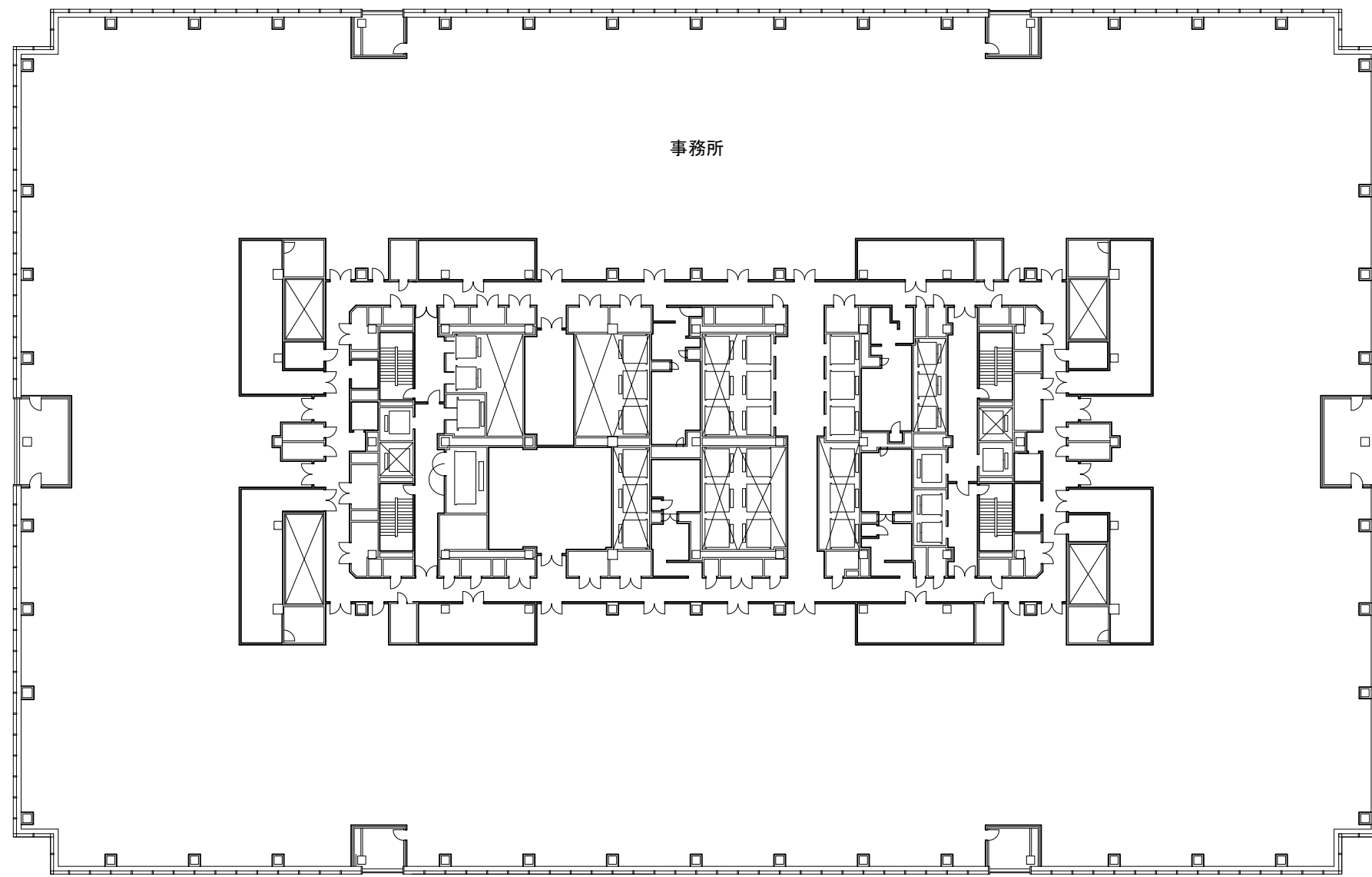




事務所

----- 敷地境界線

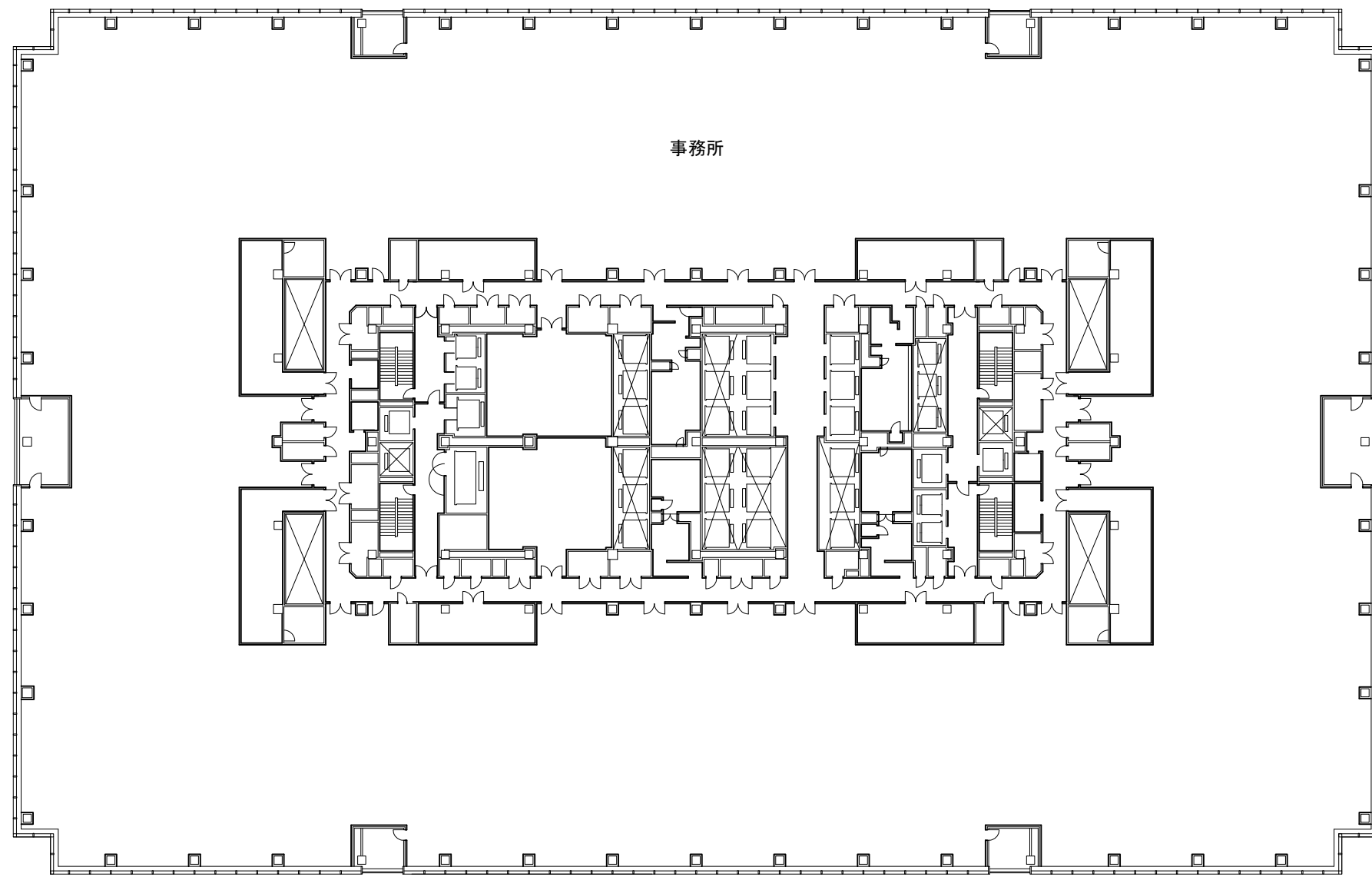




事務所

----- 敷地境界線

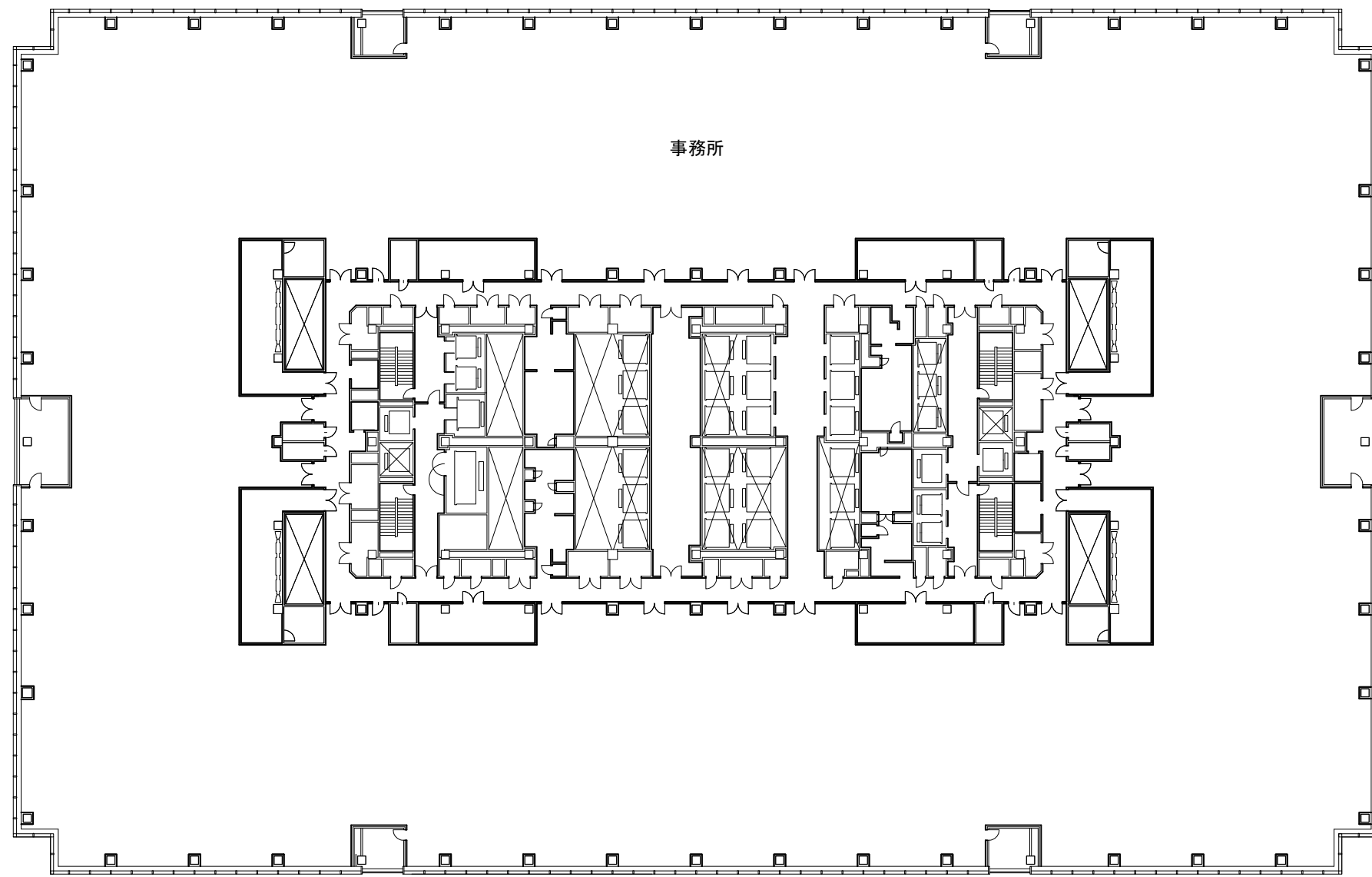




事務所

----- 敷地境界線

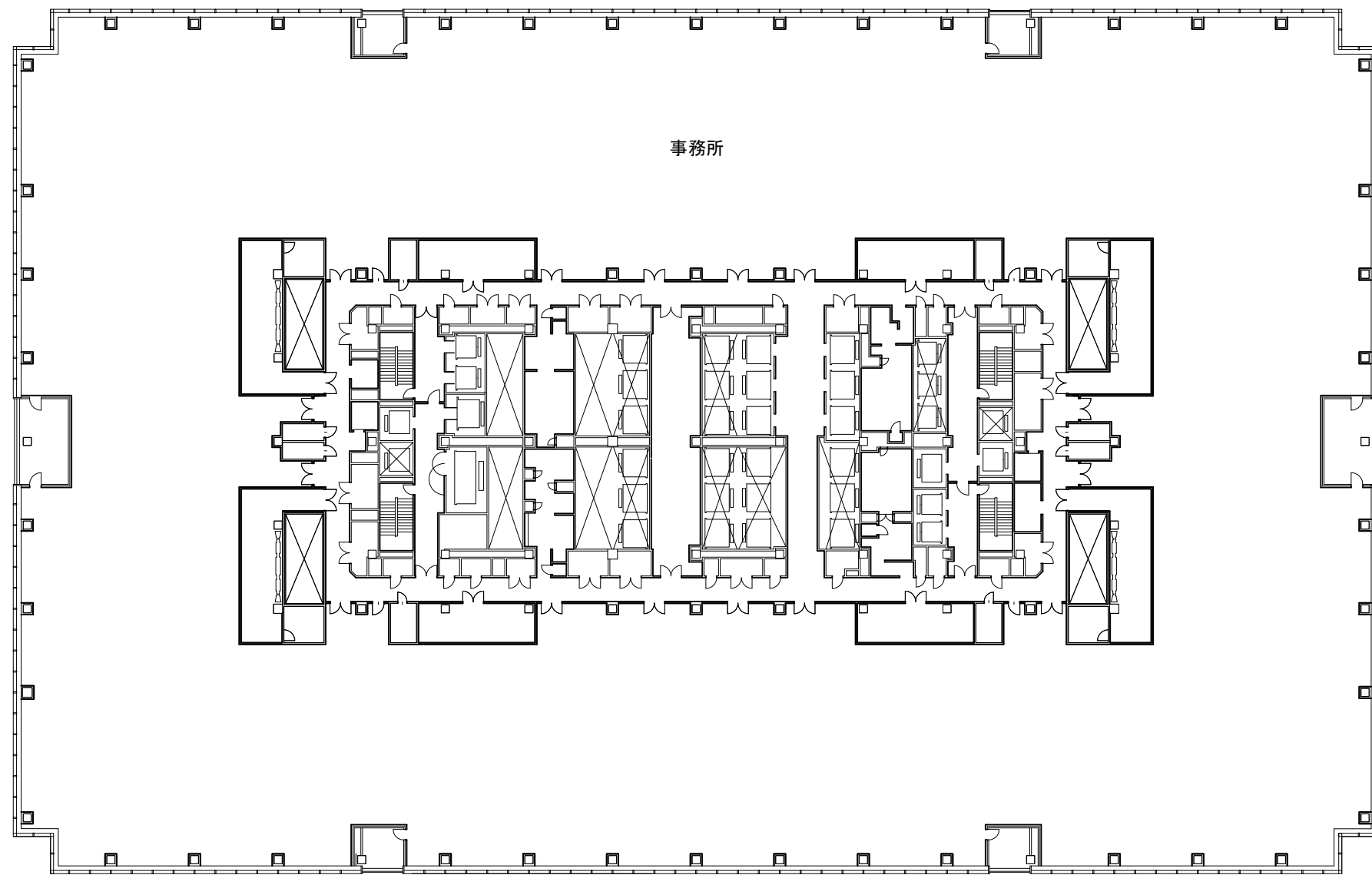




事務所

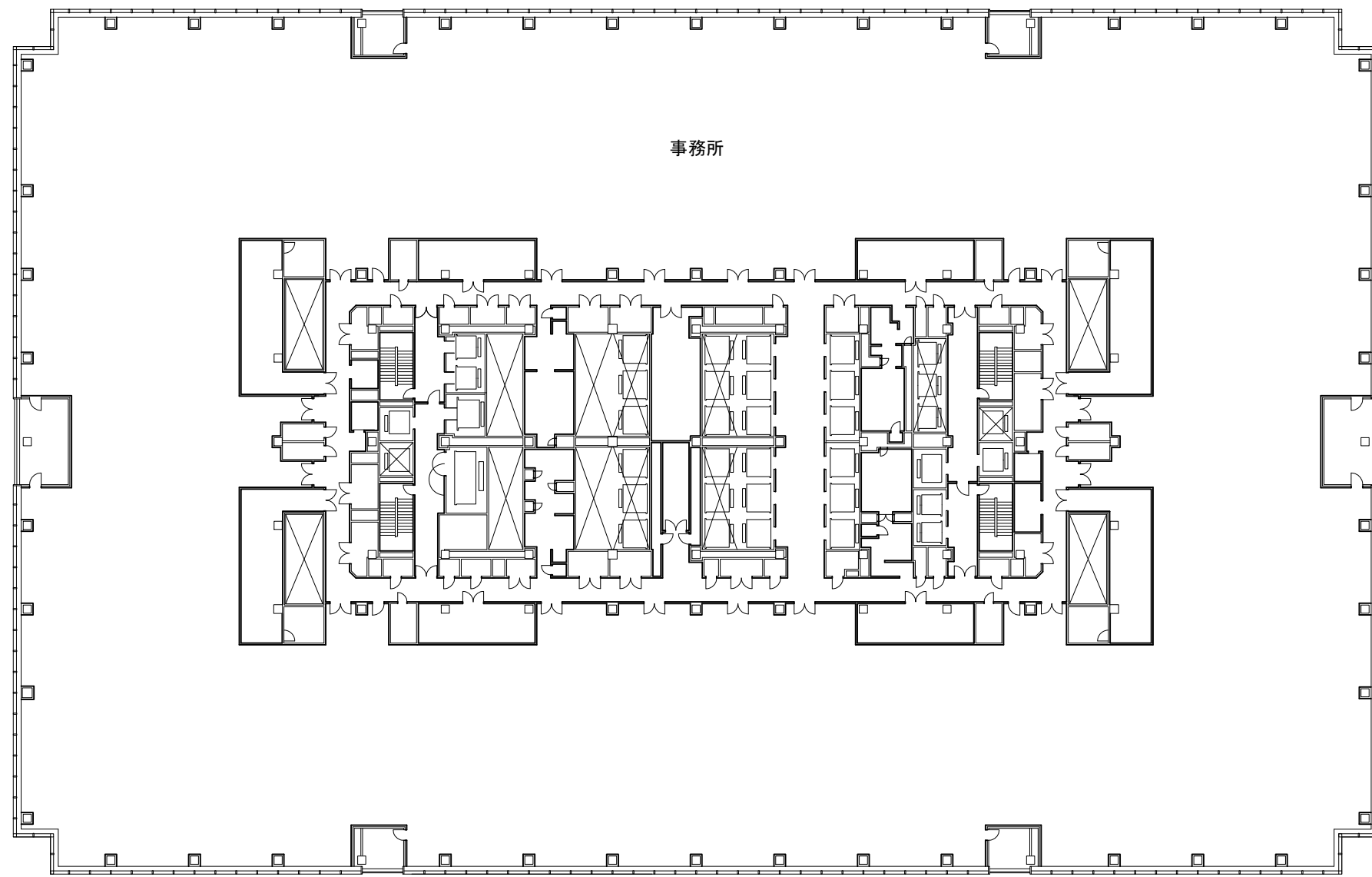
----- 敷地境界線





----- 敷地境界線

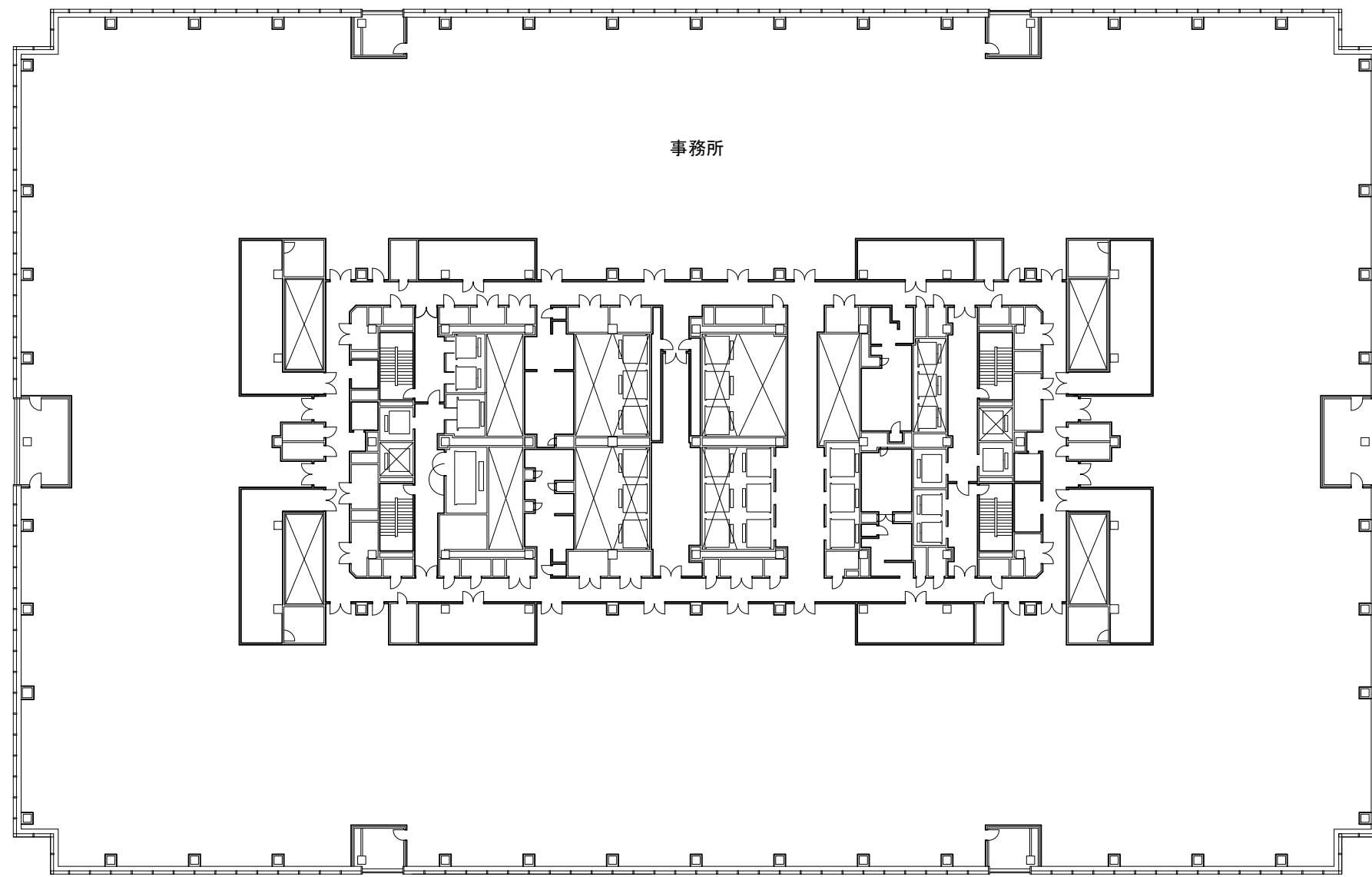




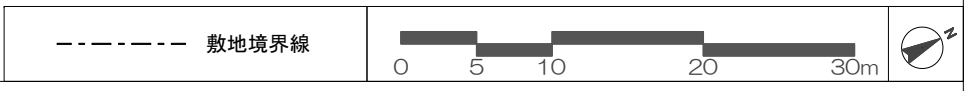
事務所

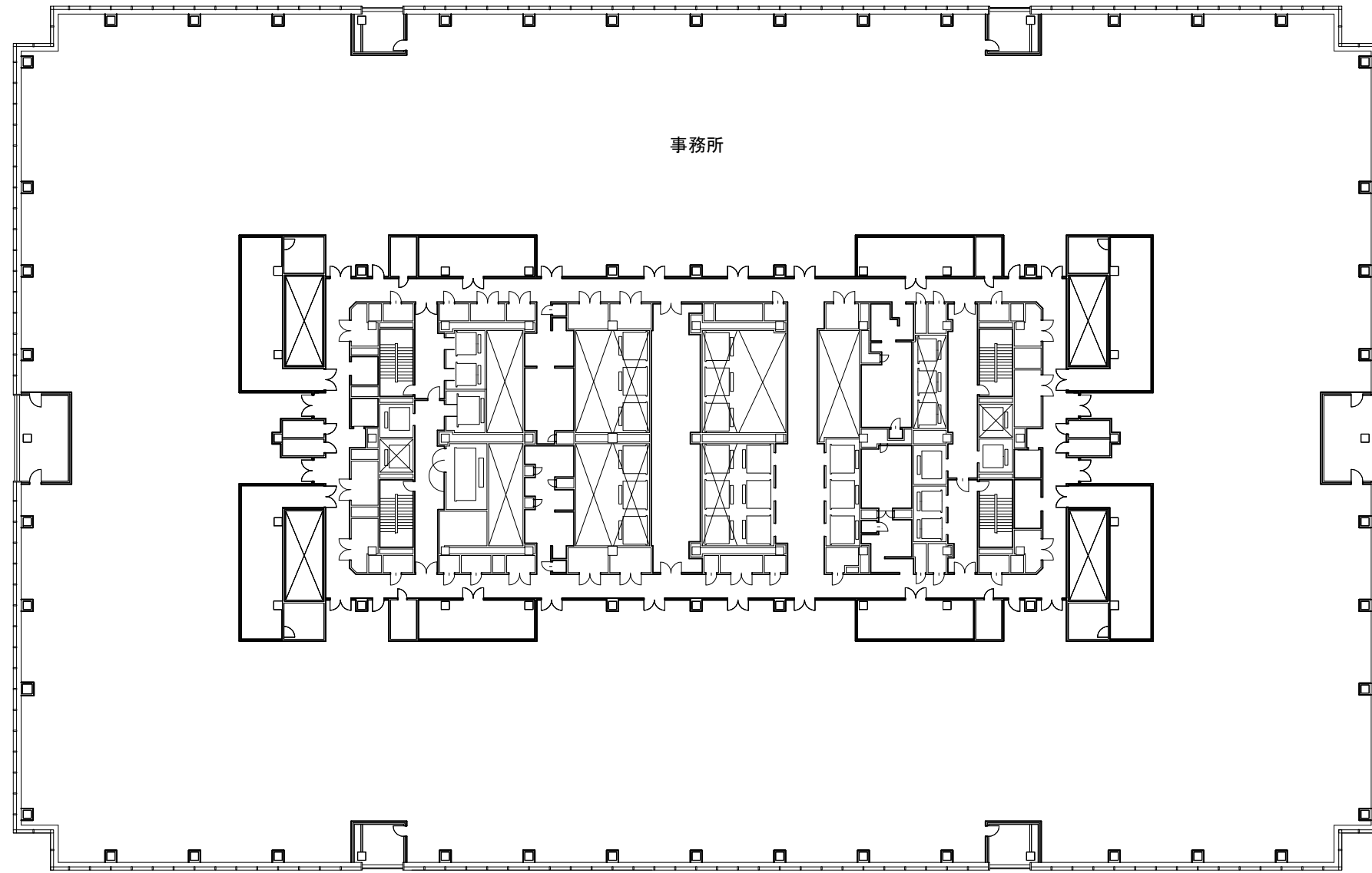
----- 敷地境界線





事務所

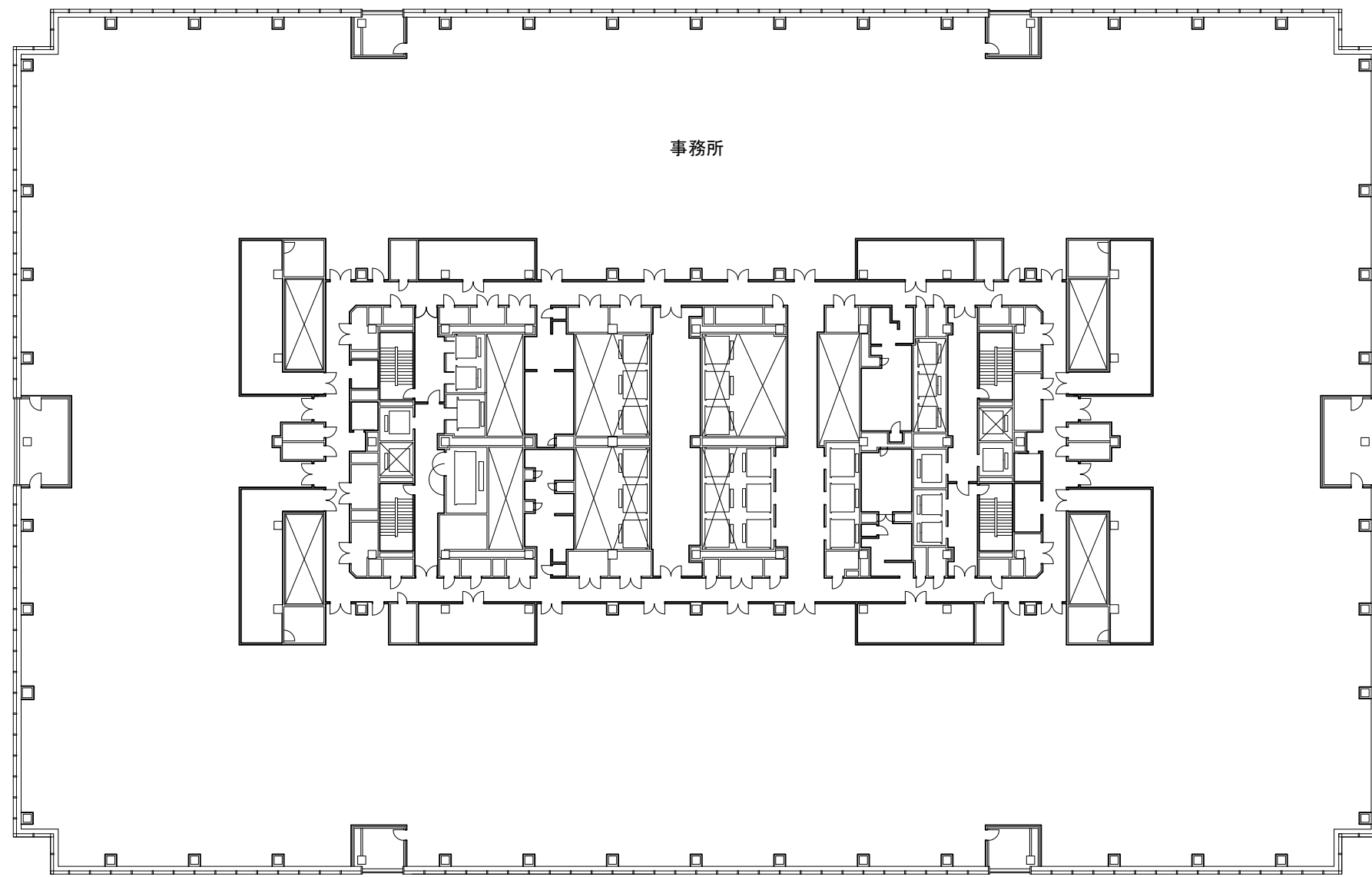




事務所

----- 敷地境界線

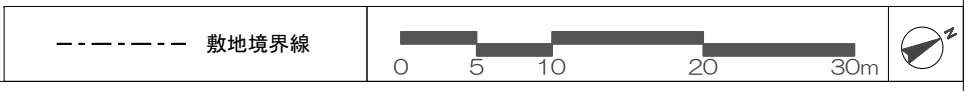
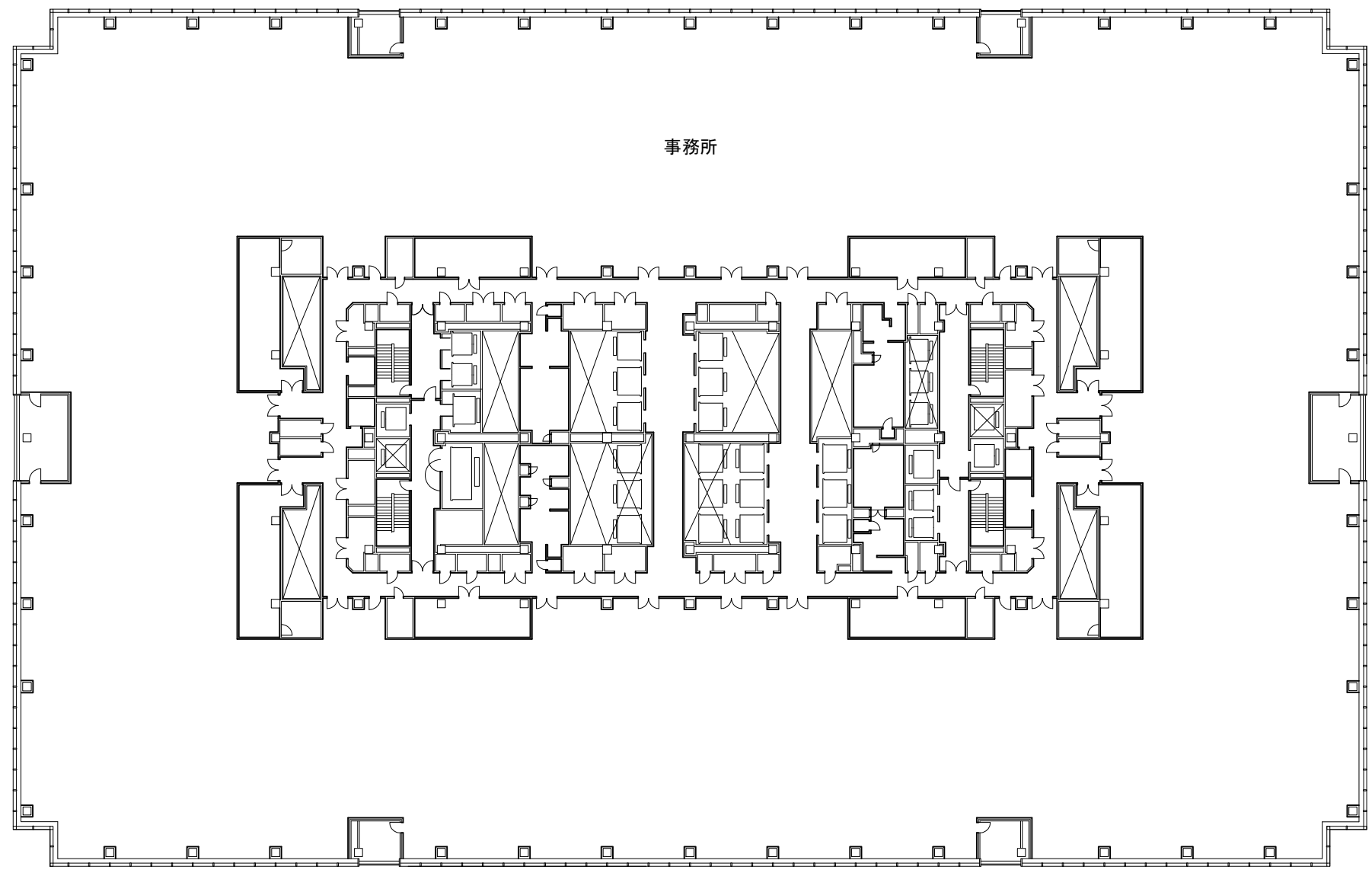


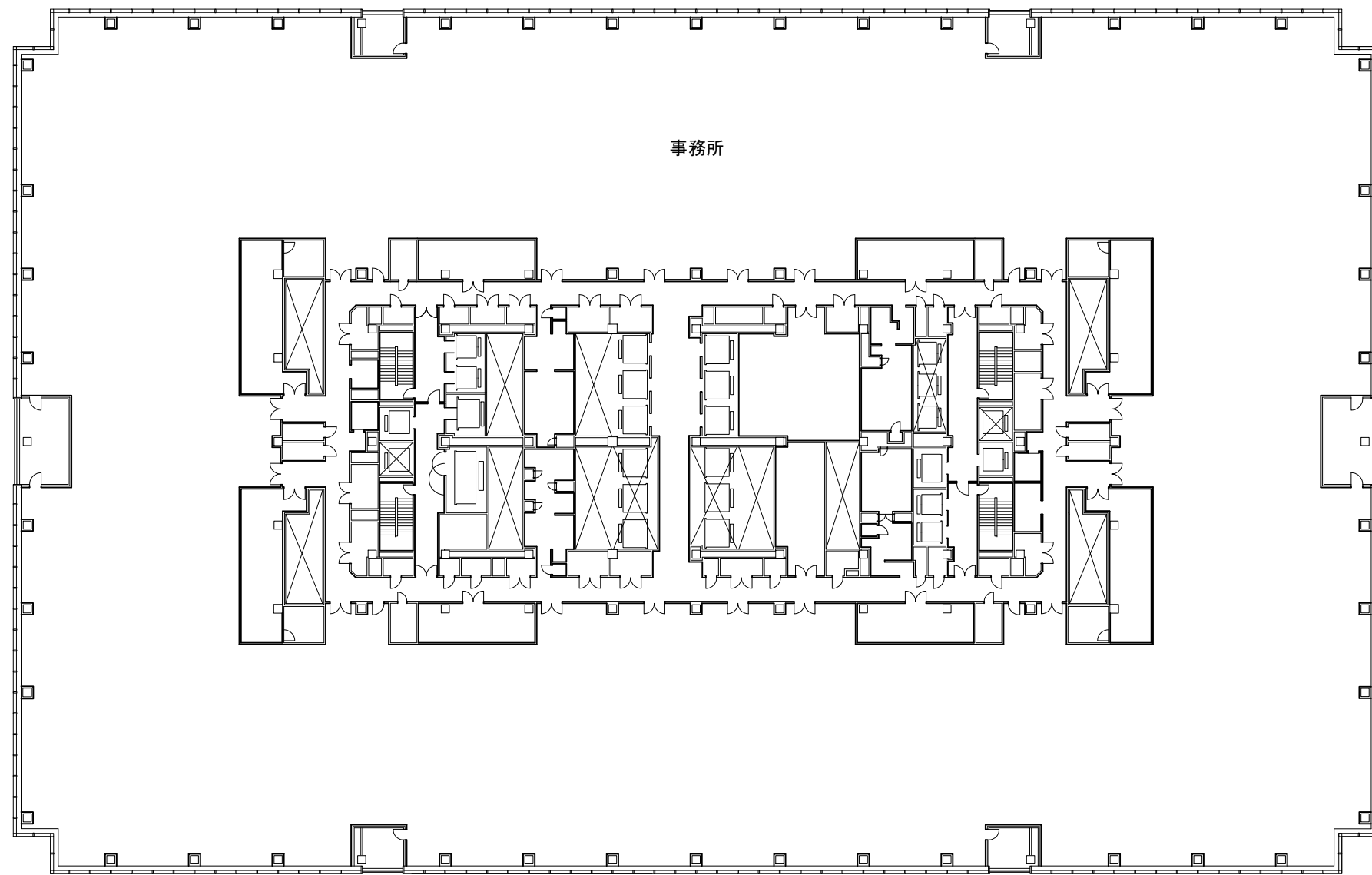


事務所

----- 敷地境界線



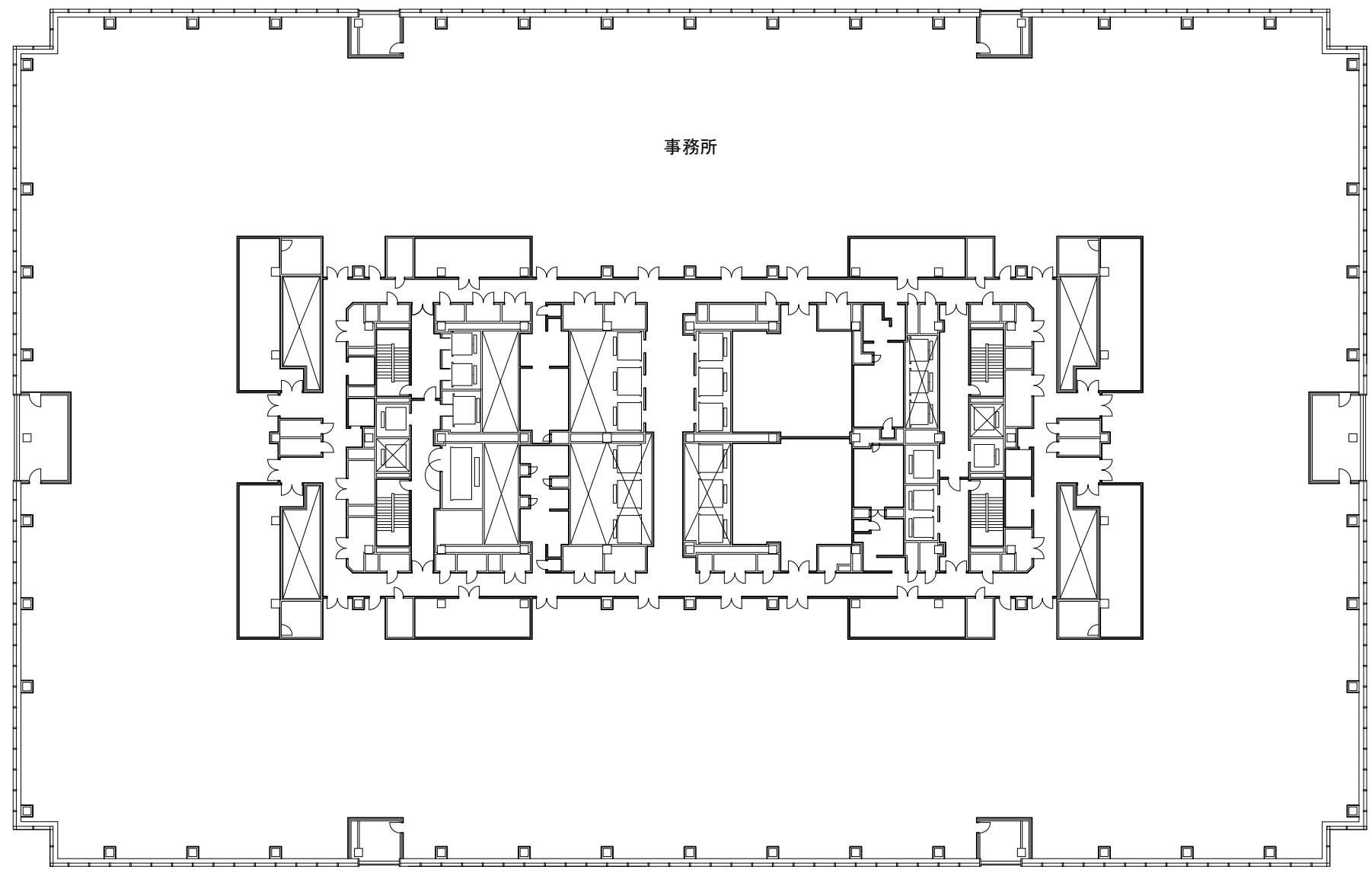




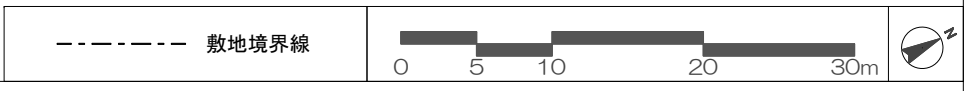
事務所

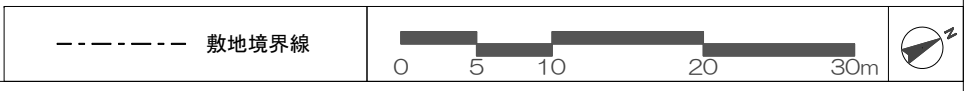
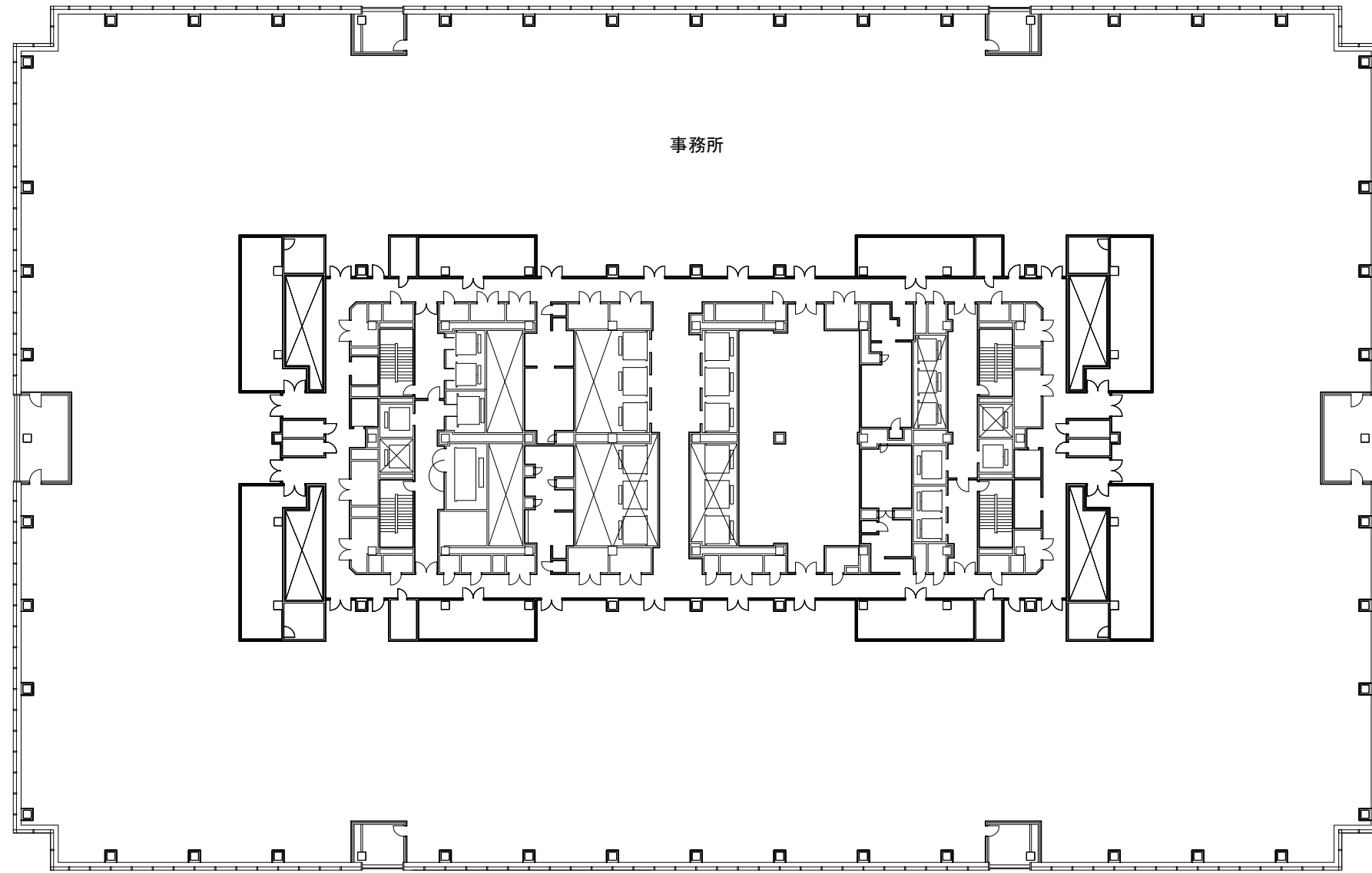
----- 敷地境界線

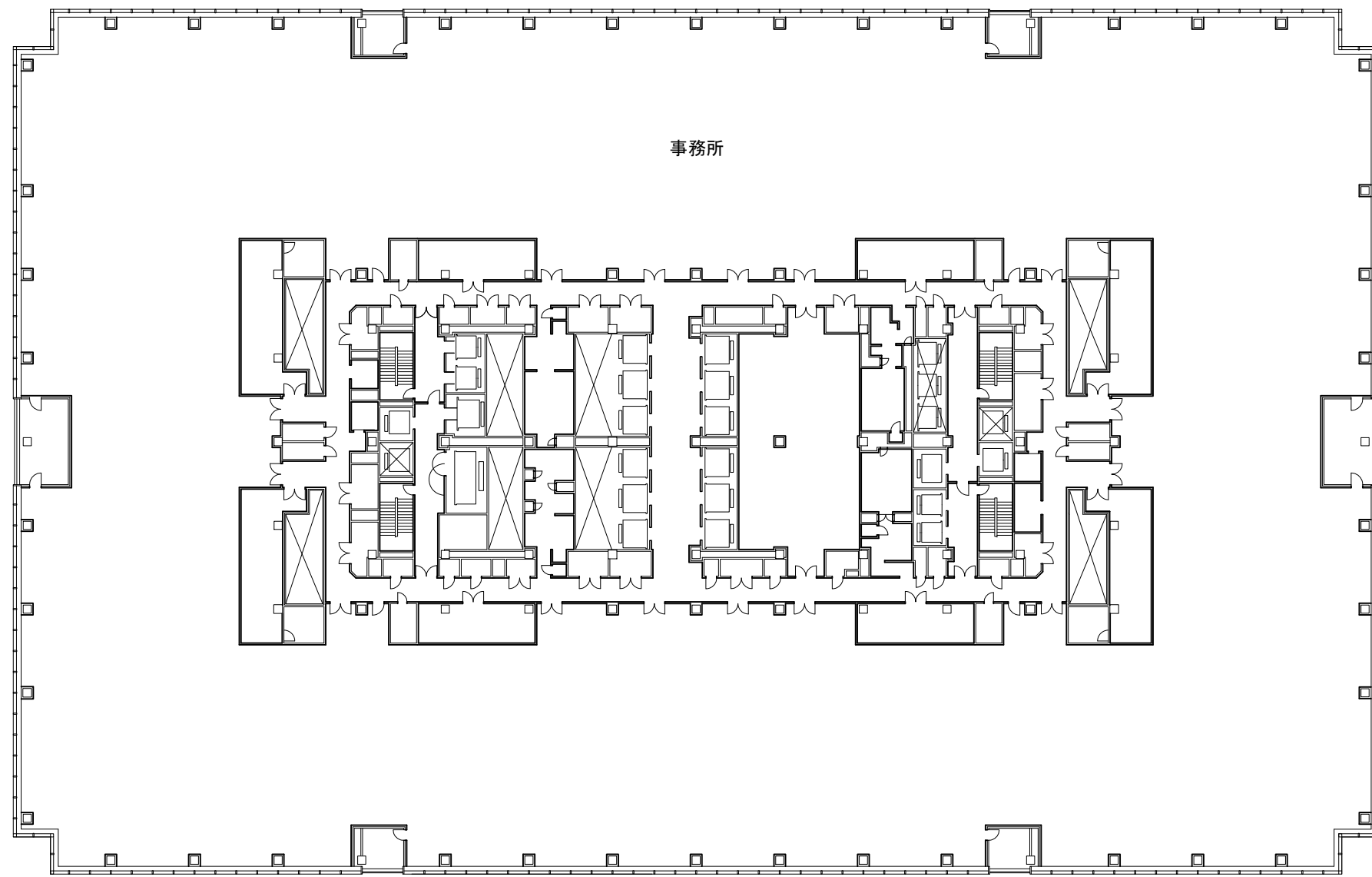




事務所



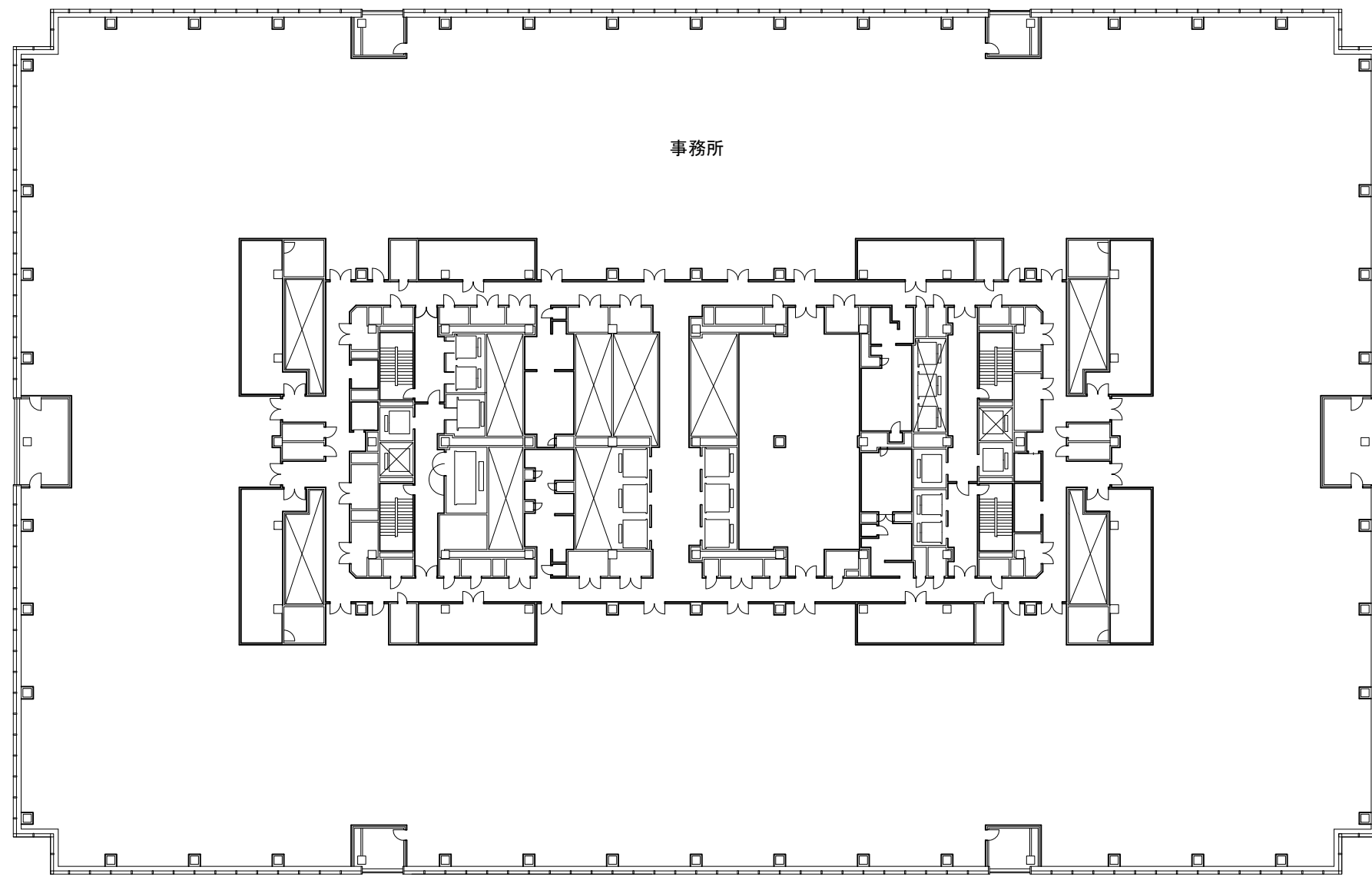




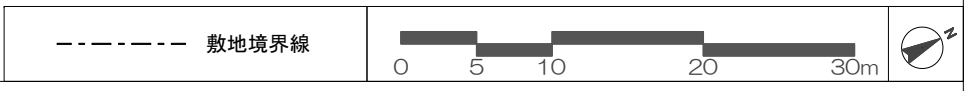
事務所

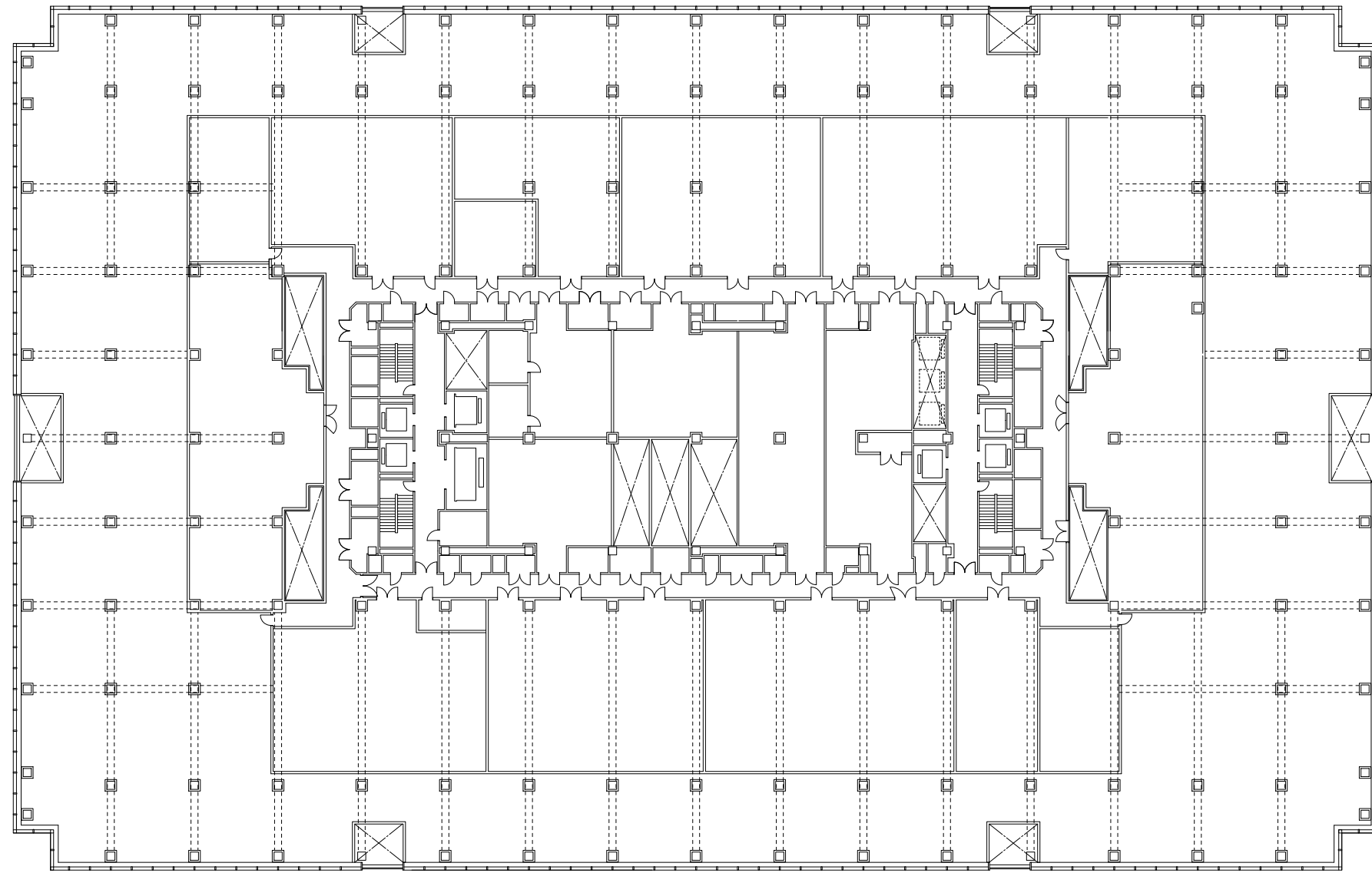
----- 敷地境界線





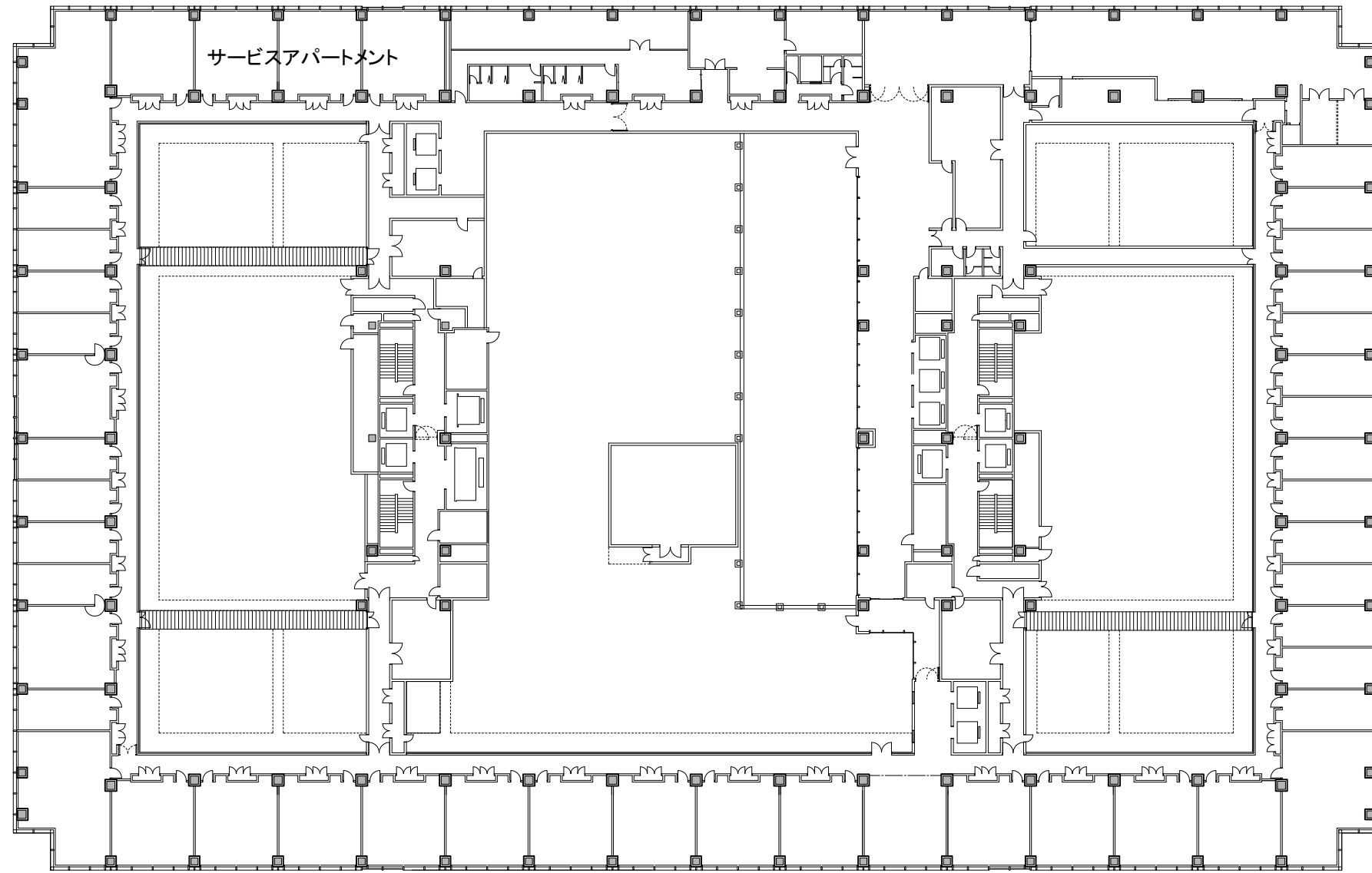
事務所





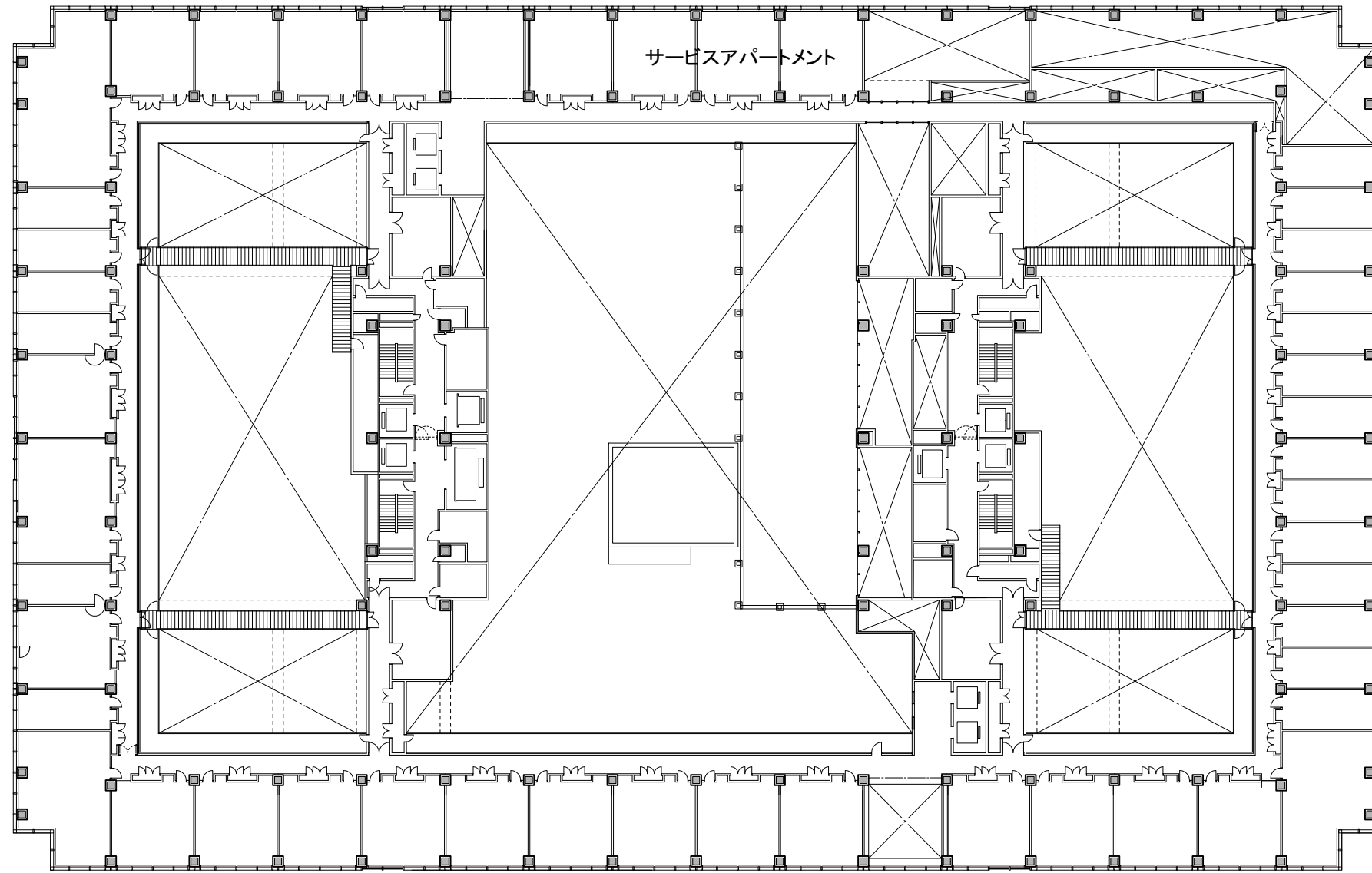
----- 敷地境界線





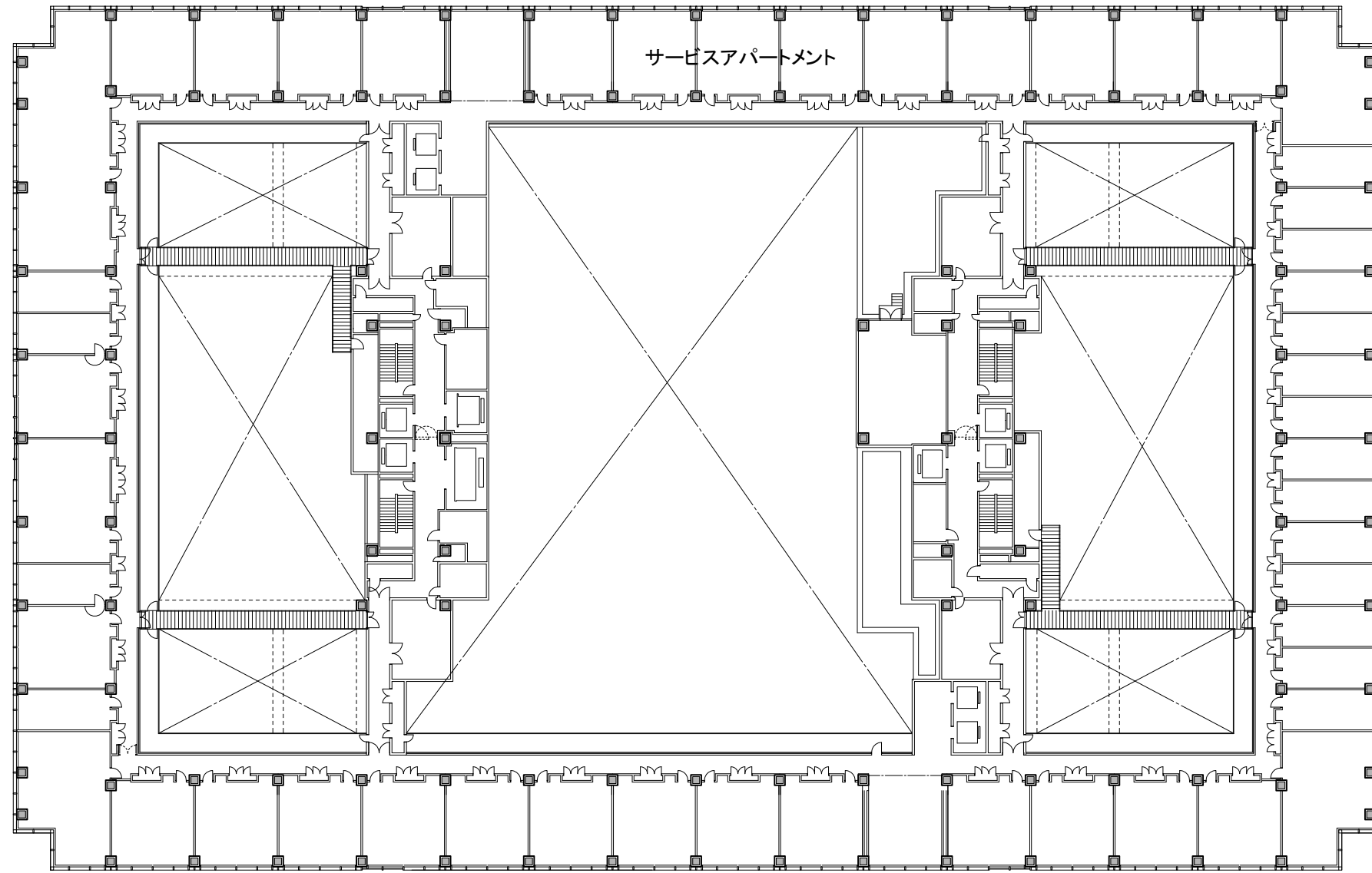
----- 敷地境界線





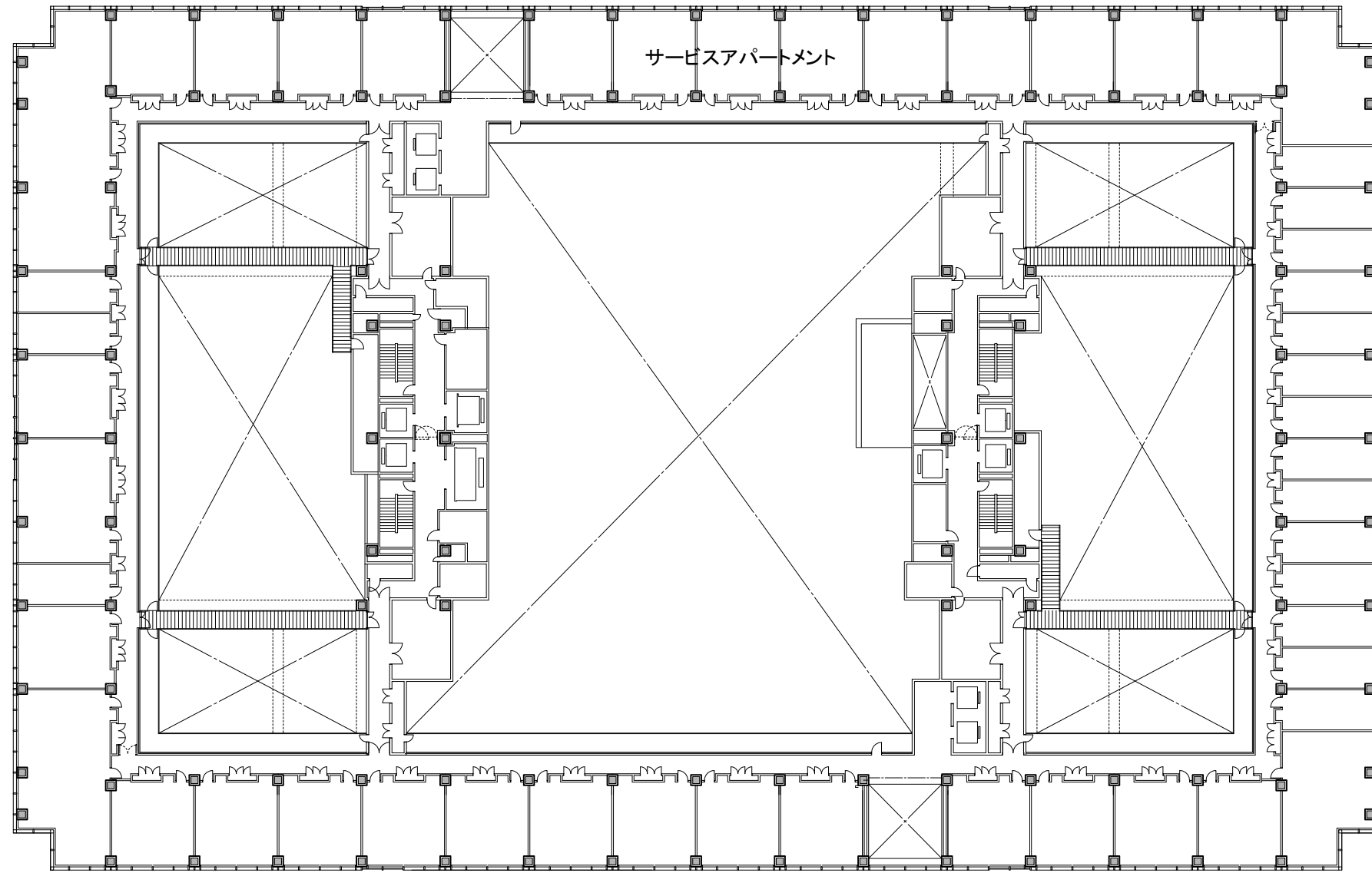
----- 敷地境界線





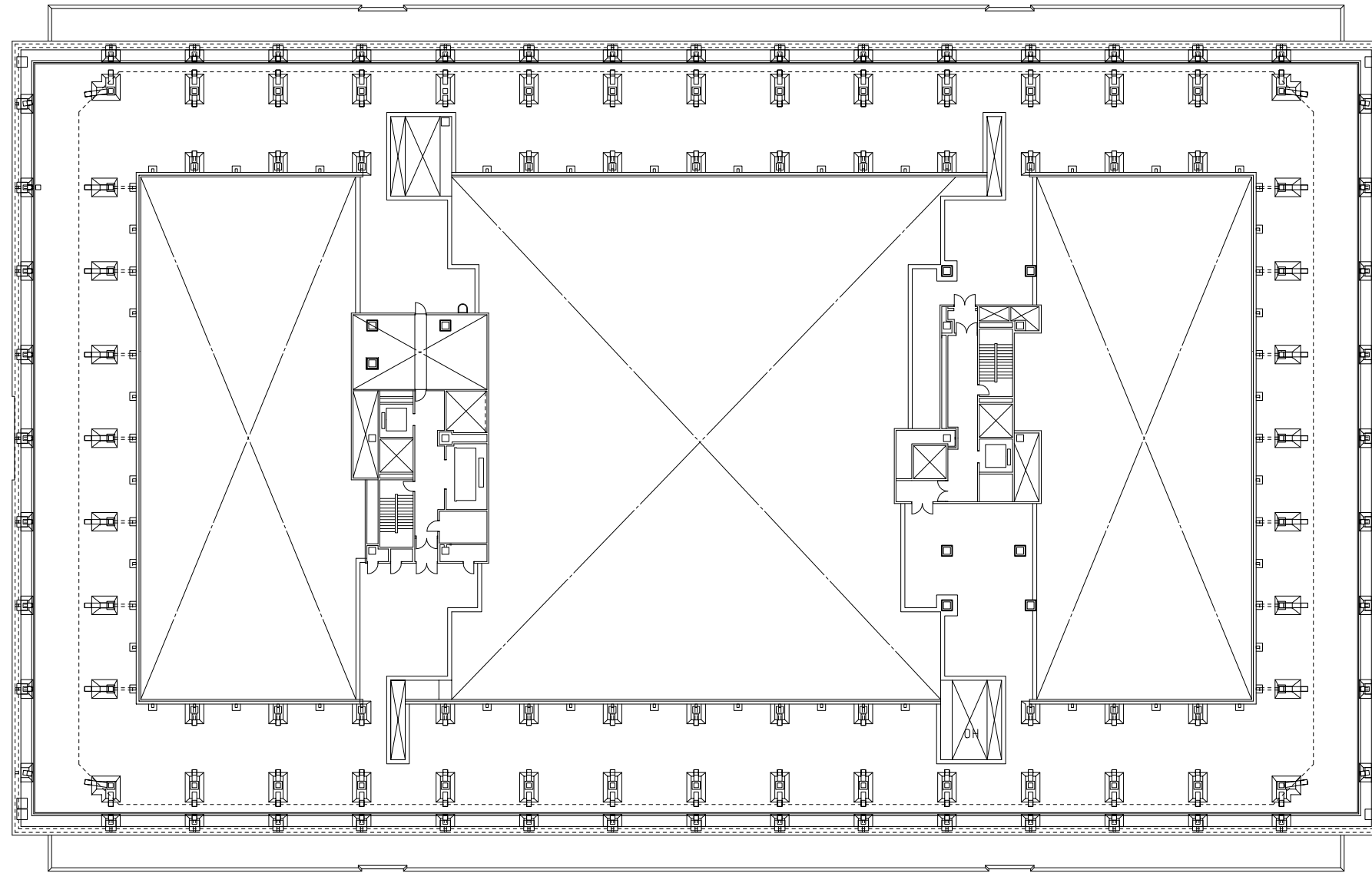
----- 敷地境界線





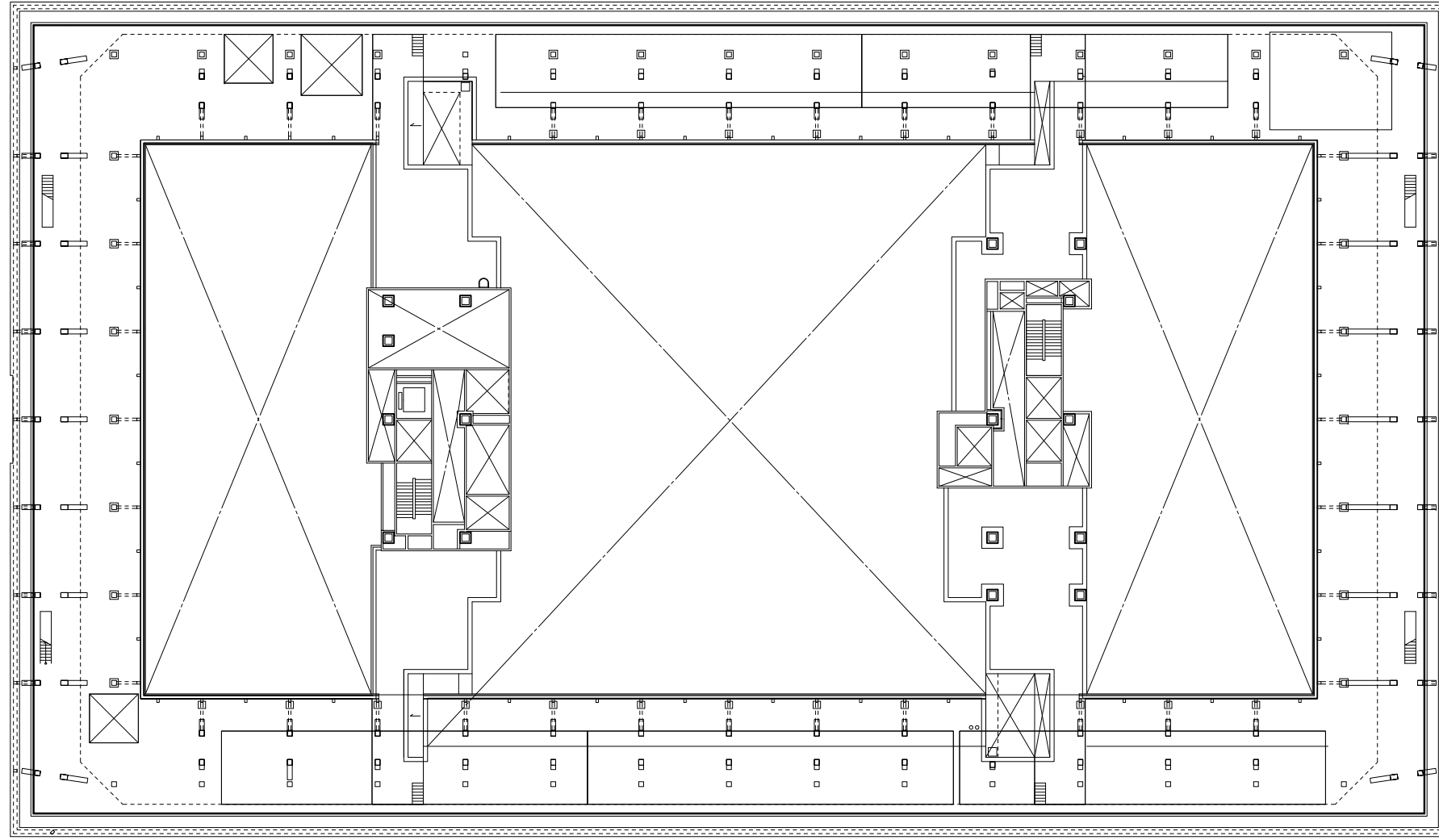
----- 敷地境界線





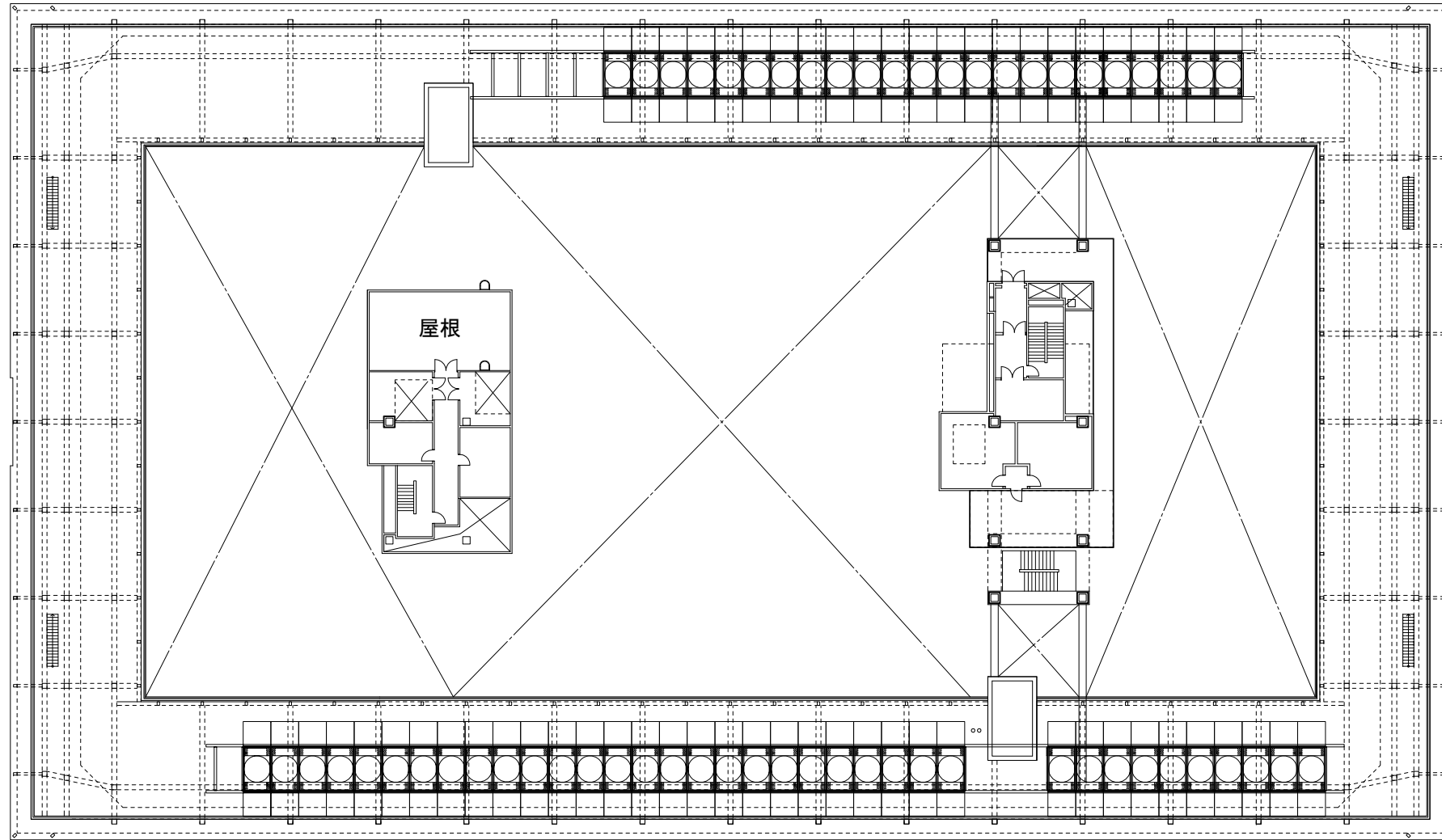
----- 敷地境界線





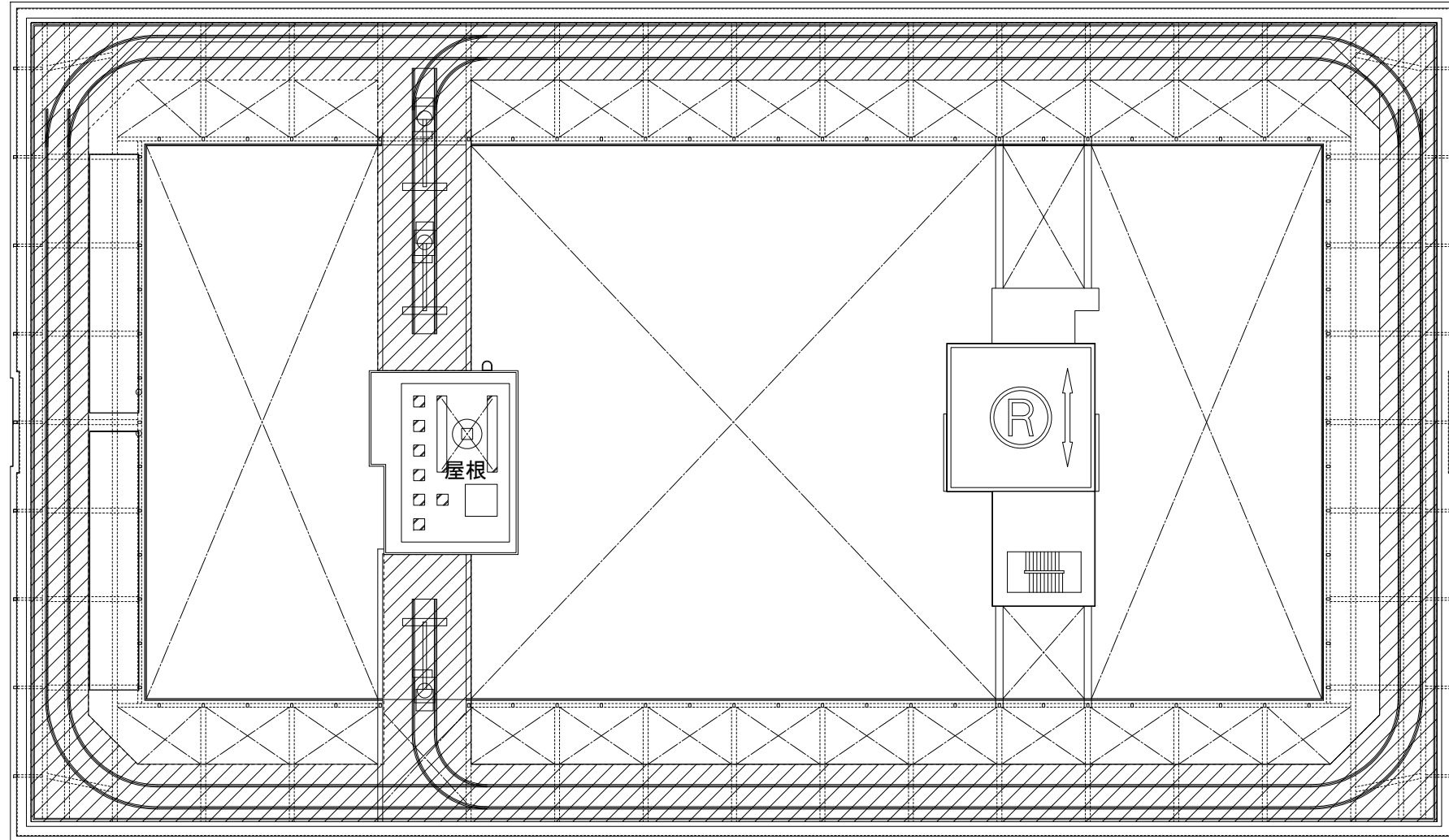
----- 敷地境界線





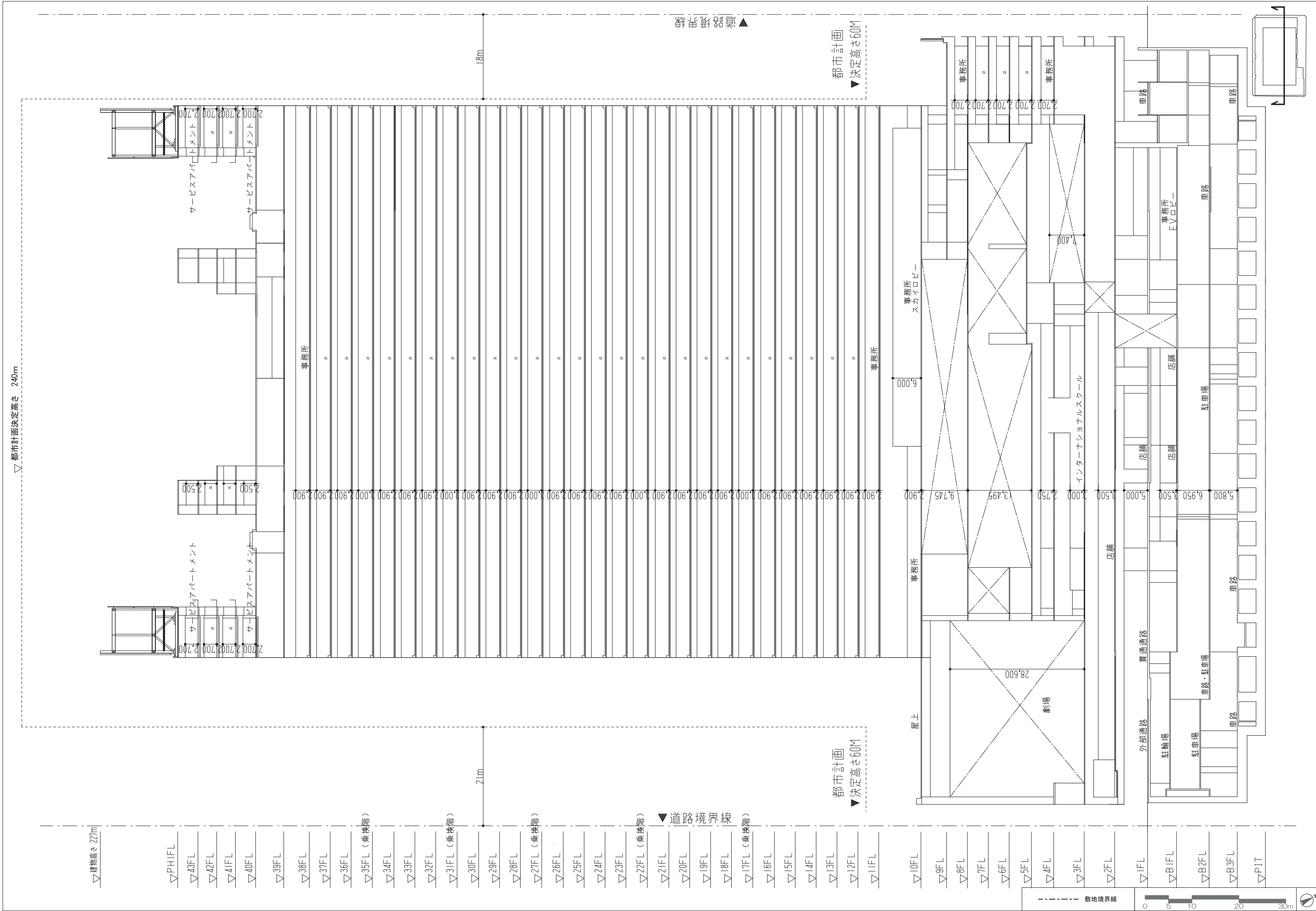
----- 敷地境界線

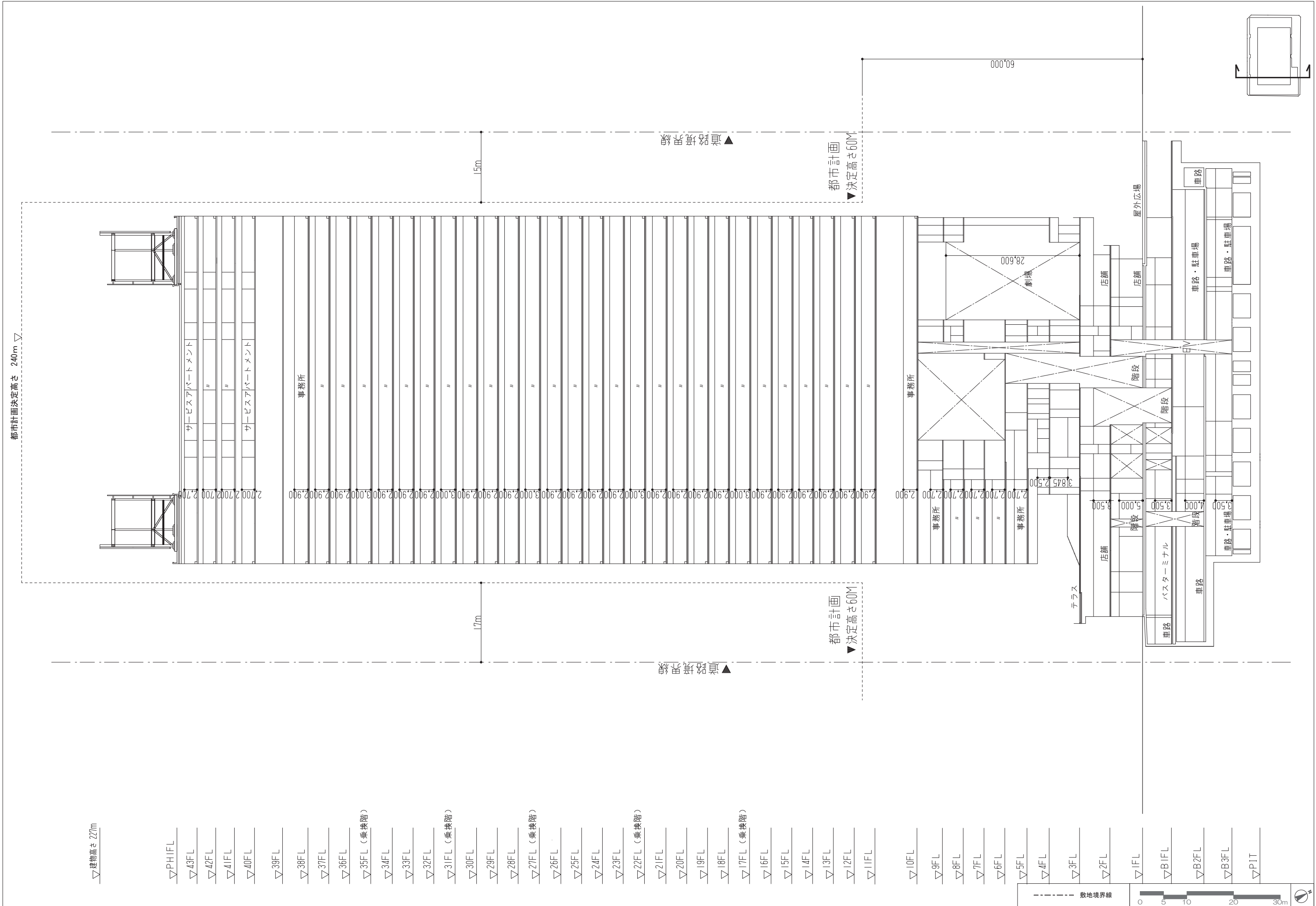




----- 敷地境界線



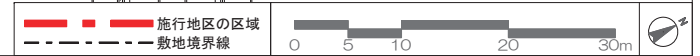
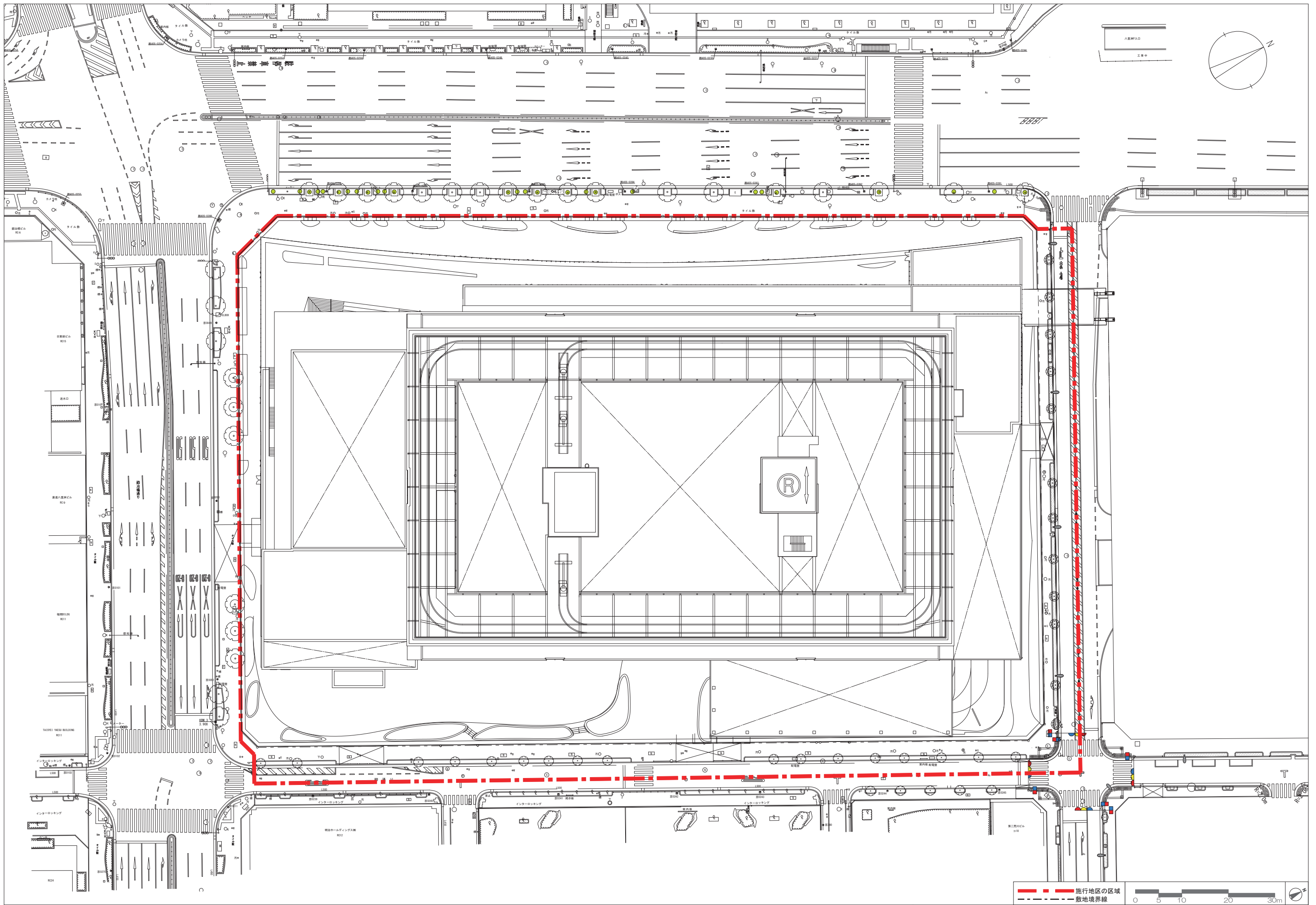


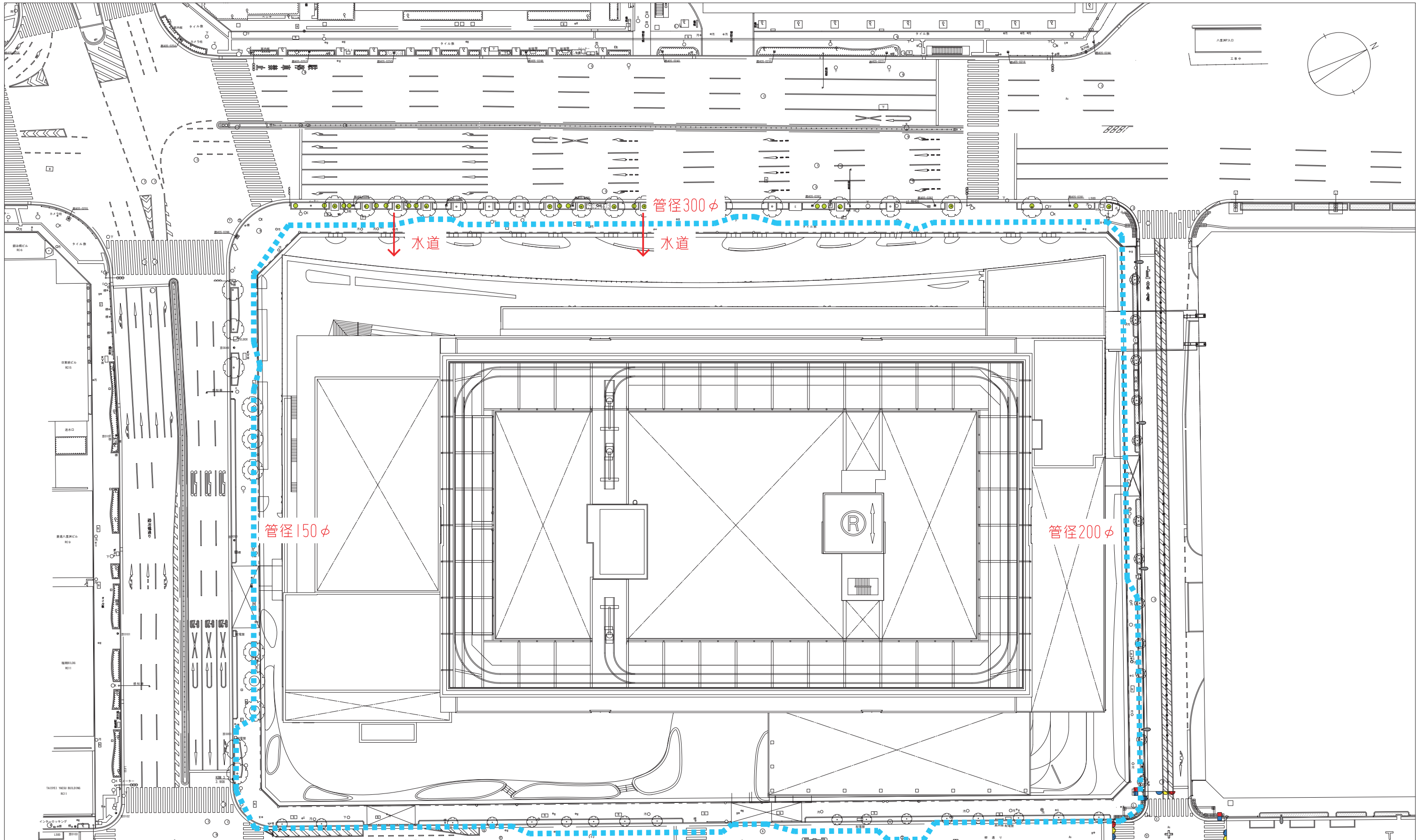


添付書類（3）設計図

2）施設建築敷地の設計図

- ①配置図
- ②水道計画平面図
- ③下水道計画平面図
- ④ガス計画平面図
- ⑤電気計画平面図
- ⑥電話計画平面図

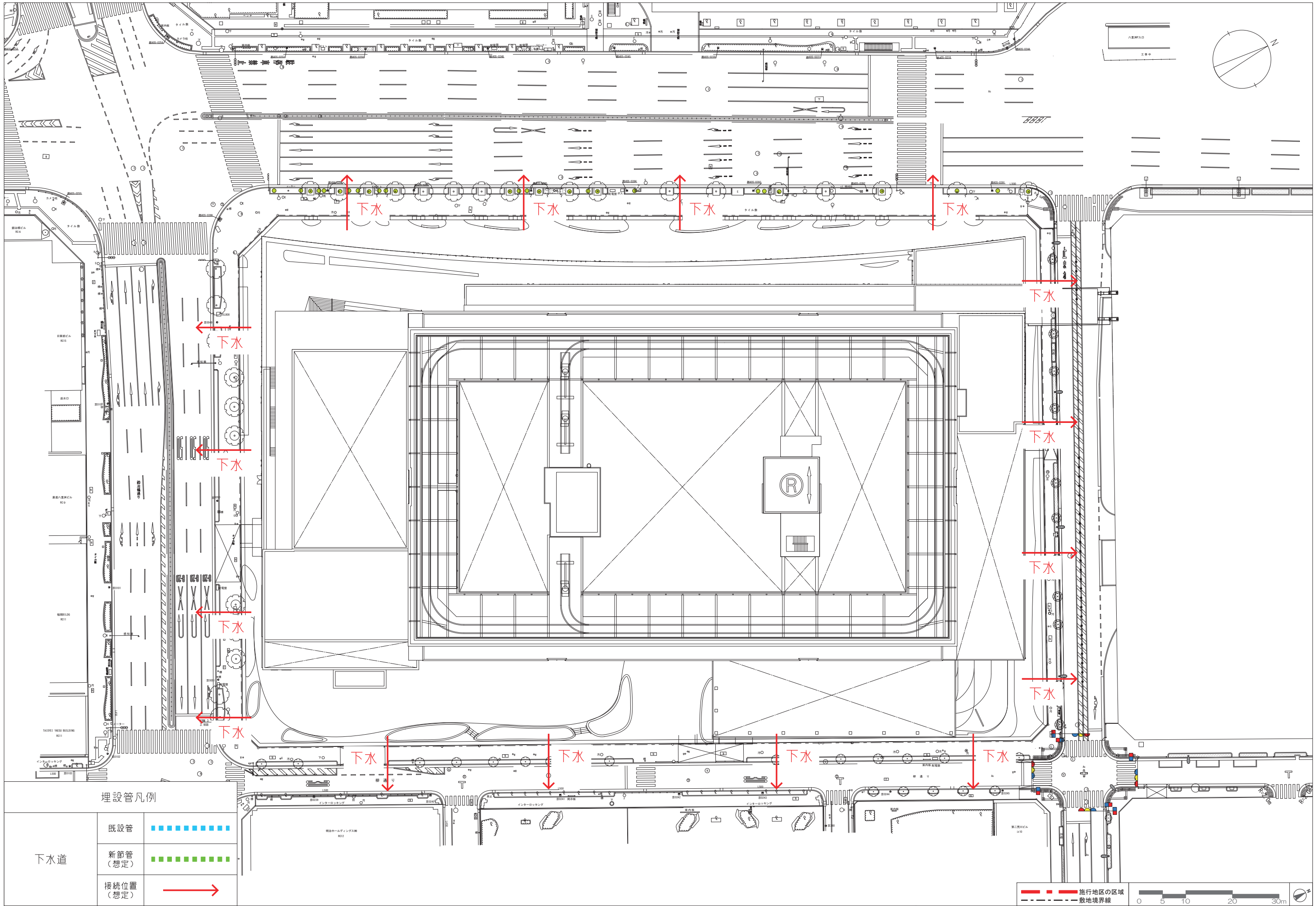




埋設管凡例

水道	既設管	
	新節管 (想定)	
	接続位置 (想定)	

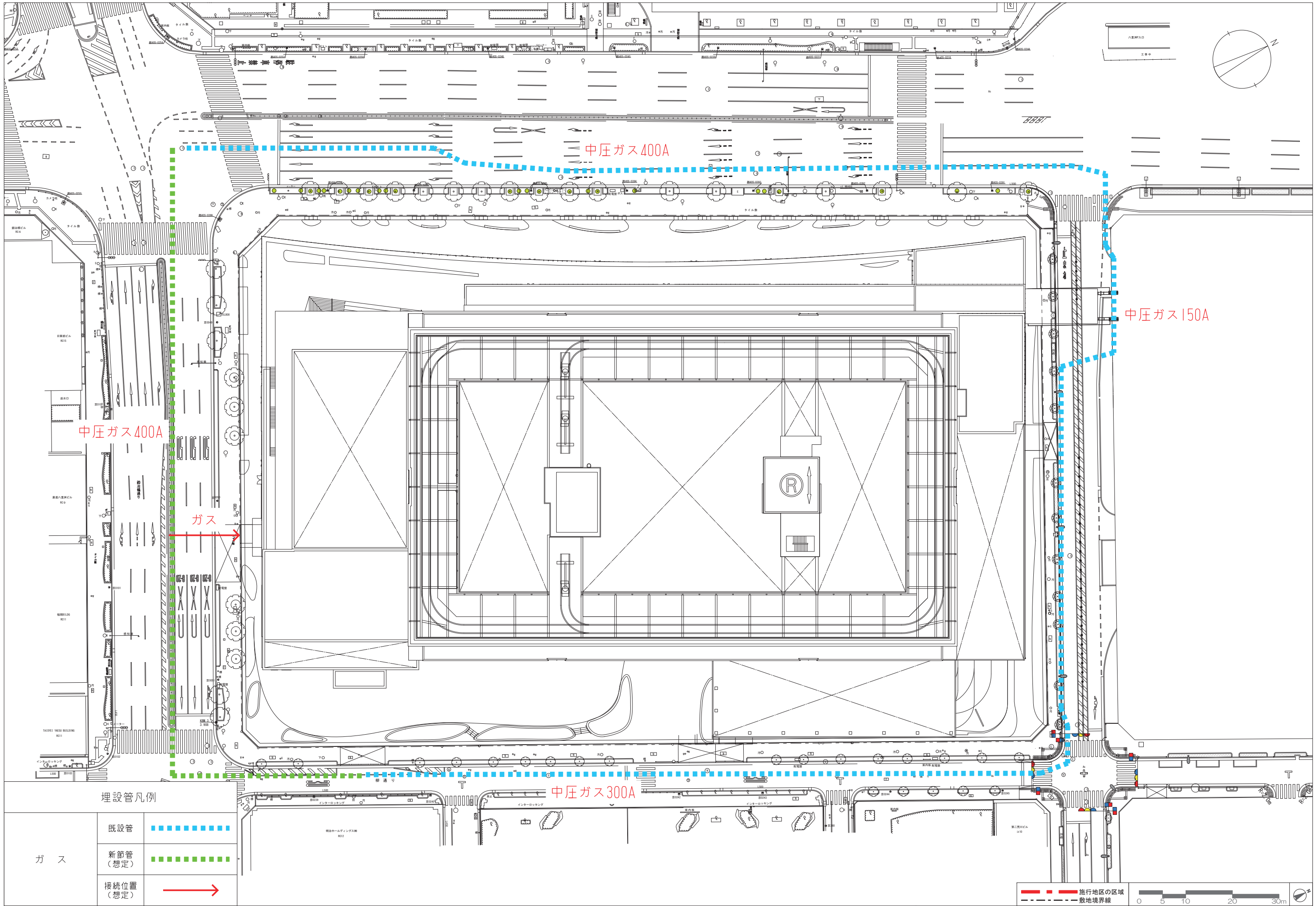
施行地区の区域
 敷地境界線



埋設管凡例

下水道	既設管	-----
	新設管 (想定)	-----
	接続位置 (想定)	→

----- 施行地区の区域
----- 敷地境界線
 0 5 10 20 30m



中圧ガス400A

中圧ガス400A

中圧ガス150A

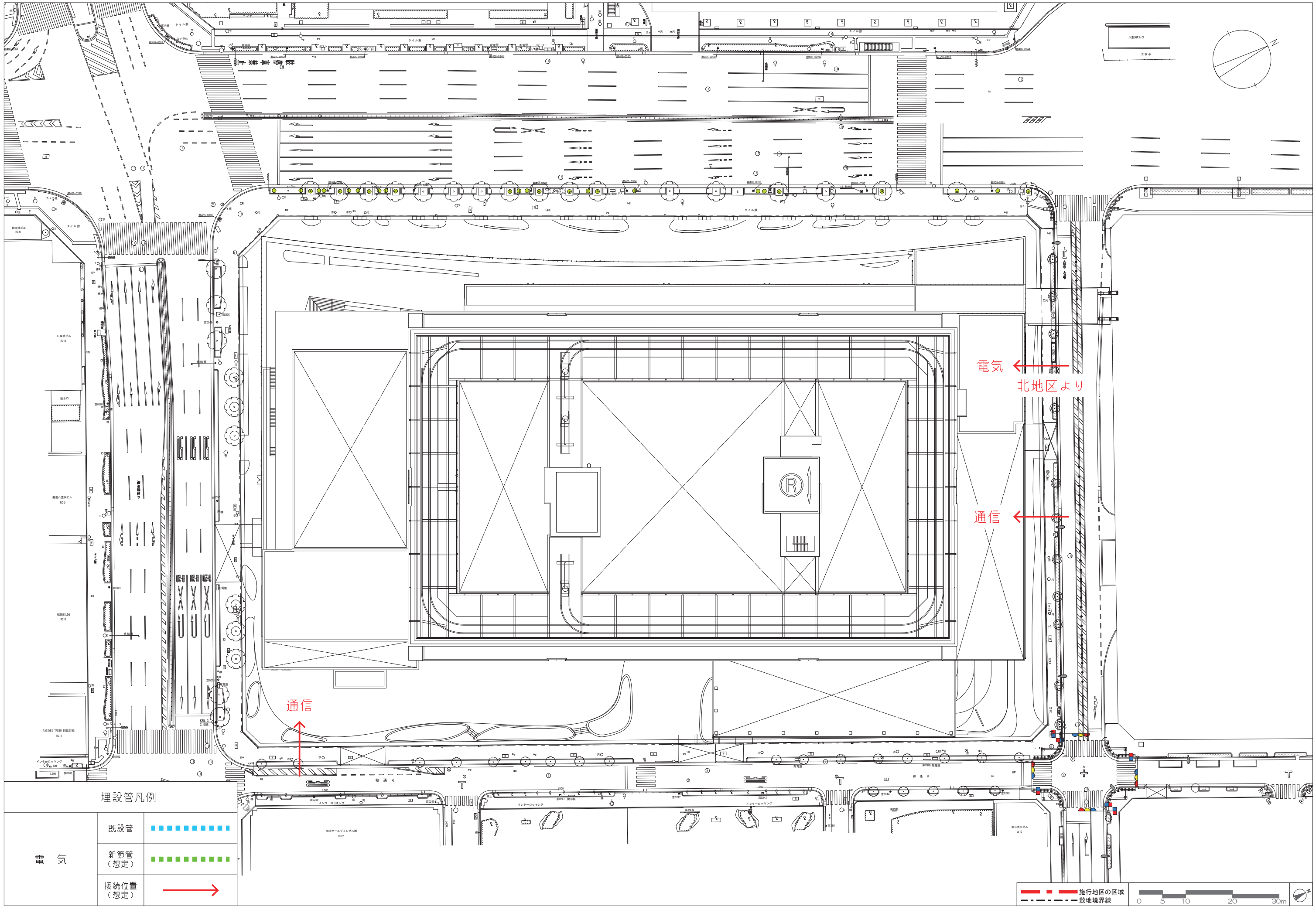
ガス

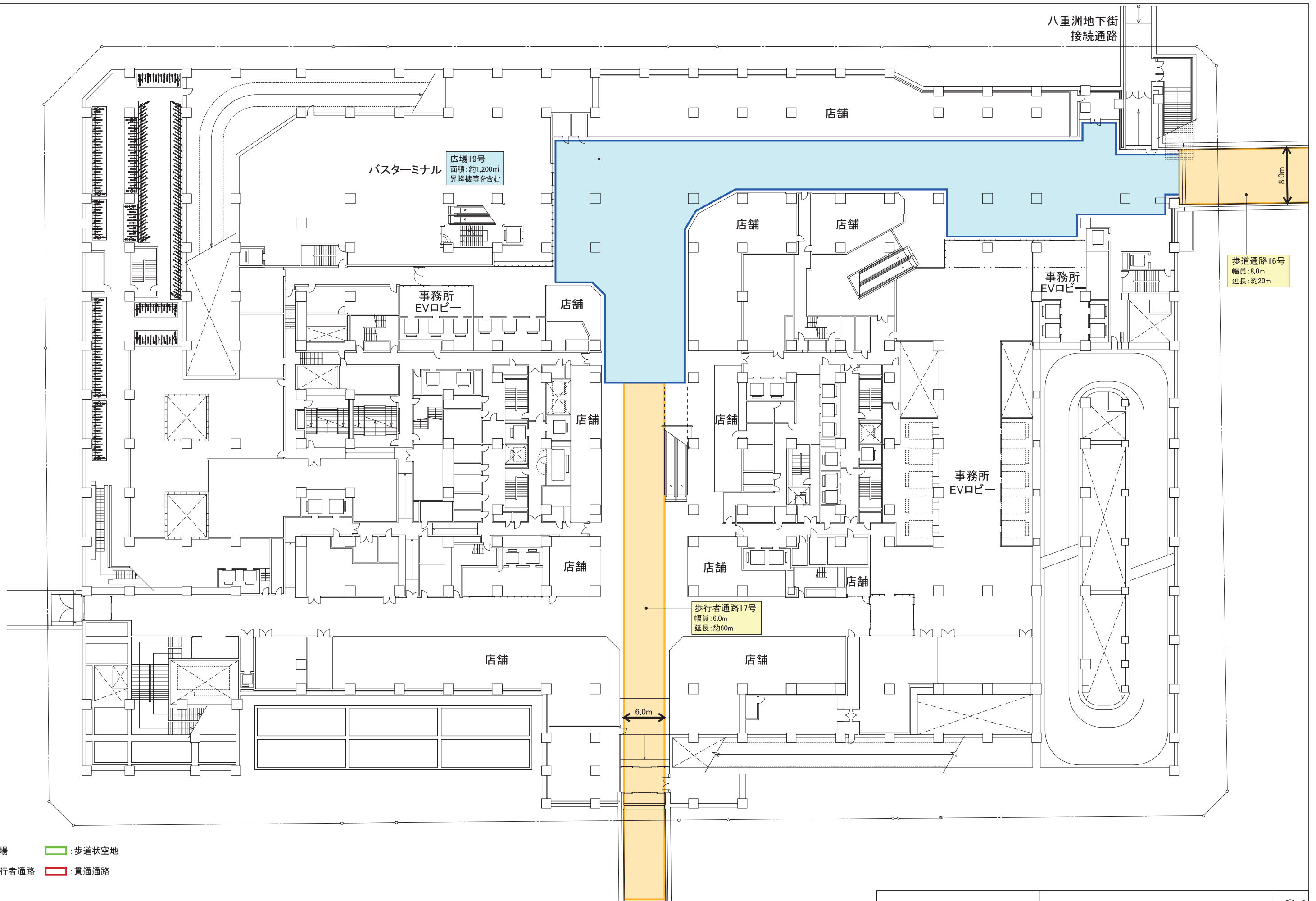
中圧ガス300A

埋設管凡例

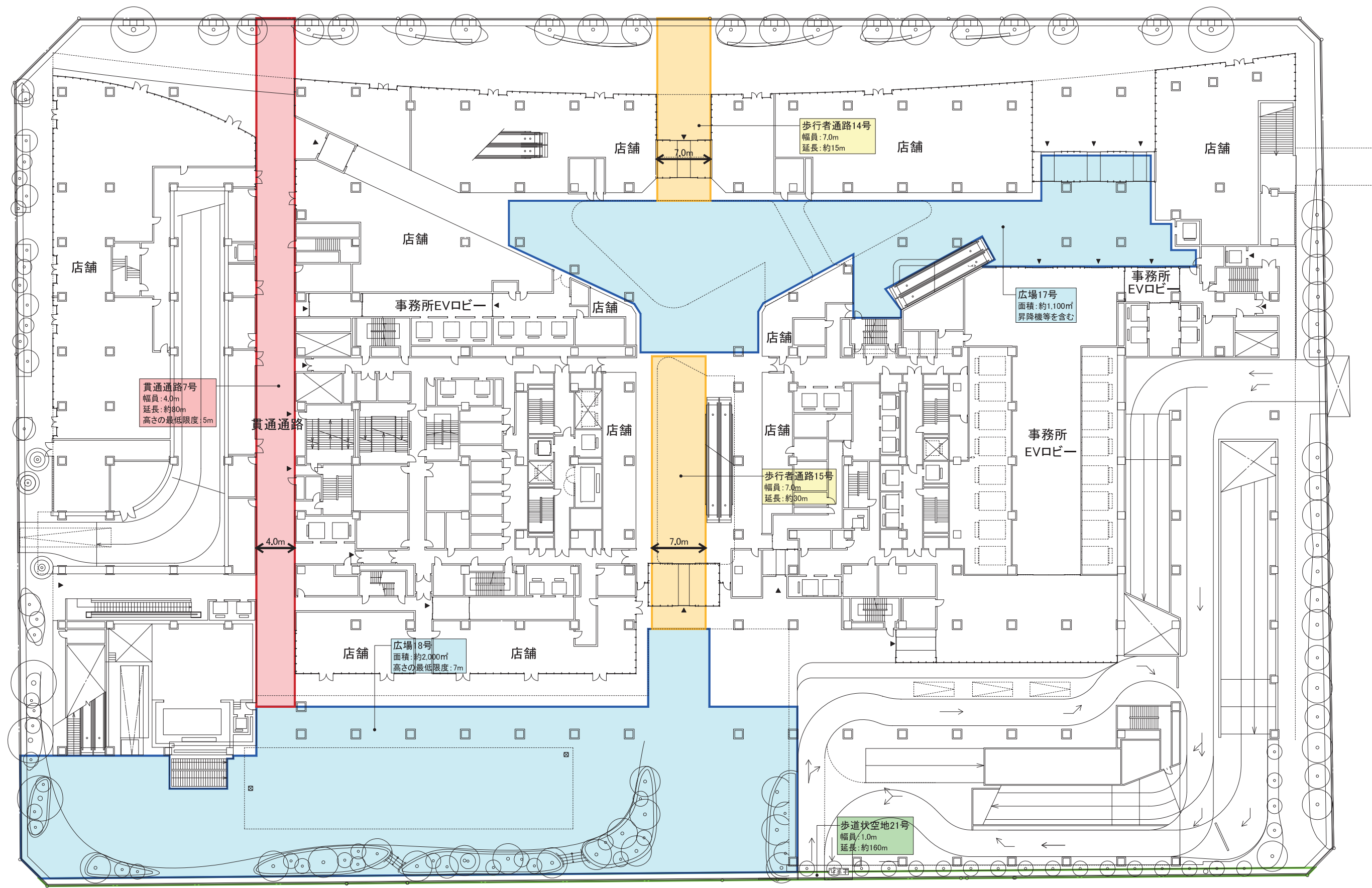
ガス	既設管	
	新節管 (想定)	
	接続位置 (想定)	

施行地区の区域
 敷地境界線

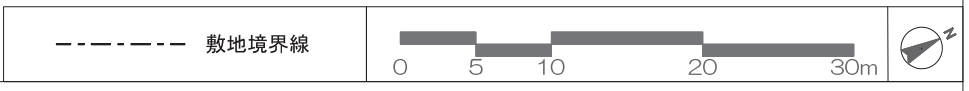




- 凡例
- : 広場
 - : 歩道状空地
 - : 歩行者通路
 - : 貫通通路

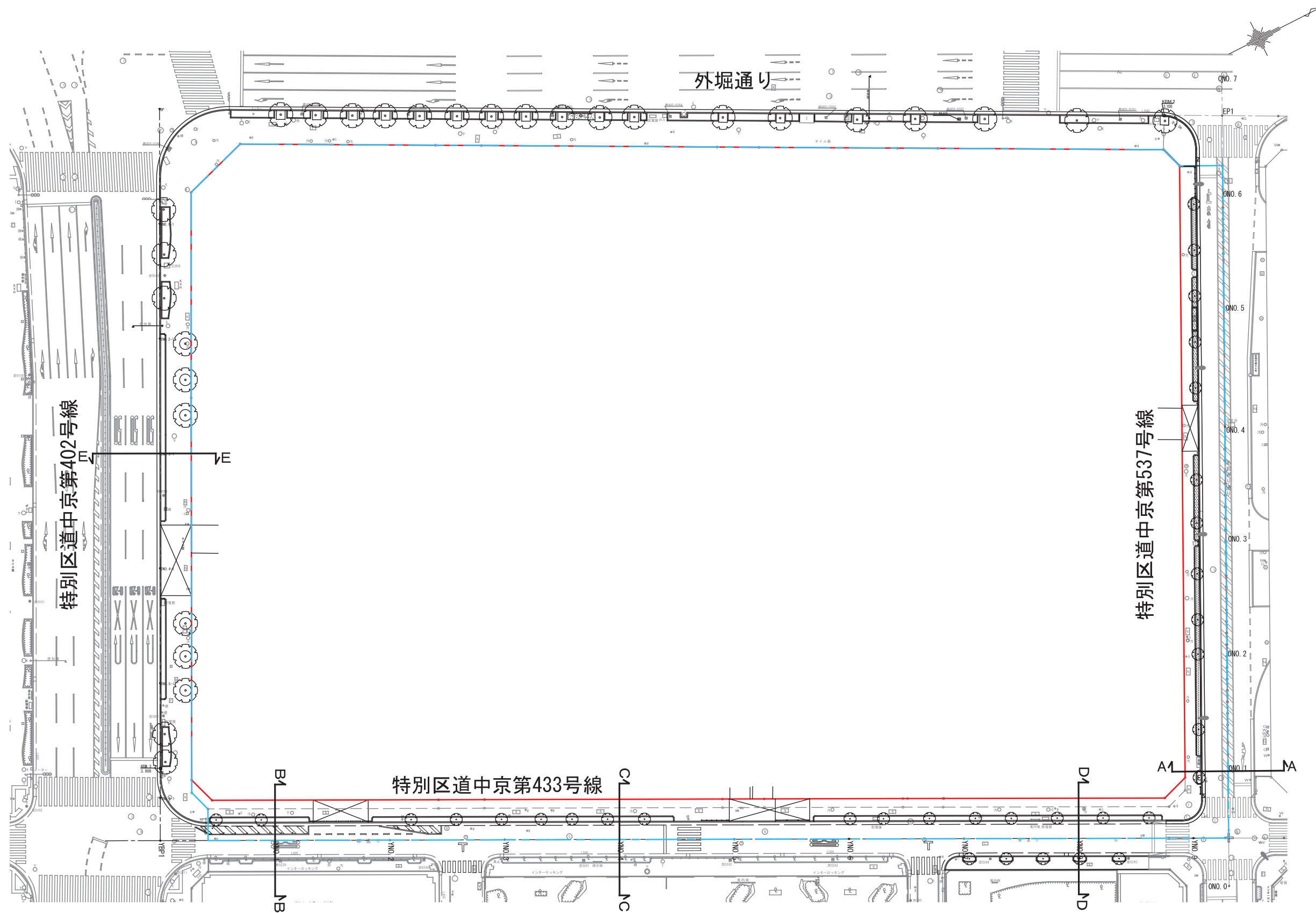


- 凡例
- : 広場
 - : 歩道状空地
 - : 歩行者通路
 - : 貫通路

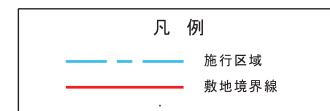


添付書類（3）設計図

3）公共施設的设计図

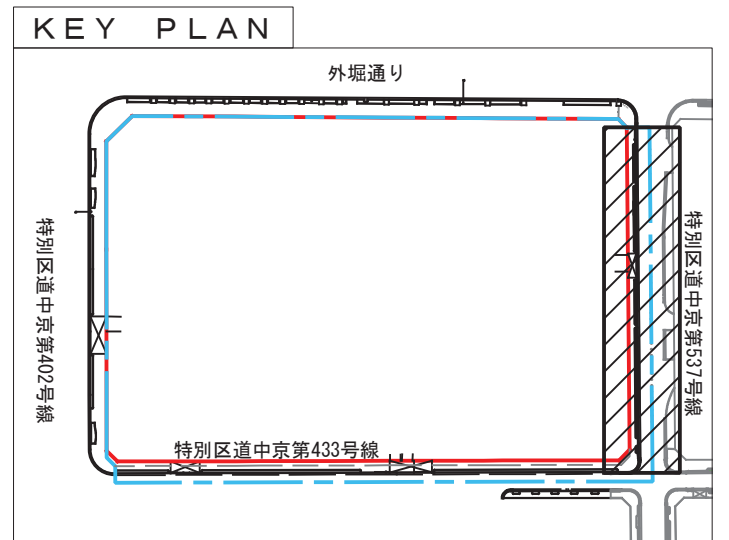
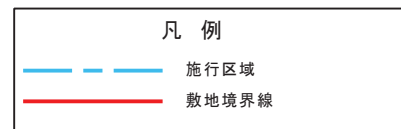
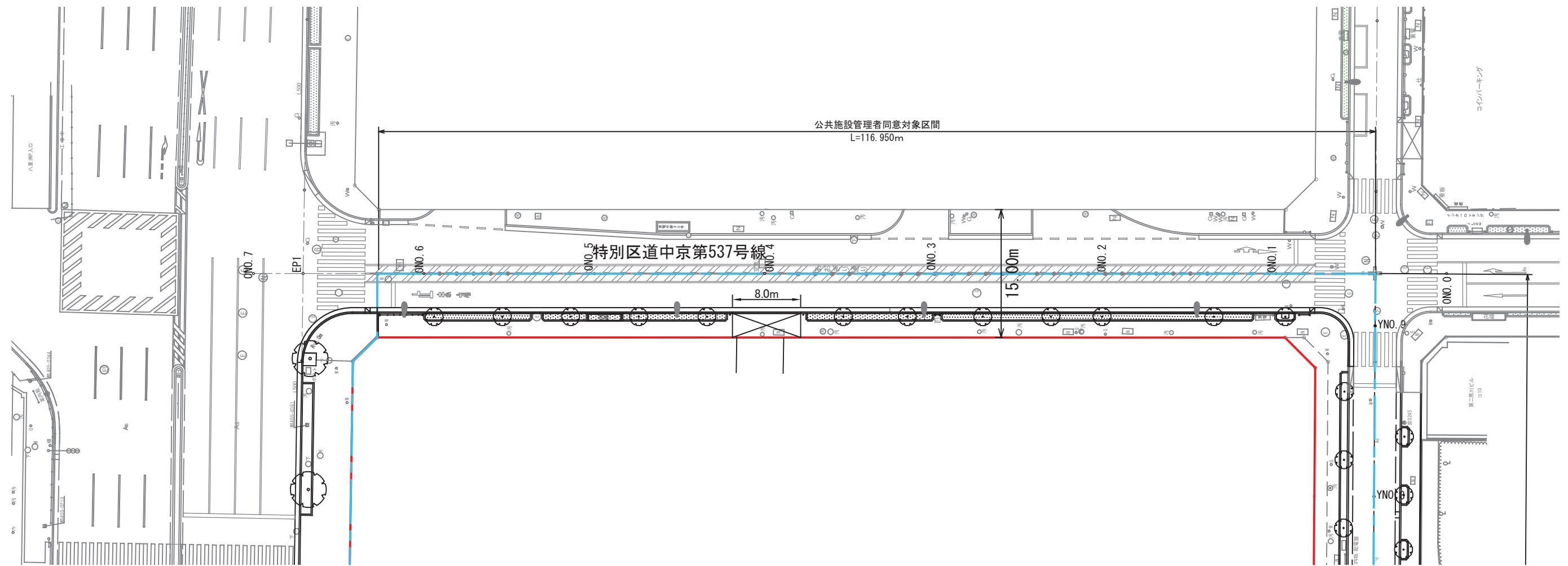
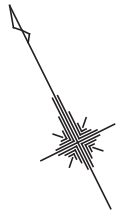


※詳細は今後の協議事項とする。



公共施設平面図 (特別区道中京第537号線)

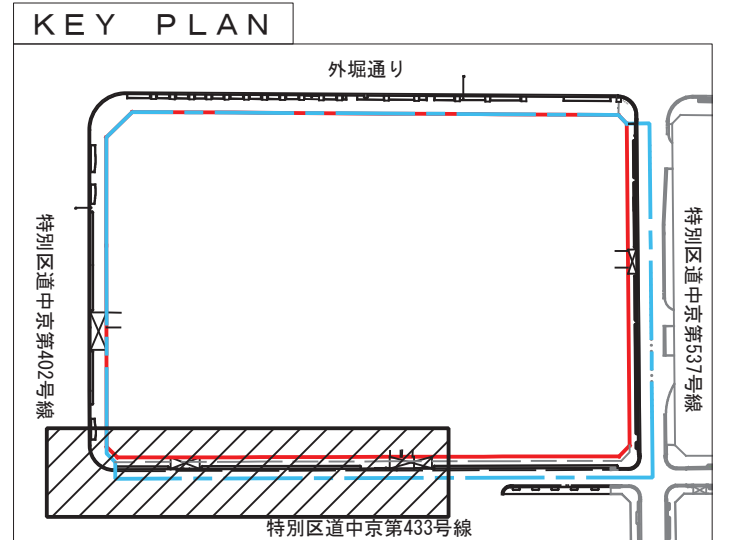
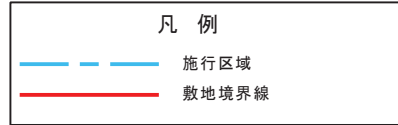
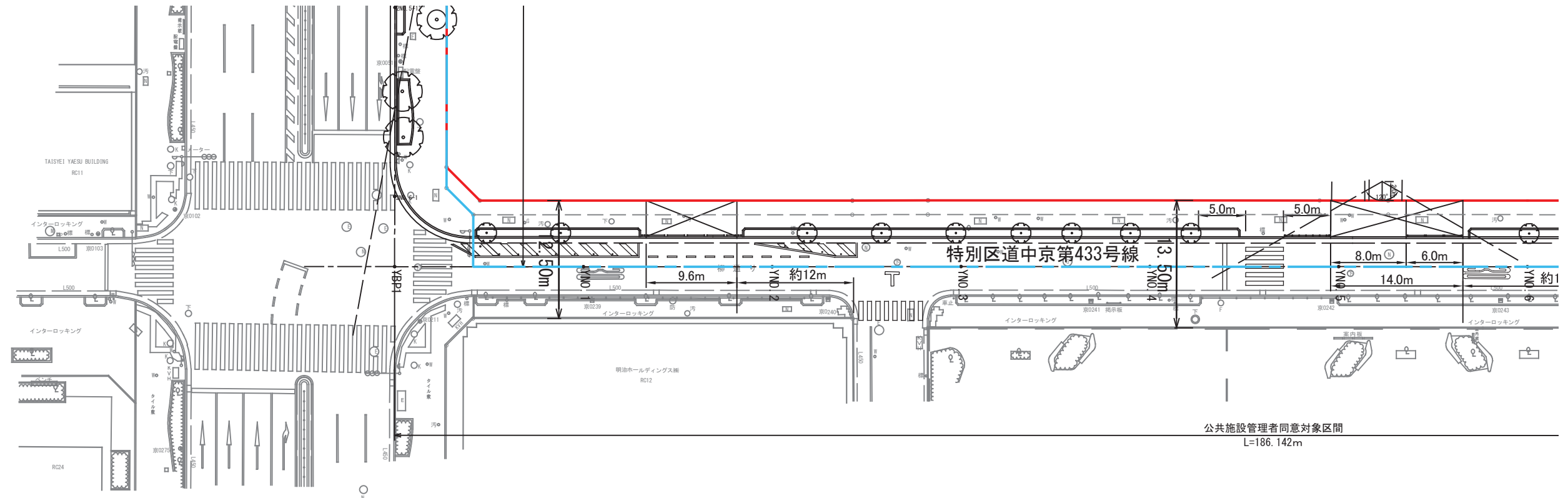
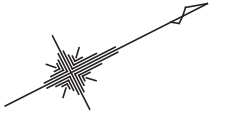
S=1/250 (S=1/500)



※詳細は今後の協議事項とする。

公共施設平面図 (特別区道中京第433号線 その1)

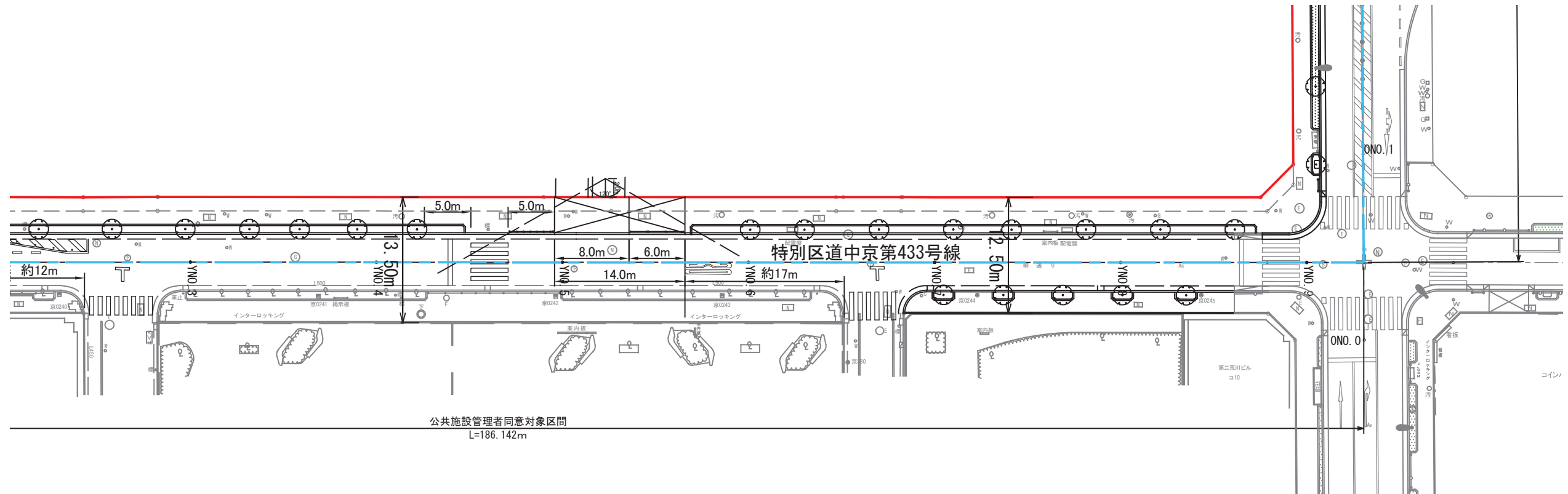
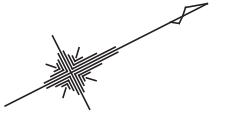
S=1/250 (S=1/500)



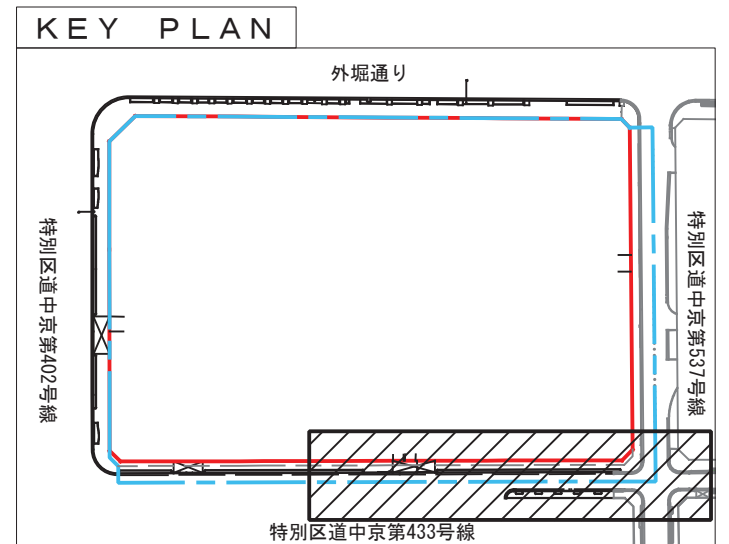
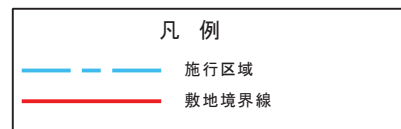
※詳細は今後の協議事項とする。

公共施設平面図 (特別区道中京第433号線 その2)

S=1/250 (S=1/500)



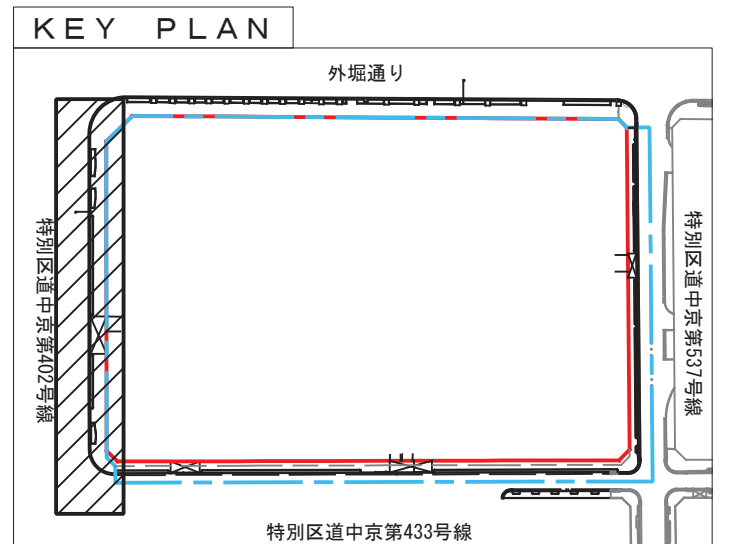
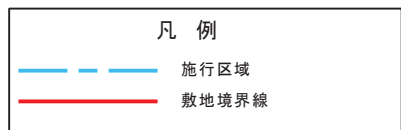
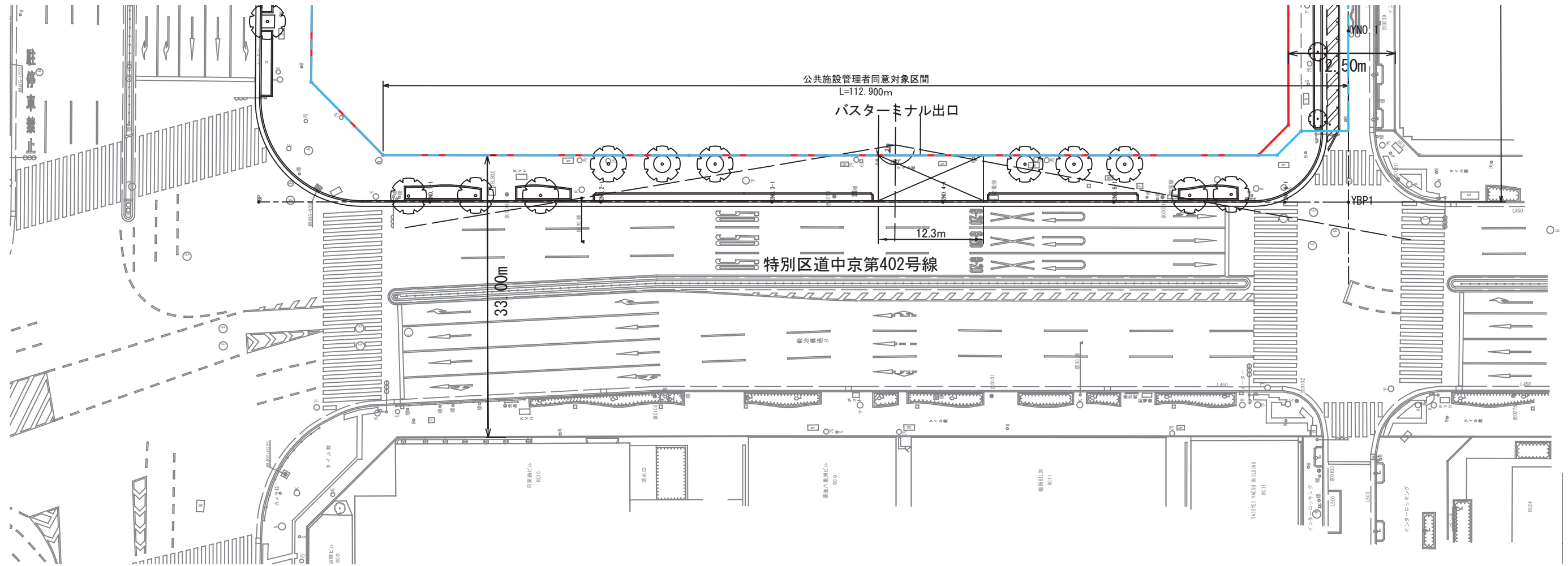
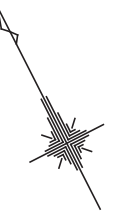
公共施設管理者同意対象区間
L=186.142m



※詳細は今後の協議事項とする。

公共施設平面図 (特別区道中京第402号線)

S=1/250 (S=1/500)



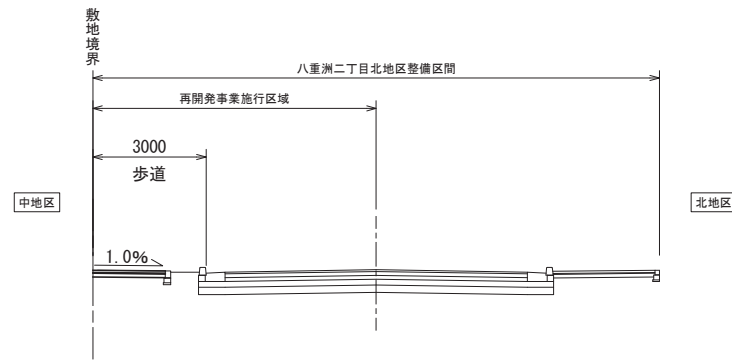
※詳細は今後の協議事項とする。

公共施設（道路）の断面図（横断面）

S=1/100 (S=1/200)

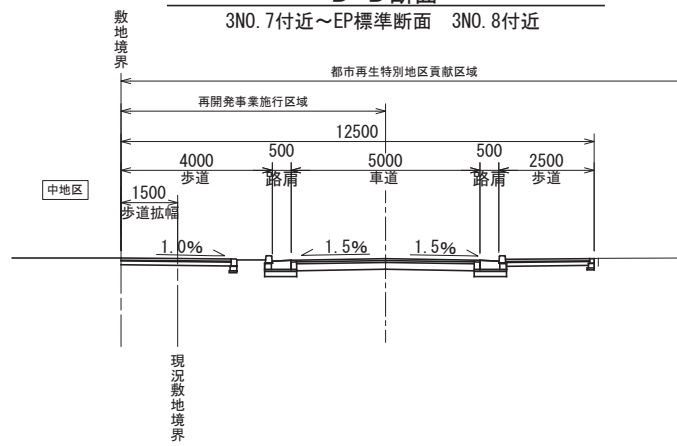
特別区道中京第537号線

A-A断面
標準断面 ONO. 1付近



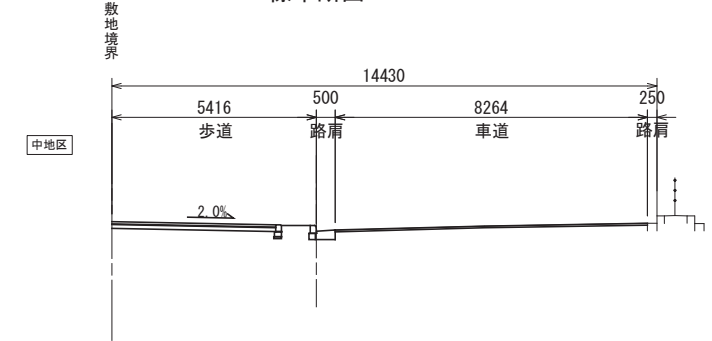
特別区道中京第433号線

D-D断面
3NO. 7付近～EP標準断面 3NO. 8付近



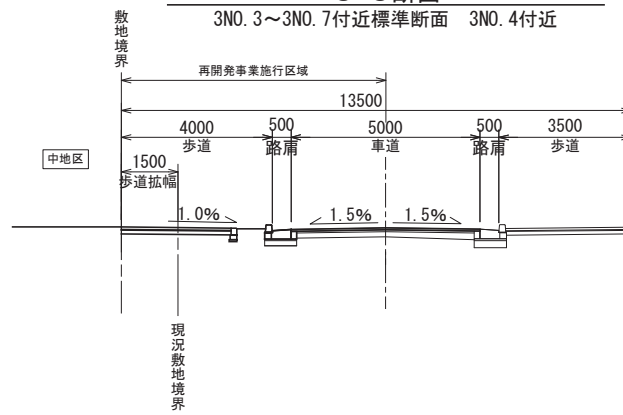
特別区道中京第402号線

E-E断面
標準断面



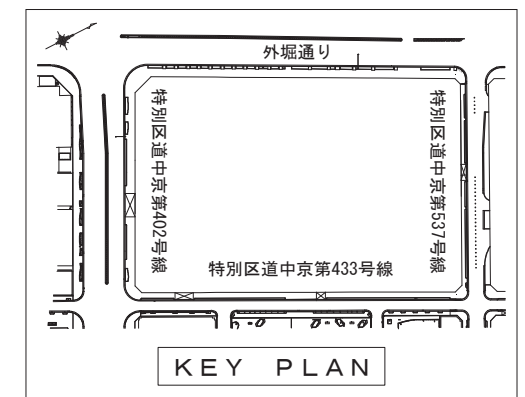
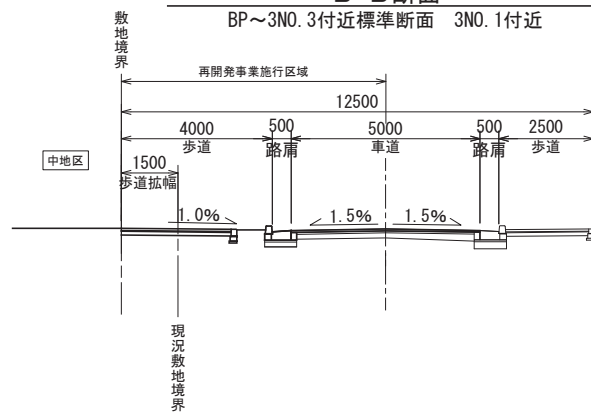
C-C断面

3NO. 3～3NO. 7付近標準断面 3NO. 4付近

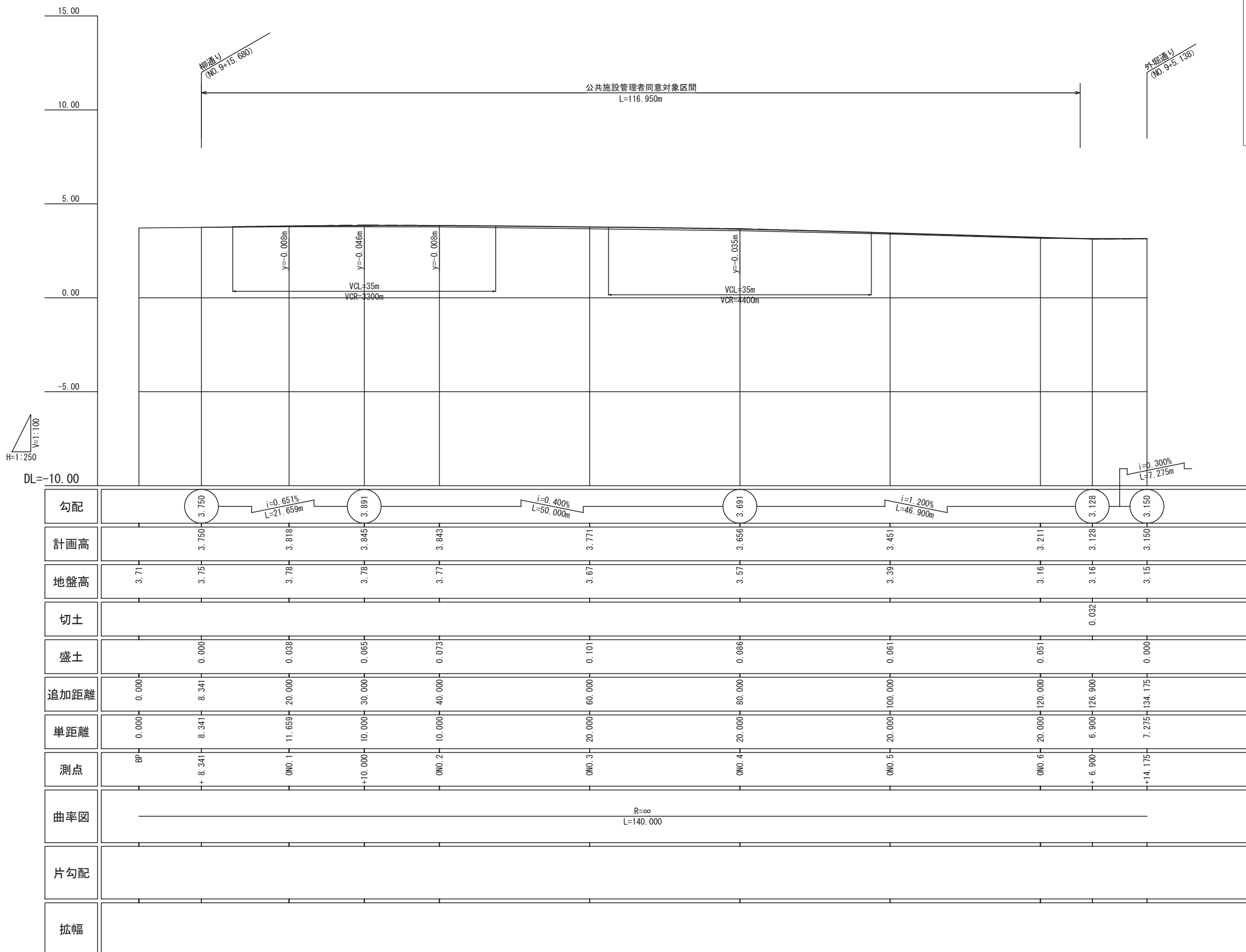
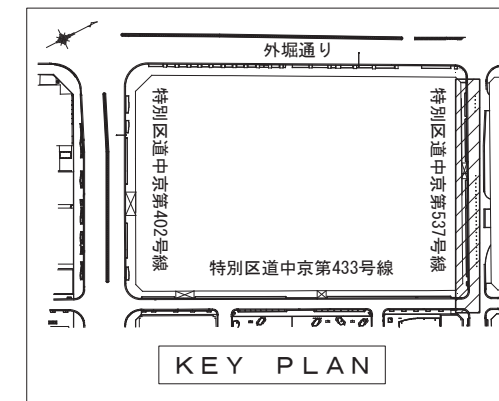


B-B断面

BP～3NO. 3付近標準断面 3NO. 1付近



公共施設（道路）の断面図（縦断図）
 (特別区道中京第537号線) V=1/100 (S=1/200)
 H=1/250 (S=1/500)

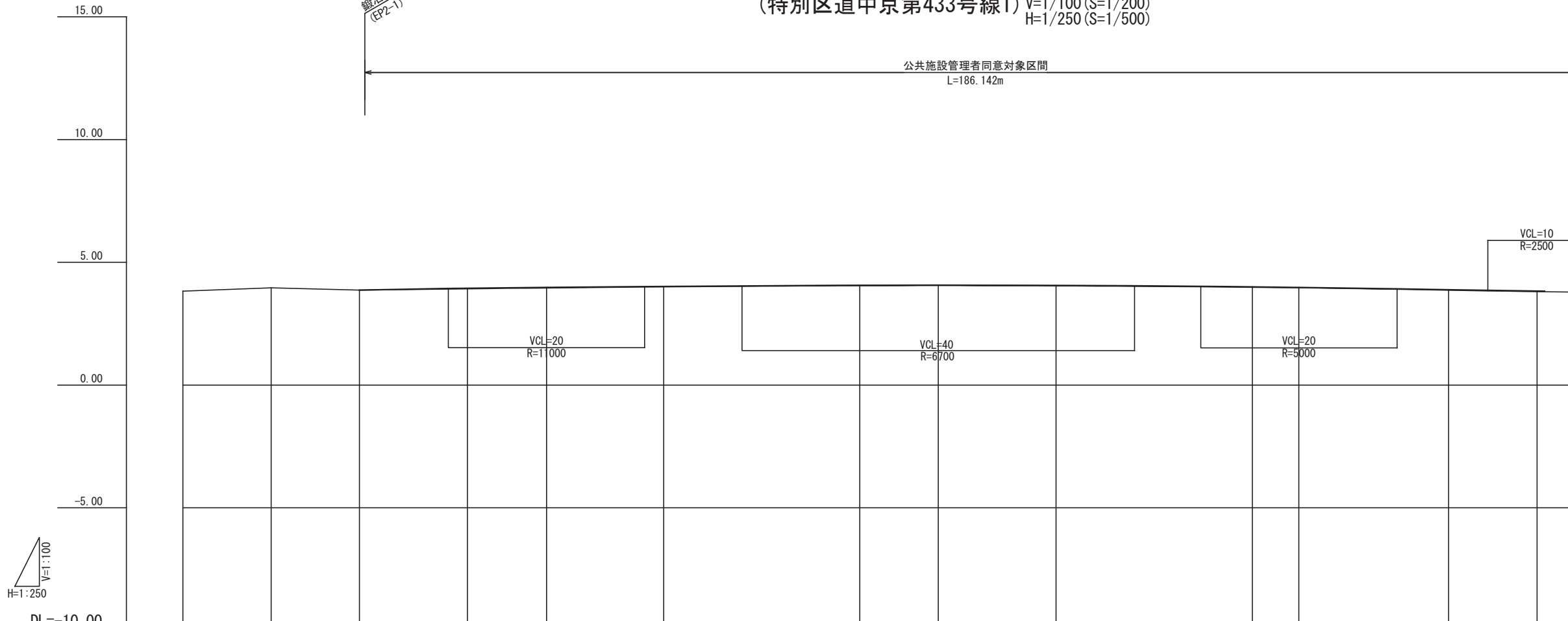
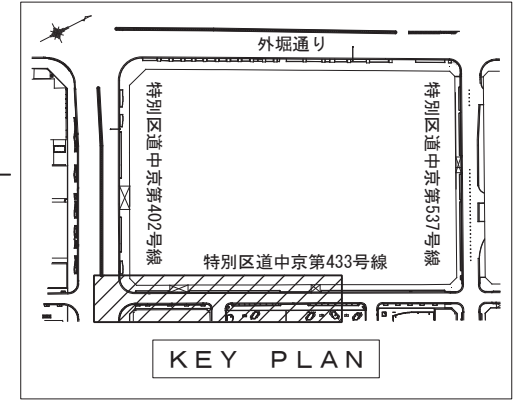


※北地区の計画に同じとする

公共施設（道路）の断面図（縦断図）
 (特別区道中京第433号線1) V=1/100 (S=1/200)
 H=1/250 (S=1/500)

公共施設管理者同意対象区間
 L=186.142m

盤治橋通り
 (EP2-1)



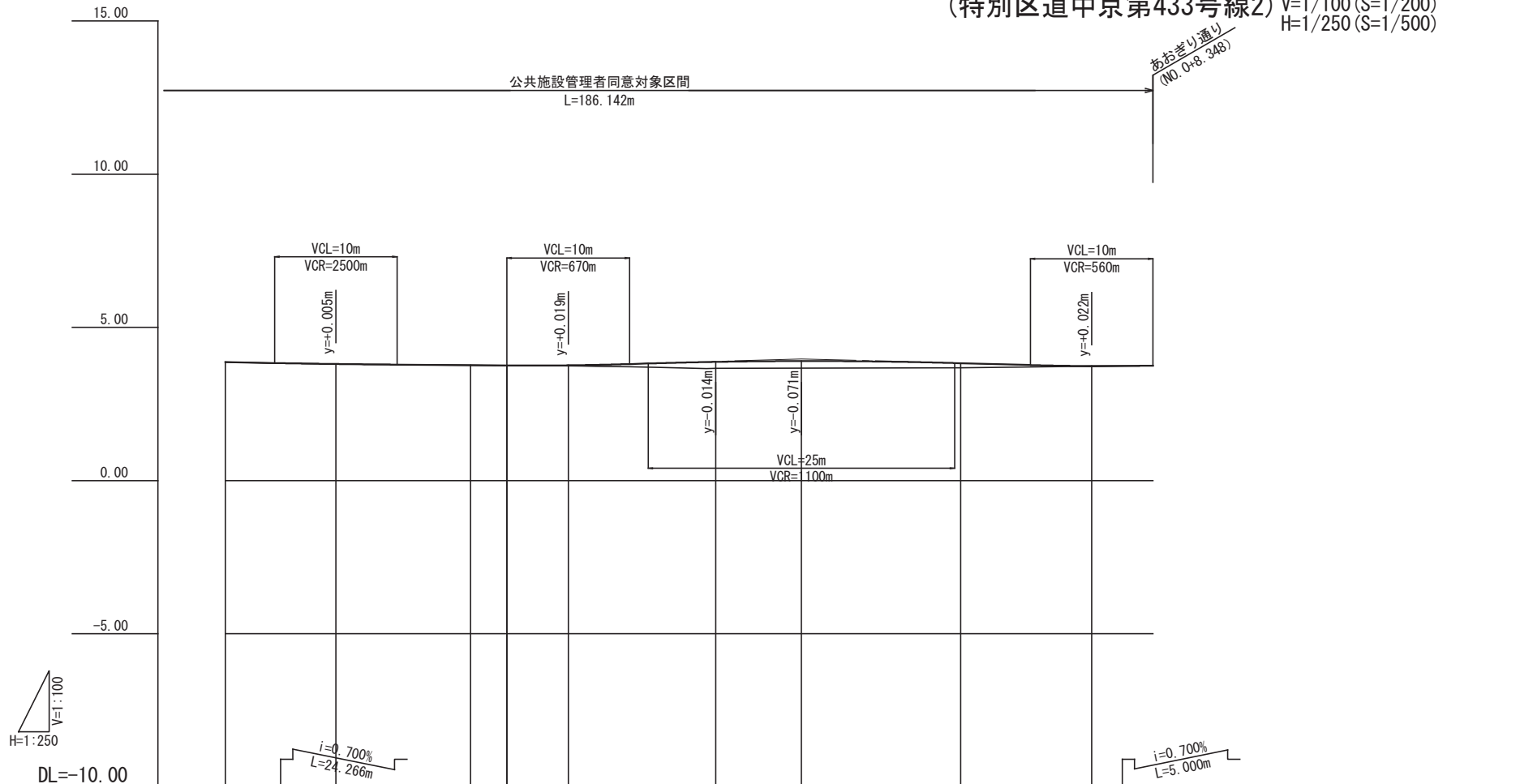
V=1:100
 H=1:250

DL=-10.00

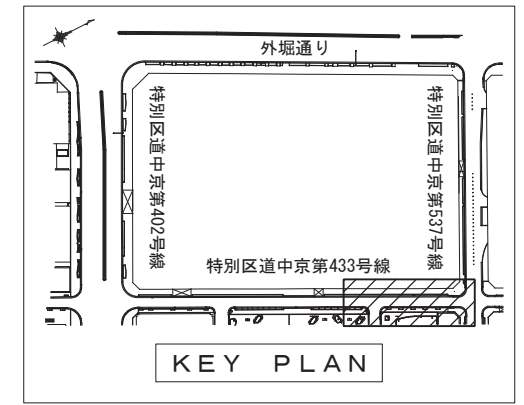
勾配														
計画高														
地盤高	3.825	3.960	3.867	3.920	3.954	3.995	4.044	4.049	4.038	3.980	3.959	3.862	3.804	
切土														
盛土														
追加距離	-9.000	0.000	9.000	20.000	28.067	40.000	60.000	68.000	80.000	100.000	104.750	120.000	129.017	
単距離	0.000	9.000	9.000	1.933	8.067	1.933	1.933	0.340	2.342	2.342	4.750	0.210	9.017	
測点	-9.000	3NO.0	+9.000	3NO.1	+8.067	3NO.2	3NO.3	+8.000	3NO.4	3NO.5	+4.750	3NO.6	+9.017	
曲率図														
片勾配														
拡幅														

※NO.7+19.250より起点側は、京橋二丁目西地区の計画を現地盤として取り扱う。
 また、京橋二丁目西地区の設計は震災前の標高であるため、震災後の高さの検証結果より一律-0.023m補正した高さとしている。
 なお、NO.8以降は震災後の基準で測量しているため測量地のままである。

公共施設（道路）の断面図（縦断図）
 (特別区道中京第433号線2) V=1/100 (S=1/200) H=1/250 (S=1/500)



勾配										
計画高	3.862	3.804	3.766	3.757	3.761	3.872	3.899	3.830	3.737	3.750
地盤高	3.86	3.80	3.77	3.76	3.74	3.66	3.67	3.68	3.74	
切土			0.004	0.003					0.003	0.010
盛土	0.002	0.004			0.021	0.212	0.229	0.150		
追加距離										
単距離	15.250	9.017	10.983	0.876	4.998	12.024	7.000	13.000	10.680	5.000
測点	NO.6	+ 9.017	NO.7	+ 2.876	+ 7.976	NO.8	+ 7.000	NO.9	+10.680	EP
曲率図										
片勾配										
拡幅										



※NO.7+19.250より起点側は、京橋二丁目西地区の計画を現地盤として取り扱う。
 また、京橋二丁目西地区の設計は震災前の標高であるため、震災後との高さの検証結果より一律-0.023m補正した高さとしている。
 なお、NO.8以降は震災後の基準で測量しているため測量地のままである。

公共施設（道路）の断面図（縦断図）
 (特別区道中京第402号線) V=1/100 (S=1/200)
 H=1/250 (S=1/500)

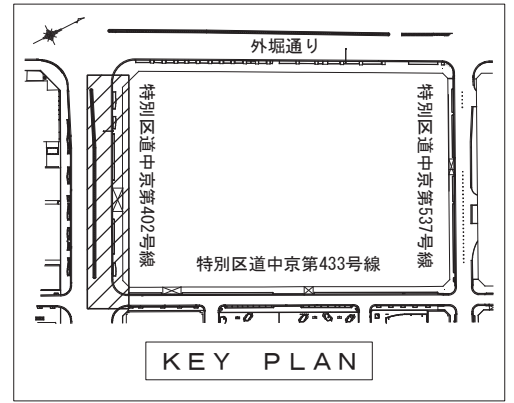
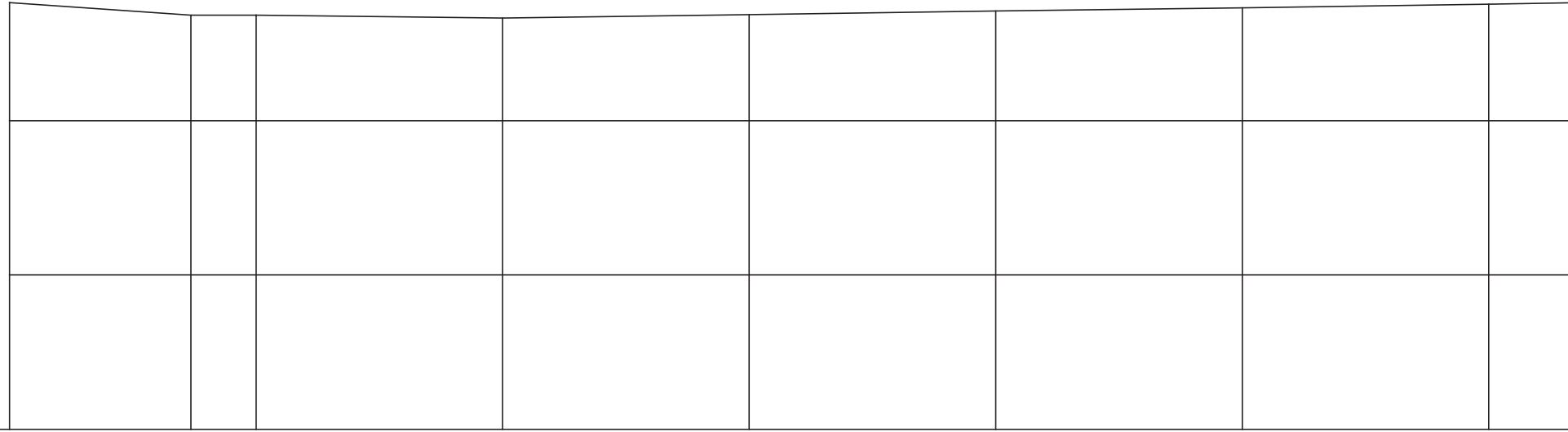
公共施設管理者同意対象区間
 L=112.900m

外堀通り
 (BP)

柳通り
 (NO.0+8.538)

H=1:250
 V=1:100

DL=-10.00



勾配												3.870
計画高												3.870
地盤高	3.820	3.42	3.414	3.322	3.431	3.557	3.655	3.775	3.825			
切土												
盛土												
追加距離	0.000	5.294	20.000	40.000	60.000	80.000	100.000	120.000	127.440			
単距離	0.000	5.294	14.706	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	7.440			
測点	2NO.0	+5.294	2NO.1	2NO.2	2NO.3	2NO.4	2NO.5	2NO.6	+7.440			
曲率図												
片勾配												
拡幅												